スマートフォン for ジュニア
SH-05E

取扱説明書　'13.1

はじめに

「SH-05E」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作方法を確認する

かんたん操作ガイド **（本体付属品）**	電話やspモードメールなど、お子さまが本端末を利用するための基本的な機能の操作について説明しています。
クイックスタートガイド **＜保護者向け＞** **（本体付属品）**	保護者設定など、保護者の方が本端末を管理するための基本的な機能の操作について説明しています。
取扱説明書 **（本端末のアプリケーション）**	機能の詳しい案内や操作について説明しています。 ホーム画面で[ ]▶[取扱説明書] ヘルプの表示：[ ]▶[ヘルプ]
取扱説明書 **（PDFファイル）**	機能の詳しい案内や操作について説明しています。 ドコモのホームページでダウンロード http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html ※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の本文中においては、「SH-05E」を「本端末」または「端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書ではmicroSDカード、microSDHCカード、microSDXCカードを、「microSDカード」または「microSD」と記載しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

SH-05E本体（保証書付き）

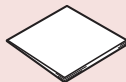
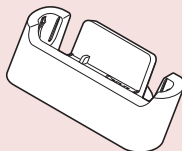
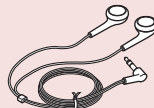
リアカバー SH68

電池パック SH36

microSDカード（2Gバイト）（試供品）
（取扱説明書付き）

- お買い上げ時には、あらかじめ本端末に取り付けられています。

クイックスタートガイド<保護者向け>

かんたん操作ガイド

卓上ホルダ SH43

ステレオイヤホン（試供品）
（取扱説明書付き）

- オプション品については☞P.148

SH-05Eのご使用にあたって

初期設定

お子さまがご使用になる前に、保護者設定を行うことをおすすめします。初期設定を行うと、保護者設定をまとめて行うことができます。

- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 保護者パスワード設定
  - ■ 緊急連絡先登録
  - ■ インターネット制限設定
  - ■ 利用制限設定
  - ■ 位置情報サービス
  - ■ 安全にご利用いただくために

- 初期設定の利用制限設定を[既定値で設定する]に設定すると、電話・メール制限や利用・通話時間制限がまとめて設定されます。
- 個別に設定を行うこともできます(☞P.99、P.100)。

1 **ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[初期設定]▶[次へ]**

2 **[設定する]▶[次へ]▶新しい保護者パスワードを入力▶もう一度、保護者パスワードを入力▶[OK]▶[OK]**

3 **[既定値で設定する]▶[次へ]▶[OK]▶[OK]**

4 **[新しい連絡先を登録]/[電話帳データから登録]▶保護者パスワードを入力▶[OK]▶緊急連絡先を登録▶[OK]▶[次へ]▶[OK]**

5 **[GPS機能を使用]▶[次へ]▶[同意する]**
- [GPS機能を使用]が有効になっていることを確認してください。

6 **[spモードフィルタカスタマイズへ]▶spモードフィルタカスタマイズを設定▶[次へ]**
- spモードフィルタカスタマイズの設定サイトに接続します。アクセスを制限するサイトやカテゴリの一部を設定/変更できます。必要に応じて設定してください。

7 **[今すぐ学ぶ]**
- 「アニメで学ぶケータイあんぜん教室」アプリケーションが起動します。

8 **[完了]**

SH-05Eのあんしん・あんぜん機能

SH-05Eにはお子さまに安心してご使用いただけるよう、さまざまなあんしん・あんぜん機能が搭載されています。

保護者パスワード☞P.99

お子さまによる「設定」アプリケーション項目の利用を一部制限することができます（保護者制限）。

電話・メール制限☞P.100

電話帳に登録されていない相手との電話の発着信やspモードメール／SMSの送受信を制限することができます。また、保護者パスワードを登録することで電話帳の登録／編集／削除などの操作についても制限することができます。

アプリ制限☞P.101

お子さまの利用を控えたいアプリケーションを非表示にして、アプリケーションの利用を制限することができます。

インターネット制限☞P.102

spモードフィルタカスタマイズの設定サイトに接続します。spモードフィルタと組み合わせてご利用いただくことで、アクセスを制限するサイトやカテゴリの一部を設定／変更できます。

- spモードフィルタカスタマイズをご利用いただくには、追加お申し込みが必要です。

利用・通話時間制限☞P.102

学校にいるときや深夜時間帯など、利用環境に合わせて端末を利用する時間帯を制限することができます。

また、1日に利用可能な累積時間や1日／1カ月に通話可能な累積時間を指定して使いすぎを防止することもできます。

防犯ブザー☞P.104

SH-05Eを防犯ブザーとして利用することができます。

また、防犯ブザーを鳴らしたときに自動的に電話を発信したり、現在地をお知らせするように設定したりすることができます（ブザー検索）※。

電源OFF検索☞P.106

電源を切ったときに現在地をお知らせすることができます※。

ちょこっと通知検索☞P.106

「ちょこっと通知」アプリケーションを利用して、ワンタッチで現在地をお知らせすることができます※。

※2013年1月現在、ブザー検索、電源OFF検索、ちょこっと通知検索はご利用いただけません。ご利用にはイマドコサーチに関連したソフトウェア更新（本端末の製品アップデート）が必要です。ソフトウェア更新の詳細については、ドコモのホームページの「製品アップデート情報」にてご案内いたします。

目次

ご使用前の確認と設定

docomo Palette UI

電話

メール/ブラウザ

本体設定

あんしん・あんぜん機能

ファイル管理

アプリケーション

海外利用

付録／索引

本端末のご利用について

- 本端末はLTE・W-CDMA・GSM／GPRS方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かないところ、屋外でも電波の弱いところ、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが４本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容（電話帳、カレンダー、メモ、音声・伝言メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本端末は、Xiエリア、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- microSDカードや端末の容量がいっぱいに近い状態のとき、起動中のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。そのときは保存されているデータを削除してください。
- 本端末はWi-Fi機能に対応しておりません。一部のアプリケーションではWi-Fi機能の設定項目がありますが、利用することはできません。
- 本端末はｉモード機能（ｉモードのサイト（番組）への接続、ｉアプリなど）には対応しておりません。
- mopera U、ビジネスmoperaインターネット（URL制限）およびspモード以外のプロバイダはサポートしておりません。
- お客様の電話番号（自局番号）は、ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[プロフィール]で確認できます。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本端末では、マナーモードに設定中でも、着信音、操作音、各種通知音以外の動作音声（カメラのシャッター音など）は消音されません。

- 本端末は、最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます（☞P.157）。
- ご利用の端末のソフトウェアバージョンについては☞P.97
- 紛失に備え、画面のロックを設定し端末のセキュリティを確保してください（☞P.90）。
- 本端末ではGoogle Play™からアプリケーションをダウンロードし、ご利用いただくことはできません。また、Google Play、Gmail™、Google マップ™など、Googleが提供するアプリケーションはご利用になれません。
- ご利用時の料金など詳細については、次のサイトをご覧ください。
  http://www.nttdocomo.co.jp/

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
  また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

絵表示	内容
指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

「安全上のご注意」は、下記の７項目に分けて説明しています。

本端末・電池パック・アダプタ・卓上ホルダ・ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能については下記をご参照ください。
☞P.22「防水／防塵性能」

指示

本端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子、イヤホンマイク端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください(おサイフケータイ ロック設定を行っている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。
- 本端末の電源を切る。
- 電池パックを本端末から取り外す。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながら電話などを長時間行うと本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

本端末の取り扱いについて

⚠警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1 m以上離れてください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末内のドコモminiUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。
Earphone Signal Level
The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 20 mV.

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部の表面には保護フィルム、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

指示

防犯ブザーを鳴らす場合は、必ず本端末を耳から離してください。

難聴の原因となります。

⚠注意

禁止

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーや地磁気センサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。

また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

禁止

ディスプレイの表面には、落下や衝撃などにより破損した場合の安全性確保(強化ガラスパネルの飛散防止)を目的とする保護フィルムがあります。このフィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。

フィルムをはがして使用した場合、ディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について☞P.16「材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタ・卓上ホルダの取り扱いについて

⚠警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

端末

使用箇所	材質／表面処理
ディスプレイ面	強化ガラス／表面飛散防止シート付き
ディスプレイ面の周囲	本体色Blue、Pink：ABS樹脂／表面UV塗装 本体色White：ABS樹脂／不連続蒸着
側面	PA樹脂／表面UV塗装
電源キー	PC樹脂／表面UV塗装
サイドキー	PC樹脂／表面UV塗装
ストラップピン	SUS
充電端子	SUS／Auメッキ
外部接続端子	銅合金／Pd-Ni上金メッキ
外部接続端子カバー	PC樹脂／表面UV塗装
外部接続端子カバーのパッキン	シリコンゴム
イヤホンマイク端子	銅合金／金メッキ
イヤホンマイク端子の周囲(内側)	9Tナイロン
イヤホンマイク端子の周囲(外側)	PA樹脂／表面UV塗装

使用箇所	材質／表面処理
カメラパネル	PMMA樹脂／UVコート
カメラ飾り	本体色Blue、Pink：PA樹脂／表面UV塗装 本体色White：PA樹脂／不連続蒸着
赤外線ポート	PMMA樹脂
赤外線ポートの周囲	PMMA樹脂
モバイルライト（内側）	PMMA樹脂
モバイルライト（外側）	ABS樹脂
ディスプレイ面の裏側	PA樹脂
ディスプレイ面の裏側（FOMA／Xiアンテナ）	LDS樹脂／金メッキ、表面UV塗装
スピーカー部	PE
スピーカー部の周囲	発泡PE
RF端子カバー	PET
ドコモminiUIMカードスロットの樹脂部分	LCP
ドコモminiUIMカードスロットの金属部分	SUS／Niメッキ
ドコモminiUIMカードスロットのレバー	46ナイロン
ドコモminiUIMカードスロットの下部	ABS樹脂
microSDカードスロットの樹脂部分	LCP
microSDカードスロットの金属部分	SUS
電池端子	銅合金／金メッキ
電池収納面	ガラスエポキシ基板／金メッキ、PET
ネジ	鋼／Niメッキ、黒Niメッキ、三価クロメート

リアカバー

使用箇所	材質／表面処理
リアカバー本体	PC樹脂／表面UV塗装
リアカバーのパッキン	シリコンゴム

電池パック

使用箇所	材質／表面処理
電池パック本体	PC樹脂／放電加工
電池パック端子部	銅合金／全面Ni下地メッキ、金メッキ

卓上ホルダ

使用箇所	材質／表面処理
本体上ケース	ABS 生地
本体下ケース	ABS＋PLA 生地
ツメ	POM 生地
スイッチ	POM 生地
レバー	POM 生地
充電端子	Au 0.5μ 封孔処理
接続端子の金属部	ステンレス鋼
ネジ	SWCH
ストッパー	ポロン

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **SH-05Eは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。**

  電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**

  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

  また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**

  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**

  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。

  また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**

  傷つくことがあり故障、破損の原因となります。
- **オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

本端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**

  タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**

  温度は５℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**

  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**

  故障、破損の原因となります。

- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
  故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常は外部接続端子カバーを閉じた状態でご使用ください。
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
  電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードなどを本端末に近づけないでください。
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  故障の原因となります。

ドコモminiUIMカードについてのお願い

- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のＩＣカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- ＩＣ部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ＩＣを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
  故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
  本端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

① 2.4：2.4GHz帯を使用する無線設備を表します。
② FH：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
③ 1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④ ▬▬▬：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

- Bluetooth機器使用上の注意事項
  本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
  1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
  3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FeliCaリーダー／ライターについて

- 本端末のFeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク㊋」が本端末の銘版シールに表示されております。本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。
  本端末のFeliCa リーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。
- 本端末をmicroUSB接続ケーブル 01（別売）でパソコンと接続する場合は使用を禁止された区域などでは行わないようご注意ください。
  自動的に電源が入る場合があります。

防水／防塵性能

SH-05Eは、外部接続端子カバーをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けた状態でIPX5※1、IPX7※2の防水性能、IP5X※3の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところにSH-05Eを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

SH-05Eが有する防水／防塵性能でできること

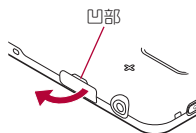
- 雨の中で傘をささずに通話ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
- 汚れを洗い流すことができます。洗うときは、やや弱めの水流（6リットル/分以下、常温（5℃～35℃）の水道水）で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。リアカバーを取り付けた状態で、外部接続端子カバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください（☞P.25）。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

ご利用にあたって

防水／防塵性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

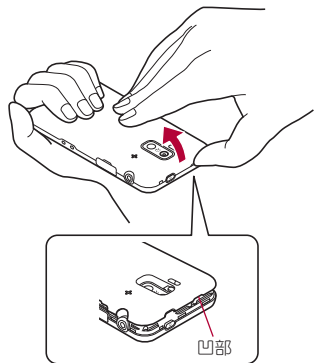
- 外部接続端子カバー、リアカバーをしっかりと閉じてください。開閉するときは、ゴムパッキンに無理な力を加えないように注意してください。
- 外部接続端子カバーやリアカバーが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
- 防水／防塵性能を維持するため、外部接続端子カバー、リアカバーはしっかり閉じる構造となっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける可能性がありますので、ご注意ください。
- イヤホンマイク端子の中に埃が入った場合は、綿棒などで取り除いてご使用ください。

外部接続端子カバーの開きかた

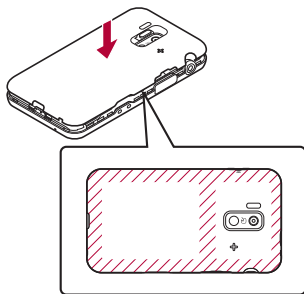
凹部に指先をかけて、開けてください。

外部接続端子カバーの閉じかた

外部接続端子カバーの付根部を収納し（1）、端末とカバーにすき間が生じないように合わせ、矢印の方向に押して閉じてください（2）。

リアカバーの取り外しかた

1 端末の下部をしっかりと持ち、リアカバーの中央部を軽く押さえ、リアカバーの凹部に指先をかけて取り外す

リアカバーの取り付けかた

1 リアカバーの向きを確認して端末に合わせるように装着し、リアカバーの周囲（斜線部）をしっかりと押して取り付ける

- リアカバーと端末にすき間がないことを確認してください。

- リアカバーはしっかりと閉めてください。不十分だとリアカバーが外れ、振動で電池パックが外に飛び出すおそれがあります。また、防水／防塵性能が損なわれ、水や粉塵が侵入する原因となります。
- リアカバーは無理に取り付けようとしたり、取り外そうとしたりすると破損するおそれがあります。無理な力を加えないようにしてください。

- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

注意事項

- 手が濡れているときや端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子カバーの開閉はしないでください。
- 外部接続端子カバー、リアカバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が侵入する原因となります。
- 外部接続端子カバー、リアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子カバー／リアカバーと本体の接触面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
  ゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。
- 外部接続端子カバー、リアカバーのすき間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、水や粉塵が侵入する原因となります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 水中で端末を使用（キー操作を含む）しないでください。故障の原因となります。
- 規定（☞P.22）以上の強い水流（6リットル/分を超える）を直接当てないでください。SH-05EはIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 常温（5℃～35℃）の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- 洗濯機などで洗わないでください。
- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へ移動するときは端末が常温になってから持ち込んでください。
- 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 海水には浸けないでください。
- 砂／泥の上に直接置かないでください。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- 端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 送話口／マイク、受話口、スピーカー、イヤホンマイク端子に水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- 送話口／マイク、受話口、スピーカー、イヤホンマイク端子などを尖ったものでつつかないでください。
- 端末が水に濡れた状態でイヤホンマイクを挿さないでください。故障の原因になります。

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。付属の卓上ホルダに端末を置いた状態の場合、ACアダプタ（別売）を接続していない状態でも、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。

せっけん／洗剤／入浴剤

海水

プール

温泉

砂／泥

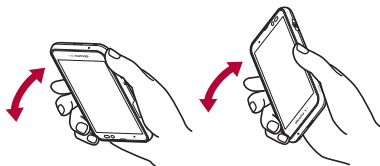
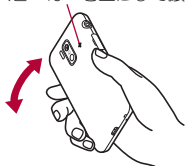
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

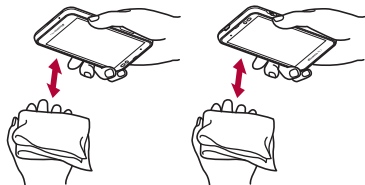
水に濡れたときの水抜きについて

端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

1 端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

- ストラップを付けている場合は、ストラップも十分乾かしてください。

2 端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

3 送話口／マイク、受話口、スピーカー、キー、イヤホンマイク端子などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに端末を軽く押し当てて拭き取る

- 各部の穴に水が溜まっていることがありますので、開口部に布を当て、軽くたたいて水を出してください。

4 端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取る

- 水を拭き取ったあとに本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

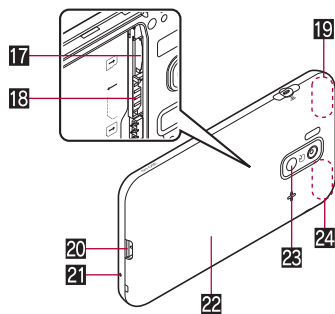
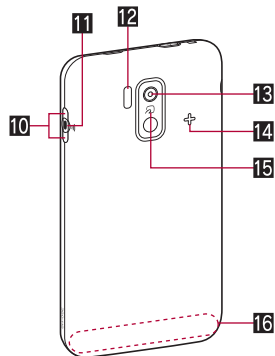
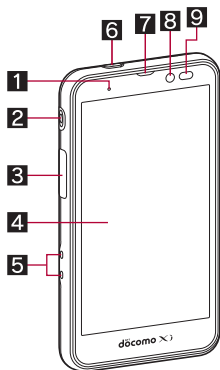
充電のとき

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 端末が濡れていないか確認してください。濡れている場合や水に濡れたあとは、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子カバーを開いたりしてください。
- 外部接続端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。外部接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。

- 端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

1 着信／充電ランプ

2 イヤホンマイク端子

3 外部接続端子

4 ディスプレイ／タッチパネル

5 充電端子
- 付属の卓上ホルダで充電するための端子です。

6 電源キー：電源キー
- 電源を入れる／切るときなどに利用します。
- スリープモードの設定／解除に利用します。

7 受話口

8 インカメラ

9 近接センサー／明るさセンサー※1
- 近接センサーは、通話中に顔の接近を感知して、タッチパネルの誤動作を防ぎます。
- 明るさセンサーは、周りの明るさを検知して、バックライトの明るさを調整します。

10 ／：音量UP／DOWNキー
- 各種機能で音量を調節します。
- タッチパネルのロック解除画面でを1秒以上押すと、モバイルライトを点灯することができます。
- タッチパネルのロック解除画面でを1秒以上押すと、マナーモードを設定／解除することができます。

11 ：防犯ブザーキー
- 2秒以上押すと防犯ブザーが鳴動します。

12 赤外線ポート

13 アウトカメラ

14 スピーカー
- 着信音や音楽、防犯ブザー音などがここから聞こえます。
- ハンズフリー通話中は相手の声がここから聞こえます。
- 本体色によってデザインが異なります。本書では本体色「Blue」の場合で記載しています。

15 マーク
- ＩＣカードが搭載されています（取り外しはできません）。

16 FOMA／Xiアンテナ※2

17 microSDカードスロット

18 ドコモminiUIMカードスロット

19 FOMA／Xiサブアンテナ※2

20 ストラップ取り付け口

21 送話口／マイク

22 リアカバー

23 モバイルライト

24 GPS／Bluetoothアンテナ※2

※1 センサー部分を手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。センサーが正常に動作しないことがあります。

※2 アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響をおよぼす場合があります。

イヤホンマイク端子について
- 対応するイヤホンマイクについては次のサイトをご覧ください。
  http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh-05e/peripherals.html#!/earphone_support

ディスプレイについて
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、ごくまれに点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

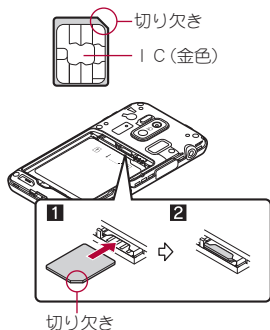
ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているＩＣカードです。

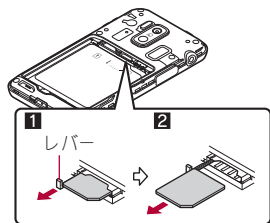
- ドコモminiUIMカードを取り付けないと、電話、パケット通信などの機能を利用できません。
- ドコモminiUIMカードは、対応端末以外ではご利用いただけないほか、ドコモUIMカードからのご変更の場合は、ご利用のサイトやデータなどの一部がご利用いただけなくなる場合があります。
- 日本国内では、ドコモminiUIMカードを取り付けないと緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号があります（☞P.93）。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しは、電源を切ってから背面を上向きにし、リアカバー、電池パックを取り外してから行ってください（☞P.23、P.32）。端末は、両手でしっかり持ってください。取り付け／取り外しが終わったら、リアカバー、電池パックを取り付けてください（☞P.23、P.32）。

取り付けかた

1 ドコモminiUIMカードのＩＣ（金色）面を下に向けて、ドコモminiUIMカードスロットにセットする（1）

- 奥まで差し込んでください（2）。

取り外しかた

1 レバーを引いて、ドコモminiUIMカードを引き出し（1）、まっすぐ引き抜く（2）

- 取り外す際は、ドコモminiUIMカードを落とさないようにご注意ください。

- レバーを無理に引っ張ったり、力を加えたりすると、破損するおそれがありますのでご注意ください。
- ドコモminiUIMカードを取り扱うときは、IC(金色)部分に触れたり傷つけたりしないようにご注意ください。また、無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとドコモminiUIMカードが破損するおそれがありますので、ご注意ください。
- ドコモminiUIMカードの詳しい取り扱いについては、ドコモminiUIMカードの取扱説明書を参照してください。
- 取り外したドコモminiUIMカードは、なくさないようにご注意ください。

microSDカード

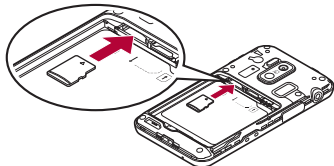
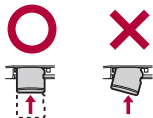
端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- SH-05Eでは市販の2Gバイトまでのmicro SDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカード、64GバイトまでのmicroSDXCカードに対応しています(2013年1月現在)。microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については、次のサイトをご覧ください。
  http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh-05e/peripherals.html#!/microsd_support
  掲載されているmicroSDカード以外については、microSDカードの製造メーカへお問い合わせください。
  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 利用できるファイルのサイズは、1ファイル2Gバイトまでです。
- 端末にmicroSDカードを挿入した直後(端末で使用するための情報を書き込み中)や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、端末で初期化する必要があります(☞P.86)。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、端末では正常に使用できないことがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、端末で表示、再生できないことがあります。また、端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化をする必要があります(データはすべて削除されます)。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、microSDHCカードもしくはmicroSDカードなど、コピー先/コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。
- microSDカードに保存されたデータはバックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- microSDカードの取り付け／取り外し（マウント解除後を含む）は、電源を切って、背面を上向きにし、リアカバー、電池パックを取り外してから行ってください（☞P.23、P.32）。端末は、両手でしっかり持ってください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。取り付け／取り外しが終わったら、リアカバー、電池パックを取り付けてください（☞P.23、P.32）。

取り付けかた

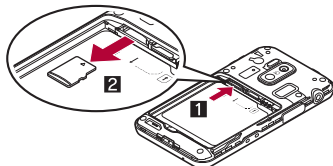
1 microSDカードの金属端子面を下に向けて、microSDカードスロットにゆっくりと挿入する

- 「カチッ」と音がするまで、ゆっくり指で押し込んでください。

- microSDカードが傾いた状態や、表裏が逆の状態で無理に押し込まないでください。microSDカードスロットが破損することがあります。

取り外しかた

1 microSDカードを軽く押し込む（1）

- 「カチッ」と音がするまで押し込んでください。microSDカードが手前に飛び出します。無理に引き抜くと、端末やmicroSDカードを破損させるおそれがあります。

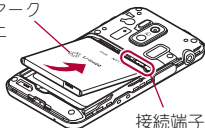
2 microSDカードを取り外す（2）

- ゆっくりとまっすぐに取り外してください。

電池パック

- 電池パックは、本端末専用の電池パック SH36をご利用ください。
- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから背面を上向きにし、リアカバーを取り外してから行ってください（☞P.23）。端末は、両手でしっかり持ってください。取り付け／取り外しが終わったら、リアカバーを取り付けてください（☞P.23）。

取り付けかた

1 電池パックを取り付ける

- 電池パックのリサイクルマークのある面を上に向けて、端末の接続端子と電池パックの接続端子を合わせて取り付けてください。

取り外しかた

1 電池パックを取り外す

- 電池パックには取り外し用のツメが付いています。ツメの部分に無理な力を加えないよう指先をかけて上方向に取り外してください。

- 無理に取り付けたり、取り外したりすると、端末の電池パックとの接続端子が破損することがあります。

充電

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからご使用ください。

- 外部接続端子カバーの閉め忘れによる水や粉塵の侵入を防ぐため、付属の卓上ホルダ SH43を使用して充電することをおすすめします（☞P.34）。

充電時のご注意

- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、端末の電源が入っていると電池パックの充電量が減少します。
  このような場合、ACアダプタ（別売）やDCアダプタ（別売）は再び充電を行います。ただし、ACアダプタやDCアダプタから端末を取り外す時期により、電池パックの充電量が少ない、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少している場合があります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから（電池残量が減ってからなど）充電することをおすすめします。

充電時間の目安

端末の電源を切り、電池パックを電池残量のない状態から充電したときの充電時間の目安は次のとおりです。

ACアダプタ 03	約200分
DCアダプタ 03	約210分

- 端末の電源を入れておいても充電できます(充電中は電池マークに[ϟ]が重なって表示されます)。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。

十分に充電したときの利用可能時間(目安)

連続通話時間	FOMA/3G 　約370分 GSM 　約480分
連続待受時間	FOMA/3G 　静止時:約450時間(ネットワークモード:LTE/3G/GSM(自動)) GSM 　静止時:約370時間(ネットワークモード:LTE/3G/GSM(自動)) LTE 　静止時:約290時間(ネットワークモード:LTE/3G/GSM(自動))

- 利用可能時間について詳しくは☞P.161

電池パックの寿命

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながら電話などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。

Li-ion00

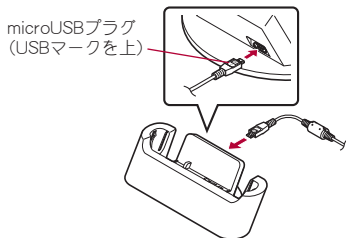
ACアダプタ、DCアダプタ

- 詳しくはFOMA ACアダプタ01/02(別売)、FOMA海外兼用ACアダプタ 01(別売)、FOMA DCアダプタ01/02(別売)、ACアダプタ 03(別売)、DCアダプタ 03(別売)の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ02/FOMA海外兼用ACアダプタ 01/ACアダプタ 03は、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用(国内仕様)です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

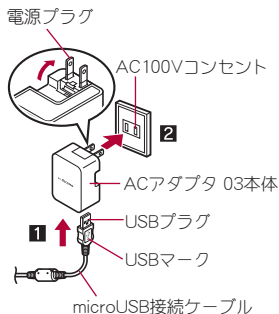
卓上ホルダで充電

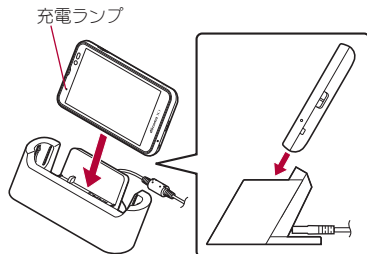
- 付属の卓上ホルダでの充電には、ACアダプタ 03の使用をおすすめします。

1 microUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを、USBマークを上にして卓上ホルダの接続端子に水平に差し込む

- microUSBプラグの向き（表裏）をよく確かめ、水平に差し込んでください。

2 microUSB接続ケーブルのUSBプラグを、USBマークを手前にしてACアダプタ本体のUSBコネクタに水平に差し込む（1）

- microUSB接続ケーブルのUSBプラグの向き（表裏）をよく確かめ、ACアダプタ本体に水平に差し込んでください。

3 ACアダプタ本体の電源プラグを起こし、コンセントに差し込む（2）

4 端末を卓上ホルダに置くと、充電ランプが点灯して、充電が開始する

- 端末を卓上ホルダの傾きに合わせて矢印の方向に「カチッ」と音がするように置いてください。

5 充電が完了すると、充電ランプが消灯する

- 卓上ホルダを押さえながら、端末を持ち上げます。

6 ACアダプタ本体の電源プラグをコンセントから抜く

7 microUSB接続ケーブルのUSBプラグをACアダプタ本体のUSBコネクタから水平に抜く

8 microUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを卓上ホルダの接続端子から水平に抜く

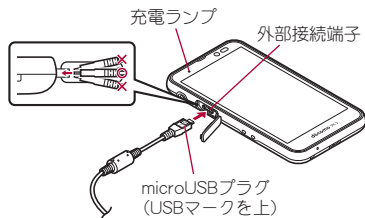
- 充電ランプが点灯しないときは、端末が卓上ホルダに正しく置かれていないことがあります。正しく置き直してください。
- 端末を卓上ホルダに置くときは、ストラップなどを挟まないようにご注意ください。
- 卓上ホルダとパソコンをmicroUSB接続ケーブルで接続しても充電することはできません。

ACアダプタ／DCアダプタで充電

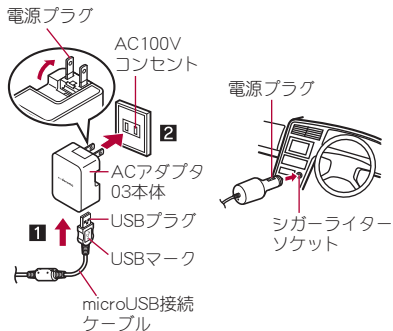
[必ず対応のACアダプタ（別売）、DCアダプタ（別売）、FOMA 充電microUSB変換アダプタ（別売）の取扱説明書を参照してください]

- 次の操作はACアダプタ 03またはDCアダプタ 03を使用して説明しています。

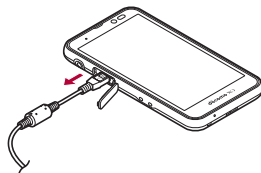
1 端末の外部接続端子カバーを開き、microUSB接続ケーブル／DCアダプタのmicroUSBプラグを、USBマークを上にして外部接続端子に水平に差し込む

- microUSBプラグの向き（表裏）をよく確かめ、水平に差し込んでください。

2 microUSB接続ケーブルのUSBプラグを、USBマークを手前にしてACアダプタ本体のUSBコネクタに水平に差し込む（1）

- microUSB接続ケーブルのUSBプラグの向き（表裏）をよく確かめ、ACアダプタ本体に水平に差し込んでください。

3 ACアダプタ本体の電源プラグを起こし、コンセントに差し込む（2）、またはDCアダプタの電源プラグを車のシガーライターソケットに差し込むと、充電ランプが点灯して、充電が開始する

4 充電が完了すると、充電ランプが消灯する

5 ACアダプタ本体の電源プラグをコンセントから抜く、またはDCアダプタの電源プラグを車のシガーライターソケットから抜く

6 microUSB接続ケーブル／DCアダプタのmicroUSBプラグを外部接続端子から水平に抜き、外部接続端子カバーを閉じる

- 無理に差し込んだり抜いたりすると、外部接続端子やmicroUSBプラグ、USBプラグが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。
- 外部接続端子カバーは無理に引っ張らないでください。破損することがあります。
- 充電時、端末の周りに物などを置かないでください。端末に傷を付けるおそれがあります。
- FOMA ACアダプタ01／02やFOMA DCアダプタ01／02で充電するには、FOMA 充電microUSB変換アダプタ SH01／T01（別売）が必要です。

DCアダプタのとき

- DCアダプタはマイナスアース車専用です（DC12V・24V両用）。
- 車のエンジンを切ったままで使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる場合があります。
- DCアダプタのヒューズは消耗品ですので、交換の際はお近くのカー用品店などでお買い求めください。
- 詳しくは、FOMA DCアダプタ01／02、DCアダプタ 03の取扱説明書をご覧ください。

microUSB接続ケーブル 01で充電

端末の電源が入っているときに、端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01（別売）で接続すると、端末を充電することができます。

- あらかじめ、パソコンにUSBドライバをインストールしておいてください。パソコンにUSBドライバをインストールしていない場合、高速転送モードで接続したときに充電することができません。
  - USBドライバのインストールについては、次のサイトのPDF版「USBドライバインストールマニュアル」をご覧ください。
    http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh-05e/download.html#usb_driver
- パソコンとの接続方法については☞P.114

電源ON／OFF

電源ON

1 **(⏻)（2秒以上）**

- はじめて端末の電源を入れたときに初期設定画面が表示されます。各設定項目はメニューからも設定できます（☞P.2）。
- ドコモサービスの初期設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

電源OFF

1 **(⏻)（1秒以上）▶［電源を切る］▶［OK］**

- 電源OFF検索設定を［ON］に設定している場合、電源を切ると現在地をお知らせします（2013年1月現在、ご利用いただけません）。

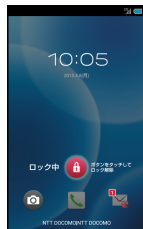
スリープモード

(⏻)を押したときや端末を一定時間使用しなかったときは、ディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。

スリープモード中に(⏻)を押すと、スリープモードが解除されます。

タッチパネルのロック

電源を入れたときやスリープモードを解除したときはタッチパネルがロックされています。

［🔒］をタッチすると、ロックが解除されます。

タッチパネルのロック解除画面の操作

- マナーモード設定／解除：🔕（1秒以上）
- モバイルライト点灯：🔦（1秒以上）
  - 消灯するときはいずれかのキーを押すか、［🔒］をタッチします。
- カメラの起動：［📷］

- モバイルライトは点灯後、約30秒経過すると自動的に消灯します。
- 画面のロックを［タッチ］に設定している場合、ステータスパネルを表示できます。

基本操作

タッチパネルの操作

タッチパネル（ディスプレイ）を直接指で触り、操作を行うことができます。

- 利用中の機能や画面によって操作は異なります。

タッチパネル利用時のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - タッチパネルが濡れたままでの操作
  - 指が汗や水などで濡れた状態での操作

- 確認画面などの表示中に、確認画面やステータスバー以外をタッチすると操作が中止されることがあります。

タッチ

画面に表示されるキーや項目をタッチして、選択・決定を行います。

1 **タッチパネルに触れて、指を離す**

ロングタッチ

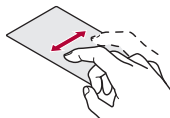
利用中の機能や画面によっては、画面をロングタッチするとメニューが表示されることがあります。

1 **タッチパネルに触れたままにする**

スライド／ドラッグ

メニュー表示中などに上下にスライドして画面をスクロールしたり、アイコンやウィジェットなどに触れたまま、目的の位置までスライド（ドラッグ）して移動したりできます。

また、メニューや項目に間違って触れたときにメニューや項目から離れるようにスライドすると、選択を中止できます。

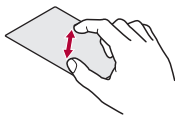
1 **タッチパネルに触れたまま、指を動かす**

フリック

ホーム画面などで左右にフリックすると、ページの切り替えができます。

1 タッチパネルをはらうように指を動かす

ピンチアウト／ピンチイン

画像表示中などにピンチアウト／ピンチインすると、画像の拡大／縮小ができます。

1 2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間を広げる（ピンチアウト）／狭める（ピンチイン）ように指を動かす

機能利用中の操作

ナビゲーションキー

画面下部に表示されるナビゲーションキーを使って基本的な操作を行うことができます。

1 :戻るキー
- 1つ前の画面に戻します。

2 :ホームキー
- ホーム画面／ホーム画面のメインページを表示します。

3 :メニューキー
- 利用できる機能（メニュー）を表示します。

4 :アプリ使用履歴キー
- 最近使用したアプリケーションの履歴を表示します。

メニューを呼び出す

[ ]をタッチしたり画面をロングタッチしたりすると、その画面で利用できる機能（メニュー）が表示されます。

例：ホーム画面

アプリケーション使用履歴の利用

最近使用したアプリケーションの履歴を表示し、アプリケーションを起動することができます。

1 [ ]

2 **履歴を利用する**

1 すべて消去
- タッチするとアプリケーション使用履歴をすべて削除できます。

2 アプリケーション使用履歴
- タッチするとアプリケーションを起動できます。
- 左右にフリックすると履歴を削除できます。

- 起動中のアプリケーションは履歴に表示されません。
- アプリケーションによっては履歴に表示されない場合があります。

設定の切替

設定項目の横にチェックボックスが表示されているときは、チェックボックスをタッチすることで設定の有効／無効や[ON]／[OFF]を切り替えることができます。

例：音・バイブ・ランプ画面、アラーム画面

- [☑]は有効、[□]は無効の状態です。

縦／横表示

端末を傾けたときに画面の表示が切り替わります。

- 端末が地面に対して水平に近い状態で向きを変えても、縦／横表示は切り替わりません。
- 音やバイブレータが動作しているときは、切り替えが正しく行われない場合があります。
- 画面が点灯した直後や電源を入れた直後は、縦横が正しく表示されない場合があります。
- 自動的に切り替わらないように設定することもできます（☞P.84）。
- 縦表示から横表示にした場合、アプリケーションによっては全画面表示されることがあります。

スクリーンショットを撮影

⏻＋▽を１秒以上押すと、表示中の画面を本体メモリに保存できます。

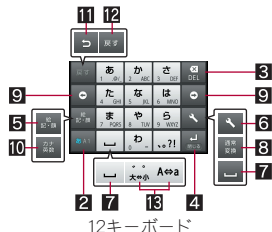
- 撮影時にシャッター音が鳴ります。
- 保存したスクリーンショットはギャラリーで確認することができます。

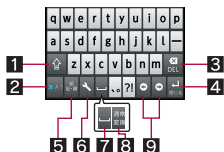
> - 電子書籍の表示中などは保存できません。
> - アプリケーションによっては全部または一部が保存できない場合があります。

キーボードの見かた

- 次の２種類のキーボードを利用できます。

QWERTYキーボード	文字入力キーをタッチすると表示されている文字を入力できます。ローマ字で文字を入力します。
12キーボード	１つの文字入力キーに複数の文字が割り当てられています。文字入力キーをタッチするたびに文字が切り替わります。 ● 文字入力キーを上下左右にフリックして、文字を入力することもできます。

QWERTYキーボード

12キーボード

※各キーは設定や状況に応じて表示が切り替わります。

1 シフトキー

- 大文字／小文字を切り替えるときなどにタッチします。
  - ・[⇧]が表示されているときは小文字が入力されます。[⬆]が表示されているときは最初に入力する文字が大文字になります。[⬆]が表示されているときは大文字が入力されます。
  - ・大文字／小文字を切り替えると、入力できる記号も変わります。

2 入力モード切替キー

- 入力モードを変更するときにタッチします。
  - ・タッチすると、ひらがな漢字→半角英字→半角数字の順に、入力モードが切り替わります。各入力モードで設定したキーボードが表示されます。
  - ・入力モード切替キーを右にスライドしても入力モードを切り替えることができます。

3 削除キー

- カーソル左側の文字を消します。カーソルが先頭にある場合はカーソル右側の文字を、文字にカーソルが当たっている場合はカーソル位置の文字を消します。

4 エンターキー

- 改行します。
- 入力した文字を確定します。
- 検索ボックスなどの入力欄に入力した内容を実行します。
- 次の入力欄に移動します。
- ロングタッチすると、キーボードを閉じます。

5 記号キー

- 絵文字／デコメ絵文字®／記号／顔文字リストを表示します。
  - ・アプリケーションによっては、入力できないものがあります。
- 右にスライドすると連携アプリ一覧が表示されます。

6 設定キー

- 設定メニューを表示します。

7 スペースキー

- スペースを入力します。

8 通常変換キー

- 入力した文字を通常変換します。

9 カーソルキー

- カーソルを移動したり、変換する文字の区切りを変更したりできます。

10 カナ英数キー

- 入力した文字のカタカナ、タッチしたキーに割り当てられた英数字や記号の通常変換候補を表示します。
- 右にスライドすると連携アプリ一覧が表示されます。

11 逆トグルキー

- 同じキーに割り当てられた文字を通常とは逆の順序で表示します。

12 戻すキー

- 直前に行った操作を取り消します。

13 文字切替キー

- 大文字／小文字を切り替えるときにタッチします。
- 濁点／半濁点を付けるときにタッチします。

キーボードの切替

例：ひらがな漢字入力モードで縦表示のとき

1 文字入力画面で[🔧]▶[入力方式を切替]▶[QWERTYキーボードに切替[あいう[漢字]][縦画面]]／[12キーボードに切替[あいう[漢字]][縦画面]]

- キーボードを左右に端から端までスライドしても切り替えることができます。

文字入力の設定

表示・レイアウトの設定

1 文字入力画面で[🔧]▶[各種設定]▶[表示・レイアウトの設定]

2 項目を選ぶ

- ■ キー入力ガイド表示：選択したキーの拡大表示やフリック入力のガイドを表示するか設定します。
- ■ キーボードイメージ：キーボードのデザインを設定します。
- ■ キーサイズと候補行数：縦表示のキーボードのサイズと変換候補欄の行数を設定します。
- ■ 絵記号リスト列数：絵文字・記号リストの列数を設定します。

入力補助の設定

1 文字入力画面で[🔧]▶[各種設定]▶[入力補助の設定]

2 項目を選ぶ

- ■ キー操作音：文字入力時の操作音の有無を設定します。
- ■ キー操作バイブ：文字入力時にバイブレータを動作させるか設定します。

- フリック感度:フリック入力をするときの文字選択の感度を設定します。
- トグル入力:フリック入力時もトグル入力を利用するか設定します。
- ローマ字キーボード補助:ローマ字で日本語入力するときに不要なキーをタッチできないように設定します。
- 自動カーソル移動:文字入力後にカーソルを自動的に右側に移動させる速度を設定します。
- 自動スペース入力:英字入力で英単語を選択したあと半角スペースを自動的に挿入します。

変換機能の設定

1 文字入力画面で[🔧]▶[各種設定]▶[変換機能の設定]

2 項目を選ぶ

- 予測変換:予測変換を利用するか設定します。
- ワイルドカード予測:ワイルドカード予測を利用するか設定します。
- 入力ミス補正:入力ミス補正について設定します。
- つながり予測:入力確定直後につながり予測変換候補を表示します。
- メールいきなり予測:spモードメールの本文入力時に文頭に使用する文章の候補を表示します。
- 外部変換エンジン:外部の変換エンジンを利用して変換候補を表示します。
- 自動大文字変換:英字入力で文頭文字を大文字で入力します。

辞書の設定

1 文字入力画面で[🔧]▶[各種設定]▶[辞書の設定]

2 項目を選ぶ

- 日本語ユーザー辞書:日本語ユーザー辞書の単語を編集します。
- 英語ユーザー辞書:英語ユーザー辞書の単語を編集します。
- ダウンロード辞書:ダウンロード辞書の登録/解除/削除をします。
- 電話帳名前データと連携:電話帳の名前データを辞書に追加/初期化します。

手書き入力の設定

1 文字入力画面で[🔧]▶[各種設定]▶[手書き入力の設定]

2 項目を選ぶ

- 認識言語:認識する言語を切り替えます。
- 予測変換結果表示:予測変換を利用するか設定します。
- インクの太さ:インクの太さを設定します。
- 文字のスライド速度:文字をスライドする速度を設定します。
- 手書き文字自動消去:書いた文字を自動的に削除するか設定します。
- 手書き文字自動消去速度:書いた文字を自動的に削除する速度を設定します。
- バージョン情報:手書き入力の設定のバージョンを確認します。
- 法的情報:手書き入力の設定の商標や契約条項などを確認できます。

各種リセット

1 文字入力画面で[🔧]▶[各種設定]▶[各種リセット]

2 項目を選ぶ

- ■設定リセット:iWnn IME - SH editionの設定をリセットします。
- ■学習辞書リセット:学習辞書をリセットします。
- ■顔文字リセット:顔文字リストの内容をリセットします。

文字入力のしかた

例:「日曜日」と入力するとき

1 文字入力画面で「にちようび」と入力

1 拡大/縮小
- ● 予測変換候補欄を拡大/縮小します。

2 予測変換候補欄
- ● 予測変換候補が表示されます。変換候補をタッチすると入力できます。
- ● 外部変換エンジンを設定している場合は[外部変換]が表示されます。タッチすると外部の変換エンジンを利用した変換候補が表示されます。

2 [通常変換]

3 変換候補欄で「日曜日」を選ぶ

1 閉じる
- ● 通常変換候補欄を閉じます。

2 通常変換候補欄
- ● 通常変換候補が表示されます。変換候補をタッチすると入力できます。
- ● 外部変換エンジンを設定している場合は[外部変換]が表示されます。タッチすると外部の変換エンジンを利用した変換候補が表示されます。

3 文節縮小
- ● 変換する文字の区切りを縮小することができます。

4 確定
- ● 変換を確定します。

5 予測変換
- ● 通常変換候補欄を閉じます。
- ● 変換する文字の区切りを縮小している場合は、[文節拡大]が表示されます。タッチすると変換する文字の区切りを拡大することができます。

ワイルドカード予測

入力した文字数から変換候補を予測して表示します。

- あらかじめ[ワイルドカード予測]を有効にしておいてください(☞P.43)。
- ひらがな漢字入力モード、半角英字入力モードのとき利用できます。

例:「アナウンス」と入力するとき

1 文字入力画面で「あな」と入力

2 [➡] ▶ [➡] ▶ [➡]

- [➡]をタッチするたびに[*]が入力され、文字数に合わせた予測変換候補が表示されます。

3 変換候補欄で「アナウンス」を選ぶ

区点コードで入力

文字ひとつひとつに付与されている4桁の区点コードを利用して、漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

1 文字入力画面で[🔧] ▶ [文字種を切替] ▶ [区点コード]

2 区点コードを入力

- 4桁目を入力すると、コード入力した文字が表示されます。
- 4桁目を入力すると区点コード入力モードにする前の入力モードに戻ります。

手書き入力

手書きで文字を入力することができます。

1 文字入力画面で[🔧] ▶ [入力方式を切替] ▶ [手書き入力に切替]

- キーボードを下端から上端までスライドしても手書き入力に切り替えることができます。

2 文字入力部分に文字・記号を手書き入力

- 表示された候補を入力:候補をタッチ

1 予測変換候補欄
2 入力候補欄
3 入力部分
4 キーボードに切替
5 設定キー
- 認識モードの切り替えや、手書き入力の設定などができます。

6 スペースキー
7 確定／改行キー
8 削除キー

- アプリケーションによっては次へ／実行／完了キーが表示されます。次の入力欄に移動したり、検索ボックスなどの入力欄に入力した内容を実行したりすることができます。

- 手書き入力する場合は、ゆっくりと明瞭に入力してください。

テキスト編集

入力した文字を選択して切り取りやコピー、貼り付けなどの操作ができます。

1 入力した文字をロングタッチ

2 文字を編集する

- 選択範囲の指定：[ ]／[ ]をドラッグ
- 辞書で検索：[辞書]
- コピーした文字、切り取った文字の履歴の表示：[🔧] ▶ [アプリ連携] ▶ [コピー履歴SH]

1 すべて選択
- 入力した文字をすべて選択します。

2 切り取り
- 選択した文字を切り取ります。

3 コピー
- 選択した文字をコピーします。

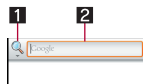
4 貼り付け
- 切り取った文字やコピーした文字を貼り付けます。
- 文字入力欄をロングタッチ ▶ [貼り付け]でも、文字を貼り付けることができます。

- コピーした文字、切り取った文字は合わせて10件まで保存されます。

端末内やサイトの情報の検索

1 ホーム画面で[⠿] ▶ [検索]

- クイック検索ボックスが表示されます。

2 キーワードを入力

1 検索対象選択
- 検索する対象の範囲を設定できます。
  - 表示する検索対象を変更するときは[🔍]をタッチします。

2 検索ボックス
- 検索するキーワードを入力します。
- キーワードを入力すると、入力した文字から始まるアプリケーションやデータなどを検索し、一覧表示します。

3 検索結果を選ぶ

- 検索結果がアプリケーションの場合は対応するアプリケーションが起動します。

検索設定

1 クイック検索ボックスで[☰]▶[検索設定]

2 項目を選ぶ

■ 検索対象:検索する対象の範囲を設定します。

■ ショートカットを消去:クイック検索ボックスでの検索履歴を削除します。

アクセスポイントの設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント(spモード、mopera U)は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。

利用中のアクセスポイントを確認

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[ネットワーク設定]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]

アクセスポイントを追加で設定

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[ネットワーク設定]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]▶[☰]▶[新しいAPN]

2 [名前]▶作成するネットワークプロファイルの名前を入力▶[OK]

3 [APN]▶アクセスポイント名を入力▶[OK]

4 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力▶[☰]▶[保存]

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。
- [データ通信を有効にする]の設定を変更した場合に追加したアクセスポイントに接続できなくなったときは、他に契約されているアクセスポイント(spモード、mopera U)に接続し、再度追加したアクセスポイントに接続し直してください。

アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[ネットワーク設定]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]▶[☰]▶[初期設定にリセット]

- spモードにご契約いただいていない場合や、圏外など電波状況によりアクセスポイントの自動設定に失敗した場合は、再度手動でアクセスポイントを設定する必要があります。

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、iモードと同じメールアドレス(@docomo.ne.jp)を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

mopera Uの設定

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[ネットワーク設定]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]▶[mopera U]／[mopera U 設定]

- mopera U 設定はmopera U 設定用アクセスポイントです。mopera U 設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U 設定の詳細については、mopera U のホームページをご覧ください。

電話帳のインポート／エクスポート

ドコモminiUIMカードからのインポート

1 ホーム画面で[⊞]▶[電話帳]▶[連絡先]

2 [☰]▶[その他]▶[インポート／エクスポート]▶[SIMカードからインポート]

3 インポートする連絡先を選ぶ

- すべての連絡先をインポート：[☰]▶[すべてインポート]

microSDカードからのインポート

1 ホーム画面で[⊞]▶[電話帳]▶[連絡先]

2 [☰]▶[その他]▶[インポート／エクスポート]▶[SDカードからインポート]

3 インポートする電話帳データを選ぶ▶[OK]

- microSDカードに保存されている電話帳データが1件の場合は、自動的にインポートされます。

microSDカードへのエクスポート

1 ホーム画面で[⊞]▶[電話帳]▶[連絡先]

2 [☰]▶[その他]▶[インポート／エクスポート]▶[SDカードにエクスポート]

3 エクスポートする連絡先を選ぶ▶[OK]

4 [OK]

着信／充電ランプ

不在着信がある場合や充電中などに着信／充電ランプを点灯／点滅してお知らせします。

表示状態	色	端末の状態
点灯	赤	充電中
点滅	緑	着信中／不在着信あり
点滅	青	新着spモードメールあり
点滅	紫	ボイスレコーダーで録音中

- ディスプレイが表示されている場合、不在着信や新着spモードメールをお知らせする着信ランプが点滅しません。お知らせアイコンで確認してください。カメラを横表示で起動している場合など、お知らせアイコンが表示されないときはステータスバーが表示される画面で確認してください。
- 充電中に充電ランプが赤色で点滅したときは、電池パックが正しく取り付けられているか確認してください。また、電池パックが寿命のときも赤色で点滅します。

画面表示／アイコン

アイコンの見かた

画面上部のステータスバーに表示されるアイコンで、端末の状態や不在着信の有無など、さまざまな情報を知ることができます。ステータスパネルを表示させると詳細情報を確認できます。

- 表示されるアイコンには、次の２種類があります。

お知らせアイコン	不在着信や新着spモードメールなどをお知らせします。
ステータスアイコン	電池残量や電波状態など端末の状態を表します。

主なお知らせアイコン一覧

- お知らせアイコンには件数が重なって表示されるものもあります。

:不在着信あり

:新着SMSあり

:新着spモードメールあり

:新着エリアメールあり

:エラー表示

- 何らかのエラーが発生したときに表示されます。

:アラーム終了

- アラーム終了操作を行わずにアラームが終了したときに表示されます。

:カレンダーのスケジュール通知あり

:音楽再生中

:USBデバッグ接続中

通話表示
:発信中／着信中／通話中
:Bluetooth機器で通話中
:保留中

:伝言メモあり

:留守番電話の伝言メッセージあり

microSDカード表示
:スキャン中
:マウントを解除したとき

:システムメモリの空き容量低下

:おまかせロック設定中

Bluetooth表示
:Bluetooth機器からの登録要求／接続要求あり
:データ受信要求あり

USB接続表示
:USB接続(カードリーダーモード接続時)
:MTPモード／PTPモード／カードリーダーモード／高速転送モード

データ送受信表示
:送信表示
:受信表示

:アプリケーションのインストール完了

:VPN接続

:アプリケーションのアップデートあり

ソフトウェア更新表示
:ソフトウェア更新あり
:ソフトウェア更新完了

:表示されていないお知らせアイコンあり

エコ技設定表示
:技ありモード
:お助けモード

:GPS測位中

主なステータスアイコン一覧

:アラーム設定中

電池残量表示
～:約100%～約5%
:約0%

- 充電中は電池マークに[]が重なって表示されます。

電波状態表示
:レベル4
:レベル3
:レベル2
:レベル1
:レベル0
:圏外
- 国際ローミング中は電波マークの左上に[R]が表示されます。

:機内モード中

3Gデータ通信状態表示
:3G使用可能
:3Gデータ受信中
:3Gデータ送信中
:3Gデータ送受信中

GSMデータ通信状態表示
:GSM使用可能
:GSMデータ受信中
:GSMデータ送信中
:GSMデータ送受信中

LTEデータ通信状態表示
:LTE使用可能
:LTEデータ受信中
:LTEデータ送信中
:LTEデータ送受信中

HSPAデータ通信状態表示
:HSPA使用可能
:HSPAデータ受信中
:HSPAデータ送信中
:HSPAデータ送受信中

:おサイフケータイ ロック設定中

文字入力モード表示
:ひらがな漢字
:全角カタカナ
:半角カタカナ
:全角英字
:半角英字
:全角数字
:半角数字
:区点コード

マナーモード表示
:通常マナー
:ドライブマナー
:サイレントマナー

:スピーカーで通話中

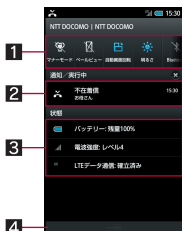
:ミュートに設定中

Bluetooth表示
:待機中
:接続中

伝言メモ表示
:伝言メモ設定中で伝言メモが0件
:伝言メモ設定中で伝言メモが1～9件
:伝言メモ設定中で伝言メモが10件

ステータスパネルの利用

1 ステータスバーを下にドラッグ

2 ステータスパネルを利用

1 機能キーエリア
- マナーモードやベールビューなどについて設定できます。
- 左右にスライドすると機能キーエリアの表示を切り替えることができます。

2 通知／実行中詳細情報
- 対応するアプリケーションがある場合、詳細情報をタッチしてアプリケーションを起動できます。
- 左右にフリックすると、通知／実行中詳細情報を消去できる場合があります。

3 状態詳細情報
- 対応するアプリケーションがある場合、詳細情報をタッチしてアプリケーションを起動できます。

4 閉じるバー
- 上にドラッグすると、ステータスパネルを閉じることができます。

- [✖]をタッチすると通知／実行中詳細情報とお知らせアイコンを消去します。

docomo Palette UI

ホーム画面

ホーム画面の見かた

ホーム画面では、ウィジェットを貼り付けたり、ショートカットやクイックメニューを選択してアプリケーションを起動したりすることができます。

「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

1 インジケータ
- 表示しているページを[●(青色)]で表します。
- メインページを[●(赤色)]で表します。

2 マチキャラ

3 アプリケーション画面表示
- アプリケーション画面を表示します。

4 ウィジェット
- 時間割や時計など、簡単な機能を利用できます。
- Android標準のウィジェットに対応しています。

5 ショートカット
- よく使うアプリケーションをすばやく起動できます。

6 クイックメニュー
- ショートカットを設定すると、ホーム画面のどのページからもすばやくアプリケーションを起動できます。

7 フォルダ
- フォルダを追加すると、フォルダ内のデータをすばやく表示したり、ショートカットをフォルダに格納したりできます。

- ホーム画面でピンチインすると、ホーム画面一覧を表示します。

ホーム画面の管理

ホーム画面の設定

ホーム画面にショートカットやウィジェットなどを貼り付けたり、ホーム画面について設定したりすることができます。

1 ホーム画面をロングタッチ

2 項目を選ぶ

- ■ ショートカット:アプリケーションへのショートカットを追加します。
- ■ ウィジェット:ウィジェットを追加します。
- ■ フォルダ:フォルダを追加します。
- ■ きせかえ:きせかえについては☞P.55
- ■ 壁紙:壁紙については☞P.55
- ■ グループ:グループへのショートカットを追加します。
- ■ ホーム画面一覧:ホーム画面一覧を表示します。
- ■ 壁紙ループ設定:ホーム画面を左右にスライドしたときに、壁紙を繰り返して表示するか設定します。

- microSDカードに保存されたウィジェットは、貼り付けられない場合があります。

クイックメニューの設定

クイックメニューにショートカットなどを設定することができます。

- クイックメニューには最大3個までショートカットなどを設定できます。
- あらかじめ設定済みのショートカットなどを移動・削除してから、新しいショートカットなどを設定してください。

1 ホーム画面でショートカットなどをロングタッチ

2 クイックメニューまでドラッグ

ショートカットなどの移動

1 ホーム画面でショートカットなどをロングタッチ

2 移動先までドラッグ

- ページの端までドラッグすると、前／次のページが表示され、前／次のページに移動できます。
- ショートカットの上にショートカットをドラッグした場合、2つのショートカットを格納したフォルダが作成されます。

ショートカットなどの削除

1 ホーム画面でショートカットなどをロングタッチ

2 [削除]

- ショートカットなどを画面左下の[🗑]までドラッグしても削除できます。

- ショートカットを削除しても、アプリケーションはアンインストールされません。

ショートカットやウィジェットのアンインストール

1 **ホーム画面でショートカット／ウィジェットをロングタッチ**

2 **[アンインストール]▶[OK]▶[OK]**

フォルダ名の変更

1 **ホーム画面でフォルダをロングタッチ**
- ホーム画面でフォルダを選び、フォルダ名をタッチしても変更できます。

2 **[名称変更]**

3 **フォルダ名を入力▶[OK]**

きせかえの変更

1 **ホーム画面で[☰]▶[きせかえ]**

2 **きせかえを選ぶ▶[設定する]**

壁紙の変更

1 **ホーム画面で[☰]▶[壁紙]**

2 **データを選ぶ▶[壁紙に設定]**
- [ギャラリー]または[コンテンツマネージャー]の場合は、切り取る部分を選び、[トリミング]や[保存]を選択してください。

ページの管理

ページの追加

- ページは最大12ページまで追加できます。

1 **ホーム画面でピンチイン▶[＋]**

ページの並べ替え

1 **ホーム画面でピンチイン▶サムネイルをロングタッチ**

2 **移動先までドラッグ**

ページの削除

1 **ホーム画面でピンチイン▶サムネイルをロングタッチ**

2 **[削除]**
- [☒]をタッチしても削除できます。

アプリケーション画面

アプリケーション画面の見かた

アプリ制限を設定すると、お子さまの利用を控えたいアプリケーションを非表示にして、アプリケーションの利用を制限することができます。
- アプリ制限については☞P.101

アプリケーション画面には、搭載されているアプリケーションがグループごとにアイコンで表示されます。アイコンを選んで、アプリケーションを起動することができます。
- 新しいアプリケーションをインストールすると、アプリケーション画面にアイコンが追加されます。
- アプリケーションをアンインストールするとアイコンが削除されます。

1 アプリタブ
- インストールされているアプリケーションを表示します。

2 グループ名

3 アプリケーションアイコン
- 新しくインストールしたアプリケーションや更新したアプリケーションには[ ]が表示されます。

4 おすすめタブ
- ドコモがおすすめするアプリケーションを表示します。

5 アプリケーション数

- グループをタッチすると、グループ内のアプリケーションアイコンを表示／非表示します。また、アプリケーション画面でピンチアウト／ピンチインすると一括して全グループ内のアプリケーションアイコンを表示／非表示します。

アプリケーション一覧

アプリケーションは機能や種類ごとにグループで分類されています。
- 一部のアプリケーションの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがあります。
- お買い上げ時にインストールされているアプリケーションは次のとおりです。

ドコモサービス

アイコン	アプリケーション	概　要
	dメニュー	iモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探せる「dメニュー」へのショートカットアプリケーションです（☞P.118）。

アイコン	アプリケーション	概　要
	しゃべってコンシェル	「調べたいこと」や「やりたいこと」などを端末に話しかけると、その言葉の意図を読み取り、最適な回答を表示するアプリケーションです。
	地図アプリ	地図・お店や施設検索・ナビ・乗換などのさまざまな機能でおでかけをサポートします（☞P.127）。
	ドコモバックアップ	「ケータイデータお預かりサービス」、「電話帳バックアップ」もしくは「SDカードバックアップ」をご利用いただくためのアプリケーションです。電話帳などのデータをバックアップしたり、復元したりすることができます。ドコモバックアップ（microSDカードへ保存）の内容については☞P.139 ● 電話・メール制限を［制限する］に設定している場合は、ドコモバックアップを利用できません。
	ちょこっと通知	イマドコサーチの「ちょこっと通知検索」を実行して、イマドコサーチ契約者に現在地をお知らせするためのアプリケーションです（☞P.106）。 ● イマドコサーチに関連したソフトウェア更新（本端末の製品アップデート）を行うとインストールされます。ソフトウェア更新の詳細については、ドコモのホームページの「製品アップデート情報」にてご案内いたします。

基本機能

アイコン	アプリケーション	概　要
	電話	電話を利用します（☞P.63）。
	電話帳	電話帳を利用します（☞P.70）。
	メッセージ	SMSを利用します（☞P.76）。
	spモードメール	ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®も使用することができます（☞P.74）。

アイコン	アプリケーション	概　要
	ブラウザ	パケット通信による接続でサイトを表示します（☞P.79）。
	ダウンロード	サイトからダウンロードした画像などのデータを管理することができます。
	カメラ	カメラを起動します（☞P.120）。

エンターテイメント

アイコン	アプリケーション	概　要
	Music'n Player	音楽を再生します（☞P.125）。
	おまかせアルバム	画像や動画を人物ごと、イベントごとに振り分けて整理し、利用することができます（☞P.124）。
	ギャラリー	画像を表示します。
	モンスターハンターDH	モンスターを狩る「ハンター」となり、1対1でモンスターと戦うゲームです。
	つみネコ	猫を積んで高さを競うゲームです。
	どうぶつしょうぎ	将棋を簡略化したゲームです。

アイコン	アプリケーション	概　要
	MY NUMBER PLACE	ナンバープレイスを遊ぶことができます。
	Klondike	クロンダイクソリティアを遊ぶことができます。
	大なり小なり	計算結果を10と比較してすばやく仕分けるパズルゲームです。

ブック・学習

アイコン	アプリケーション	概　要
	ドコモゼミ学習ナビ	ドコモゼミの各学習アプリケーションをまとめて管理し、楽しく学習を続けることができるアプリケーションです。
	テンクエスト　小5・6漢字（お試し版）	ゲーム感覚で楽しく小学校の漢字を勉強できるアプリケーションです。
	出るナビ中学歴史（お試し版）	学研の中学生向け人気学習参考書「出るナビ」のアプリケーションです。
	電子書籍GALAPAGOS Jr.	電子書籍の購入、閲覧ができるアプリケーションです。

おサイフケータイ

アイコン	アプリケーション	概　要
	おサイフケータイ	おサイフケータイを利用できます(☞P.119)。
	iDアプリ	電子マネーiDを利用するための設定などを行うアプリケーションです(☞P.141)。
	マクドナルド(ジュニア)	マクドナルドのクーポンが利用できます。

便利ツール

アイコン	アプリケーション	概　要
	辞書	辞書を利用します(☞P.132)。
	時間割	時間割を利用します(☞P.136)。
	おこづかい帳	おこづかい帳を利用します(☞P.137)。
	カレンダー	スケジュールを管理します。
	メモ帳	メモを登録します(☞P.131)。
	赤外線送受信	電話帳などのデータを赤外線通信により送受信できるアプリケーションです(☞P.109)。

アイコン	アプリケーション	概　要
	ＩＣタグ・バーコードリーダー	ＩＣタグとバーコードを読み取るためのアプリケーションです。
	時計	世界時計(☞P.128)、アラーム(☞P.128)、ストップウォッチ(☞P.129)、タイマー(☞P.129)を利用します。
	電卓	電卓を利用します(☞P.131)。
	SHツール	名刺リーダーやバーコードリーダー、辞書、ボイスレコーダーなど、便利な機能を利用することができます(☞P.133)。
	コンテンツマネージャー	本体メモリまたはmicroSDカードに保存されたデータを管理します(☞P.107)。
	Documents To Go	Documents To Goを利用します。 ● Documents To Go完全版を購入することはできません。
	データ量確認アプリ	パケット通信データ量の目安を確認できるアプリケーションです。
	検索	クイック検索ボックスを利用します(☞P.46)。

サポート

アイコン	アプリケーション	概　要
	設定	端末の各種設定をします。 ● ホーム画面で[☰]▶[本体設定]と同様の設定操作ができます。
	アニメで学ぶケータイあんぜん教室	アニメーションでスマートフォンの安全な使いかたを学ぶことができます。 ● 初期設定の[安全にご利用いただくために]からもアプリケーションを起動することができます。
	取扱説明書	本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。
	SDカードバックアップ	microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、spモードメール、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができるアプリケーションです（☞P.139）。
	あんしんスキャン※	端末をウイルス被害から守るアプリケーションです。インストールしたアプリケーションやmicroSDカードなどに潜むウイルスを検出します。
	災害用キット	緊急速報「エリアメール」の受信メール確認と各種設定、災害用伝言板にメッセージの登録や確認などができるアプリケーションです。
	遠隔サポート	「スマートフォンあんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリケーションです。「スマートフォンあんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの端末の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです（☞P.154）。

※はじめてご利用される際にはアプリケーションをダウンロードする必要があります。アプリケーションのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。

● お買い上げ時にインストールされているアプリケーションの中には、アンインストールできるものもあります。アンインストールしたアプリケーションはdメニュー（☞P.118）から再度ダウンロードすることができます。

アプリケーションの管理

ホーム画面に追加

1 ホーム画面で[⊞]▶アプリケーションアイコンをロングタッチ

2 [ホームへ追加]

アプリケーションのアンインストール

1 ホーム画面で[⊞]▶アプリケーションアイコンをロングタッチ

2 [アンインストール]▶[OK]▶[OK]

アプリケーションの移動

1 ホーム画面で[⊞]▶アプリケーションアイコンをロングタッチ

2 [移動]▶グループを選ぶ

- アプリケーションアイコンを移動先までドラッグしても移動できます。

グループの管理

グループの追加

- グループは最大50個まで追加できます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[☰]▶[グループ追加]

2 グループ名を入力▶[OK]

グループの並べ替え

1 ホーム画面で[⊞]▶グループをロングタッチ

2 移動先までドラッグ

グループ名の編集

1 ホーム画面で[⊞]▶グループをロングタッチ

2 [名称変更]▶グループ名を入力▶[OK]

グループ色の変更

1 ホーム画面で[⊞]▶グループをロングタッチ

2 [ラベル変更]▶色を選ぶ

ホーム画面に追加

1 ホーム画面で[⊞]▶グループをロングタッチ

2 [ホームへ追加]

グループの削除

1 ホーム画面で[⊞]▶グループをロングタッチ

2 [削除]▶[OK]

アプリケーションの検索

1 ホーム画面で[⊞]▶[☰]▶[検索]

2 検索対象を選択▶[アプリケーション]

- 検索画面の見かたについては☞P.46

3 キーワードを入力

4 検索結果を選ぶ

- アプリケーションを起動します。

アプリケーション画面の表示切替

1 ホーム画面で[⊞]▶[☰]▶[リスト形式]／[タイル形式]

おすすめアプリケーションのインストール

アプリケーション画面のおすすめタブには、ドコモがおすすめするアプリケーションが表示されます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[おすすめ]

- はじめてご利用される際には、[おすすめアプリを見る]を選択してください。

2 アプリケーションを選ぶ

- アプリケーションのダウンロード画面を表示します。
- [おすすめアプリをすべて見る]をタッチするとブラウザが起動し、おすすめのアプリケーションが表示されます。

- ダウンロードしたアプリケーションは、アプリケーション画面の[ダウンロードアプリ]に分類されます。

アプリケーション情報

1 ホーム画面で[⊞]▶[☰]▶[アプリケーション情報]

電話

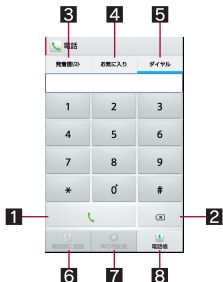
電話をかける

電話・メール制限を設定すると、電話帳に登録されていない相手との電話の発着信を制限することができます。

- 電話・メール制限については☞P.100

1 ホーム画面で[⊞]▶[電話]▶[ダイヤル]

2 電話番号を入力

- 同一市内でも、必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号の前に「186」/「184」を付けると、その発信に限り番号通知/番号非通知に設定して発信できます。

1 発信
- 電話を発信します。また、発信履歴がある場合、電話番号未入力のときにタッチすると最新の発信履歴が入力されます。

2 削除
- 入力した番号を1文字削除します。
- ロングタッチすると、入力した番号をすべて削除します。

3 発信履歴/着信履歴

4 お気に入り
- [お気に入り]にグループ設定されている連絡先を表示します。

5 ダイヤル
- ダイヤル画面を表示します。

6 電話帳に登録

7 声の宅配便
- 声の宅配便について、詳細はドコモのホームページをご覧ください。

8 電話帳
- 電話帳を表示します。

3 [📞]

4 通話が終わったら[終了]

- 電話・メール制限を[制限する]に設定している場合は、声の宅配便を利用できません。声の宅配便を利用する場合は電話・メール制限を[制限しない]に設定してください。

プッシュ信号の入力

電話番号に続いて停止(,)/待機(;)を入力すると、銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、メインの電話番号と追加番号を同時に発信することができます。

2秒間の停止を追加

メインの電話番号をダイヤルしたあと、自動的に2秒間一時停止してから、追加番号をダイヤルします。

1 **ホーム画面で[⦙⦙]▶[電話]▶[ダイヤル]**
2 **電話番号を入力▶[☰]▶[2秒間の停止を追加]**
3 **送信する番号を入力▶[📞]**

待機を追加

メインの電話番号をダイヤルしたあと、自動的に待機し追加番号の送信確認画面が表示されます。[はい]をタッチすると追加番号をダイヤルします。

1 **ホーム画面で[⦙⦙]▶[電話]▶[ダイヤル]**
2 **電話番号を入力▶[☰]▶[待機を追加]**
3 **送信する番号を入力▶[📞]**
4 **通話中に[はい]**

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 日本国内ではドコモminiUIMカードを取り付けていない場合やPINコードの入力画面、PINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- 端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

- 電話･メール制限を[制限する]に設定している場合や端末の利用時間や通話時間が制限されている場合でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信した場合※は、緊急通報受理機関からの折り返し電話を受けるため、電話帳に登録されていない相手からの着信を約５分間受け付けます。
  ※ あらかじめ「184」や「186」を付加した緊急通報番号（110番、119番、118番）を電話帳に登録して電話をかけた場合も含みます。

国際電話（WORLD CALL）

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせてWORLD CALLもご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

- 世界約240の国･地域にかけられます。海外の一般電話や携帯電話と電話がご利用できます。
- 接続可能な国および海外通信事業者などの情報については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 申込手数料･月額使用料は無料です。
- WORLD CALLの詳細については、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になるときには、各国際電話サービス会社にお問い合わせください。
- 海外通信事業者によっては発信者番号が通知されないことや正しく表示されない場合があります。この場合、着信履歴を利用して電話をかけることはできません。

[通話方法]

- 一般電話へかける場合：010▶国番号▶地域番号（市外局番）▶相手先電話番号▶[📞]
- 携帯電話へかける場合：010▶国番号▶相手先携帯電話番号▶[📞]

・相手先の携帯電話番号、地域番号（市外局番）が「０」から始まる場合は、先頭の「０」を除いてダイヤルしてください（イタリアなど一部の国･地域を除く）。
・「010」の代わりに「＋」や従来どおりの「009130-010」でもかけられます。

電話を受ける

電話･メール制限を設定すると、電話帳に登録されていない相手との電話の発着信を制限することができます。

- 電話･メール制限については☞P.100

1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

- 着信中に ⌒ ／ ⌣ を押すと、着信音やバイブレータ、着信ランプの点滅を止めることができます。

2 電話を受ける

- [操作開始]をタッチしてから操作してください。

1 拒否
- 着信を拒否することができます。

2 通話
- 電話を受けることができます。

3 通話が終わったら[終了]

クイック返信

1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

2 [☰]▶[クイック返信]

3 返信内容を選ぶ

応答保留

1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

2 [☰]▶[応答保留]

伝言メモで応答

1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

2 [☰]▶[伝言メモ]

伝言メモの再生

1 ホーム画面で[⠿]▶[設定]▶[通話]

2 [音声・伝言メモ]▶[伝言メモリスト]▶伝言メモを選ぶ

通話中の操作

通話中は利用状況に応じてハンズフリーの利用や通話音量の調節などの操作ができます。

1 通話を追加※
- 通話中の電話を保留にして、別の相手に発信します。

2 終了
- 通話を終了します。

3 ダイヤルキー
- プッシュ信号の入力ができます。

4 保留※
- 通話中の電話を保留/保留解除にします。
- 通話を追加している場合は[切り替え]が表示されます。タッチすると通話相手を切り替えることができます。

5 ミュート
- 通話中の電話をミュート/ミュート解除にします。

6 スピーカー
- ハンズフリーで通話ができます。
- Bluetooth機器を接続している場合、音声の出力先を切り替えることができます。

※キャッチホンのご契約が必要です。

- ハンズフリーで通話するには次の内容にご注意ください。
  - 送話口から約20～40cmが最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声が途切れるなど良好な通話ができないことがあります。
  - 屋外や騒音が大きい場所、音の反響が大きい場所で通話を行うときは、イヤホンマイクをご利用ください。
  - ハンズフリー通話中、音が割れて聞き取りにくいときは、通話音量を下げてください。

通話音量調節

1 通話中に ／

自局番号確認

1 通話中に[≡]▶[プロフィール参照]

発着信履歴

発信履歴／着信履歴が最新の履歴から合わせて50件までシステムメモリに記憶されます。

1 ホーム画面で[ ]▶[電話]▶[発着信リスト]▶[発信履歴]／[着信履歴]

2 履歴を選ぶ

発信履歴一覧画面

着信履歴一覧画面

1 相手の名前／電話番号

2 ステータスアイコン

	通知あり発信※
	通知なし発信※
	国際電話発信
	国際電話着信
	声の宅配便発信

※ 電話番号の前に「186」／「184」を付加した場合、またはダイヤル画面で電話番号を入力して[≡]▶[発信者番号通知]▶[通知する]／[通知しない]で番号通知／番号非通知を設定した場合に表示されます。

3 発着信日時

4 発信アイコン
- タッチすると発信します。

5 不在着信

3 [電話をかける]

- SMSの作成・送信：[SMSを送信する]▶SMSを作成・送信
- 声の宅配便の録音：[声の宅配便を録音する]
- 電話帳に登録：[電話帳に登録]▶登録先を選ぶ▶各項目を設定▶[登録完了]

- 電話・メール制限を[制限する]に設定している場合は、声の宅配便を利用できません。声の宅配便を利用する場合は電話・メール制限を[制限しない]に設定してください。

発着信履歴の削除

全件削除

1 発信履歴一覧画面／着信履歴一覧画面で[☰]▶[全件削除]▶[OK]

1件削除

1 発信履歴一覧画面／着信履歴一覧画面で履歴をロングタッチ▶[通話履歴から削除]▶[OK]

通話設定／その他

留守番電話や着信拒否など、通話について設定します。

1 ホーム画面で[⊞]▶[電話]▶[☰]▶[通話設定]
- ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[通話]でも通話設定を行うことができます。

2 項目を選ぶ
- ■ ネットワークサービス：ネットワークサービスについては☞P.69
- ■ 着信時キー動作設定：着信時に ⌂ を押したときの動作を設定します。
- ■ クイックサイレント：着信時に端末を裏返して一時的に着信音を停止するか設定します。
- ■ 音声・伝言メモ：音声・伝言メモの再生や設定ができます。伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに端末が応答して伝言を預かることができます。
- ■ 海外設定：海外設定については☞P.147
- ■ 通話詳細設定：通話詳細設定については☞P.69
- ■ クイック返信：クイック返信に使用する文章を編集します。
- ■ オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。
- ■ アカウント：インターネット通話のアカウントについて設定します。
- ■ インターネット通話を使用：インターネット通話を使用するか設定します。

[着信時キー動作設定]について
- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■ 応答：着信時に ⌂ を押すと電話に出ることができます。
  - ■ クイックサイレント：着信時に ⌂ を押すと一時的に着信音やバイブレータ、着信ランプの点滅を停止できます。

[音声・伝言メモ]について
- 伝言メモ／音声メモはそれぞれ10件（1件あたり約60秒）まで録音できます。
- 保存した伝言メモが最大保存件数を超えた場合は、再生済みの古い伝言メモから順に削除されます。伝言メモがすべて未再生のときは電話がかかってきても伝言メモで応答しません。
- 保存した音声メモが最大保存件数を超えた場合は、古い音声メモから順に削除されます。

ネットワークサービス

1 **ホーム画面で[⊞]▶[電話]▶[☰]▶[通話設定]▶[ネットワークサービス]**

2 **項目を選ぶ**

- ■ 声の宅配便：声のメッセージを簡単な操作で録音・再生することができます。
- ■ 留守番電話サービス：電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。
- ■ 転送でんわサービス：電話を転送するサービスです。
- ■ キャッチホン：通話中に別の電話がかかってきたときに、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。
- ■ 発信者番号通知：電話をかけるときに、相手の電話機に自分の電話番号を表示させることができます。
- ■ 迷惑電話ストップサービス：いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録することができます。
- ■ 番号通知お願いサービス：電話番号が通知されない電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答します。
- ■ 通話中着信設定：通話中にかかってきた電話に対して、事前に設定しておいた方法で対応します。
- ■ 着信通知：着信の情報をSMSでお知らせします。
- ■ 英語ガイダンス：各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。
- ■ 遠隔操作設定：留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。
- ■ 公共モード（電源OFF）設定：電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

[声の宅配便]について

- ● 電話・メール制限を[制限する]に設定している場合は、声の宅配便を利用できません。声の宅配便を利用する場合は電話・メール制限を[制限しない]に設定してください。

通話詳細設定

1 **ホーム画面で[⊞]▶[電話]▶[☰]▶[通話設定]▶[通話詳細設定]**

2 **項目を選ぶ**

- ■ プレフィックス設定：プレフィックス番号について設定します。
- ■ 着信拒否：着信拒否について設定します。
  - ・ 指定番号の編集：[指定番号]▶[☰]▶[編集]▶電話番号を編集

[着信拒否]について

- ● 指定番号を設定しているときでも、電話・メール制限、利用・通話時間制限が設定されている場合は、[緊急連絡先]や[利用制限時連絡先]に設定されている連絡先からは着信します。

電話帳

電話帳の登録

保護者パスワード、電話・メール制限を設定すると、電話帳の登録／編集／削除などの操作を制限することができます。
- 保護者パスワードについては☞P.99
- 電話・メール制限については☞P.100

1 ホーム画面で[⊞]▶[電話帳]▶[連絡先]▶[登録]

2 各項目を設定

1 画像
- 発着信時や連絡先確認時に表示する画像を登録します。

2 姓、名

3 姓のふりがな、名のふりがな

4 グループ

5 着信音

6 電話番号

7 メールアドレス

8 その他
- 住所や所属などの情報を登録します。

9 連絡先種別
- 連絡先種別を設定します。
- [利用制限時連絡先]／[緊急連絡先]に設定した連絡先は、グループの[利用制限時連絡先]／[緊急連絡先]で確認できます（☞P.72）。

10 追加
- 登録する電話番号／メールアドレスなどを追加します。

11 削除
- 電話番号／メールアドレスなどを削除します。

3 [登録完了]

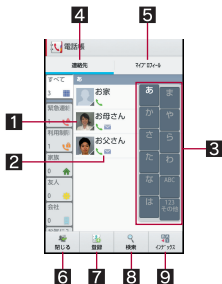
- 設定できる連絡先種別は次のとおりです。
  - ■緊急連絡先：防犯ブザーを鳴らしたときに自動的に電話を発信します（☞P.104）。また、端末の利用時間や通話時間が制限されているときでも電話の発着信ができます。緊急連絡先は1件のみ登録できます。
  - ■利用制限時連絡先：端末の利用時間や通話時間が制限されているときでも電話の発着信ができます。
  - ■一般連絡先：端末の利用時間や通話時間が制限されているときは電話の発着信ができません。
- 緊急連絡先に緊急通報番号（110番、119番、118番）を登録することはできません。
- 緊急連絡先を複数登録することはできません。すでに緊急連絡先が登録されている場合、新しく連絡先の連絡先種別を[緊急連絡先]に設定したときは、古い緊急連絡先は[利用制限時連絡先]に設定されます。

- 連絡先種別を［緊急連絡先］に設定した連絡先に複数の電話番号が登録されている場合、一番上に登録されている電話番号が緊急連絡先となります。

電話帳の確認／利用

登録した連絡先を呼び出して電話をかけたり、spモードメールを送信したりできます。

1 ホーム画面で［⊞］▶［電話帳］▶［連絡先］

2 名前を選ぶ

1 画像
- タッチすると連絡先の登録内容に対応するアプリケーションを選んで利用できます。

2 登録内容
- 登録内容がアイコンで表示されます。

3 インデックスバー
- タッチした見出しに移動できます。

4 連絡先

5 マイプロフィール

6 閉じる
- グループを非表示にします。

7 登録

8 検索

9 インデックス
- インデックスバーを表示します。

3 登録情報を確認／利用する

1 画像

2 連絡先種別

3 登録内容
- 登録内容を確認／利用できます。

4 編集

5 お気に入り
- ［お気に入り］にグループ設定することができます。

6 声の宅配便
- 声の宅配便について、詳細はドコモのホームページをご覧ください。

7 SMS

- 電話・メール制限を［制限する］に設定している場合は、声の宅配便を利用できません。声の宅配便を利用する場合は電話・メール制限を［制限しない］に設定してください。

表示するアカウントをカスタマイズ

1 ホーム画面で[⠿]▶[電話帳]▶[連絡先]

2 [☰]▶[その他]▶[表示するアカウント]

3 [カスタマイズ...]▶[docomo]▶グループを選ぶ▶[OK]

電話帳の削除

保護者パスワード、電話・メール制限を設定すると、登録／編集／削除などの電話帳の操作を制限することができます。
- 保護者パスワードについては☞P.99
- 電話・メール制限については☞P.100

全件削除

1 ホーム画面で[⠿]▶[電話帳]▶[連絡先]

2 [☰]▶[削除]▶[全選択]▶[削除]▶[OK]

1件削除

1 ホーム画面で[⠿]▶[電話帳]▶[連絡先]

2 名前を選ぶ▶[☰]▶[削除]▶[OK]

電話帳の編集

保護者パスワード、電話・メール制限を設定すると、登録／編集／削除などの電話帳の操作を制限することができます。
- 保護者パスワードについては☞P.99
- 電話・メール制限については☞P.100

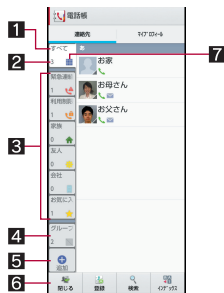
1 ホーム画面で[⠿]▶[電話帳]▶[連絡先]

2 名前を選ぶ▶[編集]

3 各項目を設定▶[登録完了]
- 設定できる各項目の詳細については☞P.70

グループの利用

1 ホーム画面で[⠿]▶[電話帳]▶[連絡先]

2 グループを利用する

❶ グループ名
❷ グループに登録されている連絡先の数
❸ グループ
❹ グループなし
❺ 追加
- グループを追加できます。

❻ 閉じる
- グループを非表示にします。グループを表示するときは[グループ]をタッチしてください。

❼ グループのアイコン

グループへの登録／解除

1 ホーム画面で[⠿]▶[電話帳]▶[連絡先]▶[グループ]

2 連絡先をロングタッチ▶グループまでドラッグ

- 登録済みのグループまでドラッグすると、登録を解除できます。

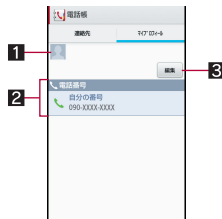
- [緊急連絡先]／[利用制限時連絡先]にグループ設定する場合は、連絡先種別を設定してください。

マイプロフィール

保護者パスワード、電話・メール制限を設定すると、登録／編集／削除などの電話帳の操作を制限することができます。
- 保護者パスワードについては☞P.99
- 電話・メール制限については☞P.100

ドコモminiUIMカードに登録されているお客様の電話番号を表示できます。名前やメールアドレスなどを登録することもできます。

1 ホーム画面で[⠿]▶[電話帳]▶[マイプロフィール]

2 プロフィールを確認／利用する

❶ 画像
❷ 登録内容
❸ 編集

マイプロフィールの編集

1 ホーム画面で[⠿]▶[電話帳]▶[マイプロフィール]▶[編集]

2 各項目を設定▶[登録完了]

電話帳のバックアップ／復元

SDカードバックアップを利用して電話帳をバックアップ／復元することができます。
- SDカードバックアップについては☞P.139

メール/ブラウザ

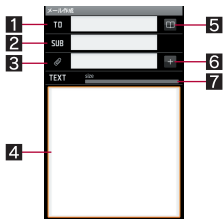
spモードメール

電話・メール制限を設定すると、電話帳に登録されていない相手とのspモードメールの送受信を制限することができます。
● 電話・メール制限については☞P.100

iモードのメールアドレス(@docomo.ne.jp)を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®も使用することができます。
● spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック(spモード編)』をご覧ください。

1 ホーム画面で[⊞]▶[spモードメール]
- はじめてご利用される際には、「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

2 [新規メール]

3 メールを作成

1 宛先
2 件名
3 添付ファイル
● タッチするとファイルを選択できます。
4 本文
5 電話帳
● タッチすると電話帳から宛先を選択できます。
6 追加
● タッチすると添付ファイルを追加できます。
7 メールサイズ

4 [送信]

spモードメールの表示

1 ホーム画面で[⊞]▶[spモードメール]▶[受信メール]

2 フォルダを選ぶ

3 メールを選ぶ
- 画面は受信BOXの画面です。

1 件名

2 チェックボックス

- チェックを付けたメールに一括で保護／保護解除／既読／未読／削除などの設定ができます。

3 送信元

4 添付ファイルアイコン

- 添付ファイルの有無を表します。

5 未読／既読アイコン

- 未読／既読の状態を表します。

6 受信日時

7 返信アイコン

- 返信／未返信の状態を表します。

8 保護アイコン

- 保護／保護解除の状態を表します。

4 メールを確認する

1 受信日時

2 送信元

3 宛先

4 件名

5 添付ファイル

- タッチすると添付ファイルを表示できます。

6 メールサイズ

7 本文

spモードメールの返信／転送

1 ホーム画面で[⠿]▶[spモードメール]▶[受信メール]

2 フォルダを選ぶ

3 メールを選ぶ

4 [☰]▶[返信]／[転送]

5 メールを作成▶[送信]

spモードメールの削除

1 ホーム画面で[⠿]▶[spモードメール]

2 フォルダを選ぶ

3 チェックボックスをタッチ

- ページ内全件選択：[☰]▶[ページ内全選択]

4 [メール削除]▶[OK]

spモードメールの設定

1 **ホーム画面で[⊞]▶[spモードメール]▶[メール設定]**

2 **項目を選ぶ**

- ■ 受信:spモードメール受信時の動作について設定します。
- ■ 表示:メール一覧画面の表示形式や画面テーマなどについて設定します。
- ■ 署名:署名について設定します。
- ■ 定型文:定型文を編集します。
- ■ その他:引用符や引用有無設定などについて設定します。

SMS

電話・メール制限を設定すると、電話帳に登録されていない相手とのSMSの送受信を制限することができます。

- 電話・メール制限については☞P.100

電話番号を利用して、他の端末へ全角最大70文字(半角英数字のみの場合は最大160文字)までのテキストメッセージが送受信できます。

- 海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

1 **ホーム画面で[⊞]▶[メッセージ]**

2 **[✉]▶宛先、メッセージ本文を入力▶[➤]**

- 宛先が海外通信事業者のときは、「+」、国番号、相手先の携帯電話番号の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まるときは先頭の「0」を除いて入力します。また「010」、国番号、相手先携帯電話番号の順に入力しても送信できます。
- SMSの本文に半角カタカナや特殊記号を使うと、受信側で正しく表示されないことがあります。
- 「186」/「184」を付けての送信はできません。

メッセージの表示

1 **ホーム画面で[⊞]▶[メッセージ]**

2 **スレッドを選ぶ**

- 宛先ごとにメッセージをスレッドにまとめて表示します。

1 画像

- 相手の画像を電話帳に登録していると表示されます。タッチすると電話帳の登録内容に対応するアプリケーションを選んで利用できます。電話帳に登録されていない相手の場合は、タッチすると電話帳に登録できます。

2 宛先/送信元

3 スレッド内のメッセージ件数

4 送受信日時

3 **メッセージを確認する**

1 宛先／送信元
2 電話発信
3 送受信日時
4 メッセージ

メッセージの返信

1 **ホーム画面で[⠿]▶[メッセージ]**

2 **スレッドを選ぶ**

3 **メッセージ本文を入力▶[➤]**

メッセージの転送

1 **ホーム画面で[⠿]▶[メッセージ]**

2 **スレッドを選ぶ**

3 **メッセージをロングタッチ▶[転送]▶宛先、メッセージ本文を入力▶[➤]**

メッセージの削除

1 **ホーム画面で[⠿]▶[メッセージ]**

2 **スレッドを選ぶ**

3 **メッセージをロングタッチ▶[削除]▶[削除]**

スレッドの削除

1 **ホーム画面で[⠿]▶[メッセージ]**

- スレッドの全件削除：[☰]▶[すべてのスレッドを削除]▶[削除]

2 **スレッドをロングタッチ▶[🗑]▶[削除]**

メッセージの設定

1 **ホーム画面で[⠿]▶[メッセージ]**

2 **[☰]▶[設定]**

3 **項目を選ぶ**

- ■ 古いメッセージを削除：保存件数が上限に達したとき、古いメッセージを自動的に削除します。
- ■ テキストメッセージの制限件数：スレッドごとに保存するメッセージの件数を設定します。
- ■ 受取確認通知：送信するメッセージの受取確認を毎回通知します。
- ■ SIMカードのメッセージ：ドコモminiUIMカードに保存したメッセージを管理します。
- ■ 通知：メッセージ受信時にステータスバーで通知します。
- ■ 着信音を選択：メッセージ受信時の着信音を設定します。

■ バイブレーション：メッセージ受信時のバイブレータの動作を設定します。

[受取確認通知]について

● 他社の携帯電話にメッセージを送信した場合、受取確認通知が届かないことがあります。

緊急速報「エリアメール」

緊急速報「エリアメール」の受信と、受信したエリアメールの確認ができるアプリケーションです。

● エリアメールとは、気象庁が配信する緊急地震速報などを受信できるサービスです。

● エリアメールが送られてきたときは自動的に受信し、スリープモード中や画面ロック設定中にかかわらず内容を表示します。

● 端末の状態によっては、受信できないことや自動表示しないことがあります。
  - 次の場合は、受信できません。
    - ■ 通話中
    - ■ 電源OFF時
    - ■ 圏外時
    - ■ 国際ローミング中
    - ■ 機内モード中
  - 次の場合は、受信しないことがあります。
    - ■ パケット通信中
    - ■ ソフトウェア更新中
  - 次の場合は、受信しても自動表示しないことがあります。
    - ■ パケット通信中
    - ■ ソフトウェア更新中

● エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。

1 エリアメールを自動的に受信

2 受信すると専用ブザー音または専用着信音が鳴り、エリアメールの本文が表示される

受信したエリアメールをあとで確認する

1 ステータスバーを下にドラッグ ▶ 受信したエリアメールを選ぶ

- ホーム画面で[⊞] ▶ [災害用キット] ▶ [緊急速報「エリアメール」]でも確認できます。

● mopera U、ビジネスmoperaインターネット（URL制限）およびspモードを契約しなくても、エリアメールの受信ができます。

● 受信できなかったエリアメールを再度受信することはできません。

● エリアメールは50件まで保存できます。

● システムメモリに保存したエリアメールが最大保存件数を超えた場合は、受信日時が古いメールから順に削除されます。

緊急速報「エリアメール」の設定

エリアメールを受信するかどうかや、受信時の動作などを設定します。

1 **ホーム画面で[⊞]▶[災害用キット]▶[緊急速報「エリアメール」]**

2 **[☰]▶[設定]▶項目を選ぶ**

- ■ 受信設定：エリアメールを受信するか設定します。
- ■ 着信音：鳴動時間、マナーモード中の動作について設定します。
- ■ 受信画面および着信音確認：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の受信画面および着信音を確認できます。
- ■ その他の設定：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報のほかに、利用するエリアメールを設定します。

- 緊急地震速報のブザー音や津波警報、災害・避難情報の専用着信音、着信音量、バイブレータの設定は変更できません。

ブラウザ

サイトの表示

インターネット制限からspモードフィルタカスタマイズを利用して、お子さまがインターネット利用中に有害サイトへアクセスしないよう制限することができます。

- インターネット制限については☞P.102

本端末では、パケット通信による接続でサイトを表示できます。

1 **ホーム画面で[⊞]▶[ブラウザ]**

- サイトによっては、正しく表示されない場合があります。
- アプリケーションのダウンロードには対応しておりません。

サイトの検索

1 **URL入力欄をタッチ**

- URL入力欄が非表示の場合は、ブラウザ画面を下にスライドしてください。

2 **キーワードを入力**

- 入力した文字を含むキーワードを一覧表示します。

3 **キーワードを選ぶ**

- キーワードを最後まで入力して[実行]でも検索できます。

新しいタブを開く

1 **ブラウザ画面で[ ]▶[ ]**

タブの切替

1 **ブラウザ画面で[ ]**

2 **タブを選ぶ**

シークレットタブを開く

- シークレットタブで表示中は画面左上に[ ]が表示されます。

1 **ブラウザ画面で[ ]▶[☰]▶[新しいシークレットタブ]**

2 **URL入力欄をタッチ▶キーワードを入力▶[実行]**

ページ内の文字の検索

1 **ブラウザ画面で[☰]▶[ページ内を検索]**

2 **検索する**

1 検索終了

2 キーワード入力欄

- 検索するキーワードを入力します。

3 前を検索

4 次を検索

文字のコピー

1 **ブラウザ画面で[☰]▶[テキストコピー]**

2 **始点から終点までドラッグ**

- コピー範囲の変更：[ ]／[ ]をドラッグ

3 **[コピー]**

便利な機能

リンクを新しいタブで表示したり、画像などをダウンロードしたりできます。

1 **ブラウザ画面でリンク／画像をロングタッチ**

2 **利用する機能を選ぶ**

ブラウザの再読み込み

1 **ブラウザ画面で[☰]▶[再読み込み]**

ブラウザの終了

1 **ブラウザ画面で[☰]▶[ブラウザ終了]**

ブラウザの設定

1 ブラウザ画面で[☰]▶[設定]

2 項目を選ぶ

- 全体設定:ブラウザ全体にかかわる機能について設定します。
- プライバシーとセキュリティ:キャッシュやCookieなどのプライバシーやセキュリティについて設定します。
- ユーザー補助:文字サイズやズームなどの画面表示について設定します。
- 高度な設定:ブラウザの詳細について設定します。
- 帯域幅の管理:サイトの読み込みについて設定します。
- クイック操作・Labs:クイックツールボックス、クイックコントロール、全画面表示について設定します。

ブックマークや履歴、保存したページの利用

ブックマークの登録

1 ブラウザ画面で[☰]▶[ブックマークへ登録]

2 [OK]

ブックマークからのサイト表示

1 ブラウザ画面で[☰]▶[ブックマーク一覧]

2 ブックマークを選ぶ

履歴からのサイト表示

1 ブラウザ画面で[☰]▶[ブックマーク一覧]▶[履歴]

2 履歴を選ぶ

ページの保存

1 ブラウザ画面で[☰]▶[ページを保存]

保存したページの表示

1 ブラウザ画面で[☰]▶[ブックマーク一覧]▶[保存したページ]

2 保存したページを選ぶ

本体設定

設定メニュー

ホーム画面で[⊞]▶[設定]で表示されるメニューから、端末の各種設定を行うことができます。

- 保護者パスワードを登録すると、お子さまによる「設定」アプリケーション項目の利用を一部制限することができます(保護者制限)。
  ◎:保護者パスワードを登録した場合、利用を制限することができます。ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[保護者設定]から保護者の方が設定を行ってください。
  ○:保護者パスワードを登録した場合、一部利用を制限することができます。ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[保護者設定]から保護者の方が設定を行ってください。
  △:保護者パスワードを登録した場合、利用時に保護者パスワードの入力が必要です。保護者の方が設定を行ってください。
  ー:保護者パスワードの登録にかかわらず、利用することができます。

設　定	内　容	保護者制限
利用制限設定確認	利用制限設定に関する設定内容や利用状況を確認します。	ー
保護者設定	お子さまがご使用になる際の利用制限や防犯ブザーなどについて設定します。	△
プロフィール	ドコモminiUIMカードに登録されているお客様の電話番号を表示できます。名前やメールアドレスなどを登録することもできます。	○
音・バイブ・ランプ	マナーモードや着信音などについて設定します。	ー
壁紙・画面設定	画面表示などについて設定します。	ー
省エネ設定	エコ技設定を起動します。	ー
microSDと端末容量	microSDカードまたは端末の空き容量の確認や、バックアップの管理などができます。	ー
電池	電池残量や電池消費量の変化などを、視覚的に確認できます。	ー
通話	留守番電話や着信拒否など、通話について設定します。	○
チャージング機能	充電を開始したときにスライドショーを表示するか設定します。	ー
歩数計	ユーザー情報の登録など歩数計について設定します。	ー
アプリ	アプリケーションの名前やバージョン、メモリの使用状況などの確認、microSDカードへの移動、有効／無効の設定、アンインストールなどができます。	◎

設　定	内　容	保護者制限
Bluetooth	端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。	−
データ使用	データ通信量を測定し、グラフで表示します。	◎
ネットワーク設定	機内モードやモバイルネットワークなど、通信について設定します。	○
ドコモサービス	ドコモサービスの設定を行います。	◎
アカウントと同期	アカウントを管理することができます。	◎
位置情報サービス	位置情報の取得方法について設定します。	◎
ロックとセキュリティ	セキュリティロックについて設定します。	○
言語と文字入力	画面に表示される言語や、文字入力などについて設定します。	−
バックアップとリセット	オールリセットやデータの移行を行います。	◎
外部接続	端末に接続するイヤホンマイクの種類や、端末をmicroUSB接続ケーブル01（別売）でパソコンに接続して利用するときの設定を変更します。	−
日付と時刻	日時の設定や表示形式について設定します。	◎
ユーザー補助	ユーザー補助オプションについて設定します。	○
開発者向けオプション	アプリケーションを開発する際に使用する設定やデバッグ機能などを利用するか設定します。	◎
セルフチェック	端末のセルフチェックを行ったり、セルフチェックの履歴を表示したりすることができます。	◎
端末情報	端末情報の確認ができます。	○
初期設定	初期設定を変更できます。	◎

プロフィール

ドコモminiUIMカードに登録されているお客様の電話番号を表示できます。名前やメールアドレスなどを登録することもできます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[プロフィール]

2 [編集]▶各項目を設定▶[保存]▶[はい]

音・バイブ・ランプ

マナーモードや着信音などについて設定します。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[音・バイブ・ランプ]

2 項目を選ぶ

- マナーモード設定：マナーモード設定については☞P.84
- 音量：メディア再生音や着信音などの音量を設定します。

■ 電話着信：着信時の動作について設定します。
・着信ランプの設定：[着信ランプ] ▶ [点滅パターン]／[点滅カラー] ▶ パターン／カラーを選ぶ ▶ [OK]

■ お知らせ：お知らせ受信時の動作について設定します。
・お知らせランプの点滅設定：[光を点滅させて通知]

■ ダイヤルパッド操作音：ダイヤル音の有無を設定します。

■ タッチ操作音：メニューなどをタッチしたときの操作音の有無を設定します。

■ 画面ロックの音：タッチパネルのロック／ロック解除時の音の有無を設定します。

■ タッチ操作バイブ：特定のキー操作時などにバイブレータを動作させるか設定します。

■ 充電開始音：充電開始時に音を鳴らすか設定します。

マナーモード設定

公共の場所などで、端末の音を周囲に出さないように設定します。

1 ホーム画面で[⊞] ▶ [設定] ▶ [音・バイブ・ランプ] ▶ [マナーモード設定]

● [⏻]（1秒以上）▶ [🚗]／[🔇]／[📳]／[🔊]でもマナーモードを設定／解除できます。

2 マナーモードの種類を選ぶ

■ 通常マナー：着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータが動作します。伝言メモ設定が[マナーモード連動]に設定されているときは、伝言メモが有効になり、伝言メモの設定に従って動作します。

■ ドライブマナー：着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。伝言メモが有効になり、応答メッセージ設定が[ドライブ]で動作します。

■ サイレントマナー：着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。伝言メモ設定が[マナーモード連動]に設定されているときは、伝言メモが有効になり、伝言メモの設定に従って動作します。

■ OFF：マナーモードを解除します。

● マナーモード設定中も、次の音は鳴ります。
■ カメラのシャッター音
■ カメラのフォーカスロック音
■ ビデオカメラの撮影開始音／停止音
■ ボイスレコーダーの録音開始音／停止音
■ 防犯ブザー音

● マナーモード設定中は、[▲]／[▼]を押しても着信音量を変更できません。

壁紙・画面設定

画面表示などについて設定します。

1 ホーム画面で[⊞] ▶ [設定] ▶ [壁紙・画面設定]

2 項目を選ぶ

■ 壁紙：ホーム画面の画像を設定します。

■ 画面の明るさ：画面の明るさについては☞P.85

■ バックライト点灯時間：バックライトの点灯時間を設定します。

■ 画質モード：画質について設定します。

■ 画面の自動回転：端末を左右に90度回転させたとき、画面の縦／横表示を切り替えるか設定します。

■ 文字サイズ：文字サイズを設定します。

■ 文字フォント切替：文字のフォントを設定します。
■ ベールビュー：周りの人からディスプレイを見えにくくします。

[バックライト点灯時間]について
- 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

[画面の自動回転]について
- 利用中のアプリケーションによっては、設定に従わない場合があります。

[ベールビュー]について
- 周りの人から見えにくくする効果は、選択したパターンによってそれぞれ異なります。
- 濃度は[濃い]、[普通]、[薄い]の順で周りの人から見えにくくする効果があります。
- 電源を切ると[ベールビュー]が無効になります。

画面の明るさ

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[壁紙・画面設定]▶[画面の明るさ]

2 項目を選ぶ

■ アウトドアビュー：明るい場所でバックライトの明るさを調整するか設定します。
■ 明るさを自動調整：バックライトの明るさを自動で調整するか設定します。自動で調整を行わない場合は、手動で明るさを設定してください。
■ エコバックライトコントロール：画質調整を効率良く行うことで、バックライトの消費電力を抑えます。

3 [OK]

[明るさを自動調整]について
- 画面の明るさを上げると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

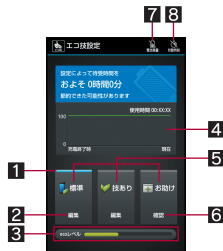
[エコバックライトコントロール]について
- 画質調整により、色味が変わる場合があります。

省エネ設定

エコ技設定を起動します。利用するモードを設定したり、電池残量や時刻でモードを切り替えるよう設定したりすることができます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[省エネ設定]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[いいえ]/[はい]を選択してください。

2 設定する

1 設定中
- 設定されているモードに水色のバーが表示されます。

2 編集
- Bluetooth機能の利用など、省エネさせる機能を個別に設定します。

3 ecoレベル
- 省エネの効果を表します。

4 電池残量グラフ
- 時刻ごとの電池残量がグラフで表示されます。

5 モード
- 設定できるモードは次のとおりです。
  - ■ 標準:お好みの内容に設定を変更できます。
  - ■ 技あり:電池の消費を抑えながら、快適に使用できます。
  - ■ お助け:電池の消費を極力抑えます。

6 確認
- モードの詳細を確認します。

7 電池残量
- 指定した電池残量になったとき、指定したモードに切り替わるよう設定できます。

8 切替時刻
- 指定した時刻になったとき、指定したモードに切り替わるよう設定できます。

- [電池残量]の設定によってモードが切り替わっている場合、切替時刻で設定した時刻になってもモードは切り替わりません。
- [電池残量]の回復時切替は、消耗時切替によりモードが切り替わった場合のみ動作します。また、一度消耗時切替によりモードが切り替わった場合、回復時切替によりモードが切り替わらない限り再度消耗時切替は動作しません。ただし、次の場合は状態がリセットされます。
  - ■ 電池残量指定の有効／無効を切り替えた場合
  - ■ 手動でモードを変更した場合
  - ■ 切替電池残量の設定を変更した場合

- 省エネ待受を[ON]にすると、スリープモード中にバックグラウンドで動作するアプリケーションを制御します。技ありモードでは、編集画面で省エネ待受の[?]をタッチし、[詳細]を選択すると、制御したいアプリケーションを個別に設定することができます。
- 定期的に通信するアプリケーションは、省エネ待受を[OFF]にしていても通信を開始しない場合があります。その場合は該当のアプリケーションで再度設定を行ってください。

microSDと端末容量

microSDカードまたは端末の空き容量の確認や、バックアップの管理などができます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[microSDと端末容量]

2 項目を選ぶ

- ■ 本体内データを消去:本体メモリを初期化します。
- ■ microSDをマウント／microSDのマウント解除:microSDカードをマウント／マウント解除します。
- ■ microSDバックアップ:microSDバックアップについては☞P.138
- ■ microSD内データを消去:microSDカードを初期化します。
- ■ 優先インストール先:アプリケーションの優先インストール先を設定します。

[microSDをマウント]、[microSDのマウント解除]について

- microSDカードの取り付け／取り外しは、microSDカードをマウント解除し、電源を切ってから行ってください。

[microSD内データを消去]について

- 初期化を行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

電池

電池残量や電池消費量の変化などを、視覚的に確認できます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[電池]

- 電池使用履歴の詳細を表示:[電池使用時間]

チャージング機能

充電を開始したときにスライドショーを表示するか設定します。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[チャージング機能]

2 各項目を設定

■ ON/OFF設定:チャージング機能を使用するか設定します。
■ スライドショー切替:スライドショーに表示する画像や動画を設定します。
■ 再生時間:スライドショーを再生する時間を設定します。

- 次の場合に充電を開始するとスライドショーが表示されます。
  ■ ホーム画面表示中(スリープモード中を含む)
  ■ アプリケーション画面表示中(スリープモード中を含む)

歩数計

ユーザー情報の登録など歩数計について設定します。

- [歩数計ON]を有効にするには、あらかじめユーザー情報を登録しておいてください。
- 歩数計の利用については☞P.133

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[歩数計]

2 項目を選ぶ

■ 歩数計ON:歩数計を利用するか設定します。
■ ユーザー情報:身長や体重、歩幅を登録します。
■ 歩数計リセット時刻設定:歩数計をリセットする時刻を設定します。
■ 歩行感度:歩数計の感度を設定します。

- [歩数計ON]を有効にすると、電源がONになっている間は常に歩数がカウントされます。
- 歩数計の表示は、1日に一度歩数計リセット時刻設定で設定した時刻にリセットされます。

アプリ

アプリケーションの名前やバージョン、メモリの使用状況などの確認、microSDカードへの移動、有効/無効の設定、アンインストールなどができます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[アプリ]

2 アプリケーションを選ぶ

アプリケーションの無効

アプリケーションの動作を停止し、アンインストールせずにアプリケーション画面に表示しないように設定します。

- アンインストールできないアプリケーションを無効にできます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[アプリ]

2 アプリケーションを選ぶ▶[無効にする]▶[OK]

- アプリケーションを無効にすると、無効にされたアプリケーションと連携している他のアプリケーションが正しく動作しない場合があります。その場合は、アプリケーションを有効にしてください。

アプリケーションの有効

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[アプリ]

2 アプリケーションを選ぶ▶[有効にする]

データ使用

データ通信量を測定し、グラフで表示します。また、設定した通信量に達したときに警告を表示したり、それ以上データ通信を行わないように設定したりすることができます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[データ使用]

2 データ通信量を確認する

1 データ通信
- データ通信を利用するか設定します。

2 データ通信の制限を設定する
- データ通信量に制限を設け、制限値に達した場合にデータ通信を停止します。
  - データ使用画面で[☰]▶[バックグラウンド制限]▶[OK]でバックグラウンドで動作しているアプリケーションのデータ通信も制限できます。

3 データ使用サイクル
- データ通信量の表示をリセットする日を設定します。

4 グラフ
- データ通信量を表示します。
- 警告ラインや制限ラインを設定することができます。

5 指定期間内のデータ通信量

6 データ通信を使用したアプリケーション

ネットワーク設定

機内モードやモバイルネットワークなど、通信について設定します。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[ネットワーク設定]

2 項目を選ぶ

- ■ 機内モード：電話やspモードメールなど、通信を利用する一部の機能を使用できないようにします。
- ■ VPN設定：VPN設定については☞P.117
- ■ モバイルネットワーク：モバイルネットワークについては☞P.144

[機内モード]について

- [SIMカードをロック]が有効の場合は、緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。[SIMカードをロック]が無効の場合は、機内モード中でも緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できます。緊急通報番号をダイヤルすると、[機内モード]が無効になり、発信を行います。
- [機内モード]が有効の場合でも、Bluetooth機能を[ON]にすることができます。

ドコモサービス

ドコモサービスの設定を行います。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[ドコモサービス]

2 項目を選ぶ

- ■ アプリケーション管理：アプリケーションのアップデートの確認などについて設定します。
- ■ ドコモアプリパスワード：ドコモが提供するアプリケーションで利用するパスワードを設定します。
- ■ ドコモ位置情報：イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能について設定します。
- ■ オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。

[ドコモアプリパスワード]について

- ドコモアプリパスワードは、お買い上げ時は[0000]に設定されています。

[ドコモ位置情報]について

- はじめてご利用される際には、「ソフトウェア利用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

アカウントと同期

アカウントを管理することができます。

1 **ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[アカウントと同期]**

2 **アカウントを確認する**

アカウントの削除

1 **ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[アカウントと同期]**

2 **アカウントを選ぶ▶[☰]▶[アカウントを削除]▶[アカウントを削除]**

位置情報サービス

位置情報の取得方法について設定します。

1 **ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[位置情報サービス]▶[GPS機能を使用]**

- 現在地を測位するためには、[GPS機能を使用]を有効にする必要があります。
- [GPS機能を使用]を有効にすると端末の消費電力が増加しますので、あらかじめご了承ください。

ロックとセキュリティ

セキュリティロックについて設定します。

1 **ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[ロックとセキュリティ]**

2 **項目を選ぶ**

- ■ 画面のロック:電源を入れたときやスリープモードを解除したときのタッチパネルのロック解除方法について設定します。
- ■ 所有者情報:タッチパネルのロック解除画面に表示する所有者情報について設定します。
- ■ アプリケーションロック:アプリケーションロックについては☞P.91
- ■ SIMカードロック設定:SIMカードロック設定については☞P.93
- ■ 端末の暗号化:端末の暗号化については☞P.94
- ■ パスワードを表示:PINコードなどを入力する際、[•]が表示される前に入力した文字を表示させることができます。
- ■ デバイス管理機能:デバイス管理者にデバイス管理権限を与えるかどうか設定します。
- ■ 提供元不明のアプリ:提供元不明のアプリケーションのインストールを許可します。
- ■ 安全な認証情報の使用:安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスを許可します。
- ■ microSDからインストール:暗号化された証明書をmicroSDカードからインストールします。
- ■ 認証ストレージの消去:すべての認証情報を削除します。

[画面のロック]について

- 設定できる項目は次のとおりです。
  - ■なし:タッチパネルのロック解除画面を表示しません。
  - ■タッチ:[🔒]をタッチしてロックを解除するように設定します。
  - ■パターン:4つ以上の点を結ぶパターンを設定します。
  - ■ロックNo.:4~16桁の数字を設定します。
  - ■パスワード:英字1文字以上を含んだ、4~16桁の英数字と半角記号を設定します。
    - ・一部の半角記号は利用できません。
- 画面のロックの設定によって、ロックとセキュリティの次の項目が表示/非表示になります。
  - ■パターンを表示する:パターンの入力時の軌跡を線で表示します。
  - ■自動ロック:タッチパネルがロックされるまでの時間を設定します。
  - ■電源ボタンですぐにロックする:⏻を押してスリープモードにしたときに、自動ロックで設定した時間にかかわらずタッチパネルをロックするか設定します。
  - ■タッチ操作バイブ:ロックNo.入力時などにバイブレータを動作させるか設定します。
  - ■所有者情報:タッチパネルのロック解除画面に表示する所有者情報について設定します。

[提供元不明のアプリ]について

- サイトからダウンロードするアプリケーションは情報源が不明な場合もあります。端末と個人データを保護するため、信頼できる情報源からのアプリケーションのみダウンロードしてください。

アプリケーションロック

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[ロックとセキュリティ]▶[アプリケーションロック]

2 暗証番号を入力▶[OK]

3 項目を選ぶ

- ■電話帳制限:電話帳データを利用するアプリケーションの起動を制限するか設定します。
- ■電話帳制限対象アプリ設定:電話帳制限を行うアプリケーションを設定します。
- ■音声発信制限:電話発信できないようにします。
- ■パターンを表示する:指リストの入力時の軌跡を線で表示します。
- ■入力時バイブ:指リスト、暗証番号、パスワードの入力時にバイブレータを動作させます。
- ■セキュリティキー変更:セキュリティキー変更については☞P.93

- 各制限を設定している場合、一時解除するにはセキュリティキーの入力が必要になります。

[音声発信制限]について

- 音声発信制限を設定中でも、緊急通報番号(110番、119番、118番)へは発信できます。

端末で利用する暗証番号

端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の暗証番号のほかに、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、端末を活用してください。

- 各種機能用の暗証番号、PINコード入力時は、[・]で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

セキュリティキー（各種機能用の暗証番号）

各制限を設定している場合、一時解除するにはセキュリティキーの入力が必要になります。お買い上げ時のセキュリティキーは[暗証番号]（[0000]）に設定されていますが、お客様ご自身で変更できます（☞P.93）。

- セキュリティキーの入力を、5回連続して間違えると30秒間入力ができません。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なお、dメニューからはホーム画面で[⊞]▶[dメニュー]▶[お客様サポートへ]▶[各種お申込・お手続き]からお客様ご自身で変更ができます。

- 「My docomo」、「お客様サポート」については、本書の裏表紙の裏面をご覧ください。

PINコード

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号があります。この暗証番号は、ご契約時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（☞P.93）。

PINコードは、第三者による端末の無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを取り付ける、または端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は[0000]となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとドコモminiUIMカードが完全にロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

セキュリティキー変更

1 ホーム画面で[⠿]▶[設定]▶[ロックとセキュリティ]▶[アプリケーションロック]

2 暗証番号を入力▶[OK]▶[セキュリティキー変更]

3 項目を選ぶ

■ 指リスト：4つ以上の点を結ぶパターンを設定します。

■ 暗証番号：4～16桁の数字を設定します。

■ パスワード：英字1文字以上を含んだ、4～16桁の英数字と半角記号を設定します。

・一部の半角記号は利用できません。

SIMカードロック設定

PINコードについて設定します。

1 ホーム画面で[⠿]▶[設定]▶[ロックとセキュリティ]▶[SIMカードロック設定]

2 項目を選ぶ

■ SIMカードをロック：電源を入れたときにPINコードを入力するか設定します。

■ SIM PINの変更：PINコードを変更します。

- 日本国内ではドコモminiUIMカードを取り付けていない場合やPINコードの入力画面、PINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- 設定はドコモminiUIMカードに保存されます。

PINロックの解除

1 PINロック中画面でPINロック解除コードを入力

2 新しいPINコードを入力

3 もう一度、新しいPINコードを入力▶[OK]

端末の暗号化

端末内のデータを暗号化します。

- 端末の暗号化を行うと電源を入れるたびにストレージ復号化のパスワード入力画面が表示されます。画面のロックで設定したロックNo.またはパスワードを入力してください。
- 端末の暗号化を解除するには、オールリセットを行う必要があります(☞P.95)。
- 電池を十分に充電した状態で、充電しながら操作してください。
- あらかじめ画面のロックをロックNo.またはパスワードに設定しておいてください(☞P.90)。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[ロックとセキュリティ]▶[端末の暗号化]

2 [携帯端末を暗号化]▶ロックNo.／パスワードを入力▶[次へ]

3 [携帯端末を暗号化]

- 端末の暗号化が中断された場合、端末内のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。

言語と文字入力

画面に表示される言語や、文字入力などについて設定します。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[言語と文字入力]

2 項目を選ぶ

- ■ 言語(Language)を選択:日本語表示／英語表示を選択します。
- ■ ユーザー辞書:任意の単語を辞書に登録し、文字入力時に、変換候補として表示させます。
- ■ デフォルト:文字入力時に使用する入力ソフトを設定します。
- ■ iWnn IME - SH edition:iWnn IME - SH editionについて設定します。設定できる各項目の詳細については☞P.42
- ■ しゃべってキー入力:しゃべってキー入力について設定します。
- ■ テキスト読み上げの出力:端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。
- ■ ポインタの速度:ポインタの速度を設定します。
- [⚙]をタッチすると各項目の詳細を設定できます。

- テキスト読み上げは、音声データやユーザー補助オプションなどをダウンロードすることで利用できるようになります。
- お買い上げ時にインストールされている音声データに日本語のデータは含まれません。

バックアップとリセット

オールリセットやデータの移行を行います。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[バックアップとリセット]

2 項目を選ぶ

■ オールリセット:オールリセットについては☞P.95

■ データ移行モード:ドコモショップで端末内のデータを移行する際に設定します。

オールリセット

システムメモリ内のすべてのデータを消去します。

- オールリセット中は電池パックを外さないでください。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[バックアップとリセット]▶[オールリセット]

2 [携帯端末をリセット]▶暗証番号を入力▶[OK]▶[すべて消去]

- [本体内データを消去]/[microSD内データを消去]を有効にすると、本体メモリやmicroSDカード内のデータも同時に消去されます。

- 消去されるデータは次のとおりです。
  ■ 作成、保存、登録したデータ
  ■「設定」アプリケーションで設定した内容
  ■ ダウンロードしたアプリケーション

- お買い上げ時にインストールされているアプリケーションを消去した場合は、メーカーサイトからダウンロードできます。次のサイトの製品情報をご確認ください。
  http://3sh.jp/

外部接続

端末に接続するイヤホンマイクの種類や、端末をmicroUSB接続ケーブル 01(別売)でパソコンに接続して利用するときの設定を変更します。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[外部接続]

2 項目を選ぶ

■ イヤホンの種類:接続するイヤホンマイクの種類を設定します。

■ USB接続:USB接続については☞P.95

USB接続

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[外部接続]▶[USB接続]

2 項目を選ぶ

■ MTPモード:MTP対応のパソコンで本体メモリまたはmicroSDカードにデータを転送するときのモードです。

■ PTPモード:PTP対応のパソコンで本体メモリに静止画を転送するときのモードです。

■ カードリーダーモード:端末に挿入したmicroSDカードを、パソコンの外部メモリとして使用するときのモードです。

■ 高速転送モード:本体メモリとパソコン間の高速データ通信をするときのモードです。

■ MediaJetインストール：MTPモードでパソコンと接続したときに、MediaJetをインストールするか設定します。

● 大量のデータを転送した場合、転送が中断することがあります。その場合はデータを分けて転送してください。

日付と時刻

日時の設定や表示形式について設定します。

1 ホーム画面で[⠿]▶[設定]▶[日付と時刻]

2 項目を選ぶ

■ 日付と時刻の自動設定：日時を自動的に補正するか設定します。
■ タイムゾーンの自動設定：ネットワークから提供されたタイムゾーンを利用するか設定します。
■ 日付設定：日付を手動で設定します。
■ 時刻設定：時刻を手動で設定します。
■ タイムゾーンの選択：タイムゾーンを手動で設定します。
■ 24時間表示：12時間制／24時間制を切り替えます。
■ 日付形式：日付の表示形式を設定します。

[日付と時刻の自動設定]を有効にしたとき

● 電源を入れてもしばらく時刻が補正されない場合は、電源を入れ直してください。
● 電波状況によっては時刻を補正できないときがあります。
● 数秒程度の誤差が生じるときがあります。

ユーザー補助

ユーザー補助オプションについて設定します。

1 ホーム画面で[⠿]▶[設定]▶[ユーザー補助]

2 項目を選ぶ

■ 文字サイズ特大：端末に表示される文字のサイズを特大にするか設定します。
■ 電源キーで通話を終了する：(⏻)を押して通話を終了するか設定します。
■ 画面の自動回転：端末を左右に90度回転させたとき、画面の縦／横表示を切り替えるか設定します。
■ パスワードの音声出力：パスワードの音声出力を利用するか設定します。
■ 押し続ける時間：ロングタッチする時間を設定します。
■ ウェブスクリプト：ウェブスクリプトのインストールを許可するか設定します。

開発者向けオプション

アプリケーションを開発する際に使用する設定やデバッグ機能などを利用するか設定します。

1 ホーム画面で[⠿]▶[設定]▶[開発者向けオプション]

2 項目を選ぶ

- USBデバッグ:USB接続時にデバッグモードを利用するか設定します。
- 開発端末ID:端末IDを表示します。
- スリープモードにしない:充電中はスリープモードにならないようにするか設定します。
- 擬似ロケーションを許可:擬似的な現在地情報の使用を許可するか設定します。
- PCバックアップパスワード:パソコンでバックアップを取るときのパスワードを設定します。
- 厳格モードを有効にする:プログラムの処理時間が長い場合に画面を点滅させるか設定します。
- ポインタの位置:タッチした位置の情報を表示するか設定します。
- タップを表示:タッチした位置を白い点で表示するか設定します。
- CPU使用状況を表示:CPUの使用状況を表示するか設定します。
- ウィンドウアニメスケール:ウィンドウのアニメーション速度を設定します。
- トランジションアニメスケール:画面切替時のアニメーション速度を設定します。
- すべてのANRを表示:バックグラウンドで動作しているアプリケーションの実行に時間がかかっている場合に、通知するか設定します。
- その他のオプション:GPUレンダリングやアクティビティの保持などについて設定します。

- 開発機能の詳細については、次のサイトをご覧ください。
  http://developer.android.com/

セルフチェック

端末のセルフチェックを行ったり、セルフチェックの履歴を表示したりすることができます。

1 ホーム画面で[⠿]▶[設定]▶[セルフチェック]

2 項目を選ぶ

- 携帯電話のセルフチェック:端末の診断をします。
- セルフチェックの履歴表示:セルフチェックを行った履歴を表示します。

端末情報

端末情報の確認ができます。

1 ホーム画面で[⠿]▶[設定]▶[端末情報]

2 項目を選ぶ

- ビルド番号:ビルド番号を確認できます。
- 端末の状態:電池残量や利用中のネットワークなどを確認できます。
- タッチパネル補正:タッチパネルを補正します。
- センサー感度補正:モーションセンサー、地磁気センサーの取得精度を補正します。

- ■ ソフトウェア更新：ソフトウェア更新については☞P.157
- ■ 法的情報：著作権情報や利用規約などを確認できます。
- ■ モデル番号：モデル番号を確認できます。
- ■ Androidバージョン：Androidバージョンを確認できます。
- ■ ベースバンドバージョン：ベースバンドバージョンを確認できます。
- ■ カーネルバージョン：カーネルバージョンを確認できます。

［タッチパネル補正］について

- ［画面に触れないでください］が表示されている間はタッチパネル（ディスプレイ）や⏻に触れないようにしてください。
  タッチパネル全体の感度補正をしていますので、補正に失敗することがあります。

［センサー感度補正］について

- 補正画面が表示され、約10秒経過してから補正を行ってください。
- 補正を行う環境や同時に起動しているアプリケーションによっては、補正に失敗することがあります。補正を行う場所を変えるか、起動中のアプリケーションを終了させるなどしてください。

あんしん・あんぜん機能

保護者設定

お子さまがご使用になる際の利用制限や防犯ブザーなどについて設定します。また、保護者パスワードを登録した場合に制限される「設定」アプリケーションの項目(☞P.82)については、こちらから設定することができます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[保護者設定]

■ 保護者パスワード設定:保護者パスワード設定については☞P.99
■ 緊急連絡先登録:緊急連絡先登録については☞P.100
■ 利用制限設定:利用制限設定については☞P.100
■ 防犯ブザー設定:防犯ブザー設定については☞P.105
■ 電源OFF検索設定:電源を切ったときに現在地をお知らせするか設定します。
■ プロフィール:ドコモminiUIMカードに登録されているお客様の電話番号を表示できます。名前やメールアドレスなどを登録することもできます。
■ 通話:留守番電話や着信拒否など、通話について設定します。
■ アプリ:アプリケーションの名前やバージョン、メモリの使用状況などの確認、microSDカードへの移動、有効/無効の設定、アンインストールなどができます。
■ データ使用:データ通信量を測定し、グラフで表示します。
■ ネットワーク設定:機内モードやモバイルネットワークなど、通信について設定します。
■ ドコモサービス:ドコモサービスの設定を行います。
■ アカウントと同期:アカウントを管理することができます。
■ 位置情報サービス:位置情報の取得方法について設定します。
■ ロックとセキュリティ:セキュリティロックについて設定します。
■ バックアップとリセット:オールリセットやデータの移行を行います。
■ 日付と時刻:日時の設定や表示形式について設定します。
■ ユーザー補助:ユーザー補助オプションについて設定します。
■ 開発者向けオプション:アプリケーションを開発する際に使用する設定やデバッグ機能などを利用するか設定します。
■ セルフチェック:端末のセルフチェックを行ったり、セルフチェックの履歴を表示したりすることができます。
■ 端末情報:端末情報の確認ができます。
■ 初期設定:初期設定を変更できます。

[電源OFF検索設定]について

● イマドコサーチに関連したソフトウェア更新(本端末の製品アップデート)を行うと表示されます。ソフトウェア更新の詳細については、ドコモのホームページの「製品アップデート情報」にてご案内いたします。

保護者パスワード設定

保護者パスワードを登録すると、お子さまによる「設定」アプリケーション項目の利用を一部制限することができます(保護者制限)。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[保護者設定]▶[保護者パスワード設定]

2 項目を選ぶ

■ 登録:保護者パスワードを登録します。
■ 変更:登録した保護者パスワードを変更します。
■ 削除:登録した保護者パスワードを削除します。

● 保護者パスワードを忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)や端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

[削除]について

● 保護者パスワードを削除しても利用制限設定や防犯ブザー設定などの設定内容は変更されません。個別に設定を変更してください。

保護者パスワード入力画面

保護者パスワードが登録されている場合、利用が制限されている機能を利用しようとすると保護者パスワード入力画面が表示されることがあります。保護者パスワードを入力すると、制限を一時解除することができます。

緊急連絡先登録

防犯ブザーを鳴らしたときに自動的に電話を発信する相手や、端末の利用時間や通話時間が制限されているときでも電話の発着信をすることができる相手を登録します。

● 防犯ブザーについては☞P.104

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[保護者設定]▶[緊急連絡先登録]

2 項目を選ぶ

■ 新しい連絡先を登録:電話帳に新しく連絡先を登録して緊急連絡先にします。
■ 電話帳データから登録:電話帳に登録されている連絡先を緊急連絡先にします。

● 緊急連絡先に緊急通報番号(110番、119番、118番)を登録することはできません。
● 緊急連絡先を複数登録することはできません。すでに緊急連絡先が登録されている場合、新しく連絡先の連絡先種別を[緊急連絡先]に設定したときは、古い緊急連絡先は[利用制限時連絡先]に設定されます。
● 連絡先種別を[緊急連絡先]に設定した連絡先に複数の電話番号が登録されている場合、一番上に登録されている電話番号が緊急連絡先となります。

利用制限設定

電話・メール制限

電話帳に登録されていない相手との電話の発着信やspモードメール/SMSの送受信を制限することができます。

● 電話・メール制限を[制限する]に設定している場合、制限される機能は次のとおりです。

■ 電話帳に登録されていない相手との電話発着信
■ 電話帳に登録されていない相手とのspモードメール／SMS送受信
■ 声の宅配便
■「ドコモバックアップ」アプリケーション

● 電話・メール制限を［制限する］に設定した上で保護者パスワードを登録した場合、追加で制限される機能は次のとおりです。
■ 電話帳の登録／編集／削除（SMSや名刺リーダー、お店情報リーダー、赤外線／ｉＣ通信などからの電話帳登録を含む）
■ 電話帳のインポート／エクスポート

1 ホーム画面で［⊞］▶［設定］▶［保護者設定］▶［利用制限設定］▶［電話・メール制限］

2 項目を選ぶ

■ 制限する：電話帳に登録されていない相手と電話の発着信やspモードメール／SMSの送受信ができないようにします。
■ 制限しない：電話帳に登録されていない相手と電話の発着信やspモードメール／SMSの送受信ができるようにします。

● 電話・メール制限を［制限する］に設定している場合でも、可能となる動作は次のとおりです。
■ 災害用伝言ダイヤルなど一部の特別番号や緊急通報番号（110番、119番、118番）への発信※
■ 緊急速報「エリアメール」などの受信
■ メッセージR／Sなど、ドコモからのSMSやspモードメールの受信
※ 緊急通報終了後の約５分間はすべての着信を許可します。約５分経過する前に電源を入れ直すと、再び着信を拒否します。

● 電話・メール制限を［制限する］に設定している間に、電話帳に登録されていない相手から受信したspモードメール／SMSは自動的に削除されます。削除されたメールはメール問合せを行っても受信できません。

アプリ制限

お子さまの利用を控えたいアプリケーションを非表示にして、アプリケーションの利用を制限することができます。

● アプリ制限画面に表示されていないアプリケーションは利用を制限することができません。

1 ホーム画面で［⊞］▶［設定］▶［保護者設定］▶［利用制限設定］▶［アプリ制限］

2 アプリケーションを選ぶ

- アプリ制限の一括解除：［一括解除］

3 ［設定］▶［はい］

● アプリ制限を行うと、制限されたアプリケーションと連携している他のアプリケーションが正しく動作しない場合があります。その場合は、アプリ制限を解除してください。
● アプリ制限を解除すると、制限されていたアプリケーションは、アプリケーション画面の［ダウンロードアプリ］に分類されます。
● おサイフケータイの利用を制限したい場合は、おサイフケータイ ロック設定を行ってください。

インターネット制限

spモードフィルタカスタマイズの設定サイトに接続します。spモードフィルタと組み合わせてご利用いただくことで、アクセスを制限するサイトやカテゴリの一部を設定／変更できます。

- spモードフィルタカスタマイズをご利用いただくには、追加お申し込みが必要です。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[保護者設定]▶[利用制限設定]▶[インターネット制限]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

利用・通話時間制限

学校にいるときや深夜時間帯など、利用環境に合わせて端末を利用する時間帯を制限することができます。

また、1日に利用可能な累積時間や1日／1カ月に通話可能な累積時間を指定して使いすぎを防止することもできます。

- 端末の利用時間が制限された場合、利用時間制限ロック画面が表示されます。
- 端末の通話時間が制限された場合、電話の発着信ができません。
- 利用／通話した累積時間は利用制限設定確認で確認することができます（☞P.106）。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[保護者設定]▶[利用制限設定]▶[利用・通話時間制限]

2 項目を選ぶ

- ■ 制限時間帯：本端末を利用することができない時間帯を設定します。
- ■ 1日の利用可能時間：本端末を1日に利用することができる時間を設定します。
- ■ 1日の通話可能時間：本端末で1日に通話することができる時間を設定します。1日の累積通話時間を確認することもできます。
- ■ 1カ月の通話可能時間：本端末で1カ月に通話することができる時間を設定します。1カ月の累積通話時間を確認することもできます。

- 通話中に端末の利用時間や通話時間が制限された場合は、通話終了後に制限されます。
- 端末の利用時間が制限されている場合でも、可能となる動作は次のとおりです。
  - ■ [緊急連絡先]や[利用制限時連絡先]に設定されている連絡先からの発着信
  - ■ 災害用伝言ダイヤルなど一部の特別番号や緊急通報番号（110番、119番、118番）への発信
  - ■ 緊急速報「エリアメール」などの受信・確認
  - ■ spモードメールの受信
  - ■ SMSの受信
  - ■ 防犯ブザーの利用
  - ■ おサイフケータイの利用
  - ■ アラームの鳴動
- 端末の通話時間が制限されている場合でも、可能となる発着信は次のとおりです。
  - ■ [緊急連絡先]や[利用制限時連絡先]に設定されている連絡先からの発着信
  - ■ 災害用伝言ダイヤルなど一部の特別番号や緊急通報番号（110番、119番、118番）への発信

[1日の利用可能時間]について

- ディスプレイが表示されていないときは、利用時間にカウントされません（通話中や音楽再生中など、機能利用中も含む）。

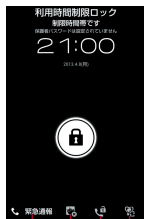
利用時間制限ロック画面

端末の利用時間が制限された場合は、端末を使用しているときでも利用時間制限ロック画面が表示されます。

保護者パスワードを登録している場合は保護者パスワードを入力すると、制限を一時解除することができます。

保護者パスワードを登録していない場合は[🔒]をタッチすると、制限を一時解除することができます。

- 保護者パスワードを登録していない場合、保護者パスワードを入力することなく利用時間制限ロックを解除することができますので、ご注意ください。

保護者パスワードを登録している場合

保護者パスワードを登録していない場合

1 緊急通報

- 緊急通報番号（110番、119番、118番）へ発信することができます。

2 アプリケーションの停止

- バックグラウンドで起動中のアプリケーションを停止します。

3 電話帳

- ［緊急連絡先］、［利用制限時連絡先］に設定されている連絡先や災害用伝言ダイヤルなど一部の特別番号へ発信することができます。

4 マナーモード設定

- 保護者パスワードの入力を5回連続して間違えると30秒間入力ができません。

着信拒否動作

次の場合の着信拒否の動作について設定します。

- ■ 電話・メール制限を［制限する］に設定しているときに電話帳に登録されていない相手から着信があった場合
- ■ 端末の利用時間や通話時間が制限されているときに電話帳に登録されていない相手や［一般連絡先］に設定されている連絡先から着信があった場合

1 **ホーム画面で［⠿］▶［設定］▶［保護者設定］▶［利用制限設定］▶［着信拒否動作］**

2 **項目を選ぶ**

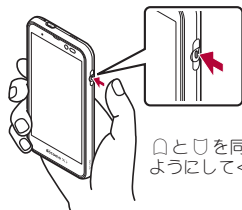
- ■ 拒否メッセージ：相手に応答メッセージを流して着信を拒否します。
- ■ 無応答切断：応答せずに着信を拒否します。

防犯ブザー

緊急時に大音量のブザーを鳴らすことができます。また、防犯ブザーを鳴らしたときに自動的に電話を発信したり、現在地をお知らせしたりすることができます（ブザー検索）。

- ブザー検索については☞P.106
- あらかじめ鳴動・発信を[ON]に設定しておいてください。
- 大音量で音が鳴ります。耳の近くで鳴らさないよう、ご注意ください。

1 **▯（2秒以上）**

▯と▯を同時に押すようにしてください。

- あらかじめ緊急連絡先を登録している場合、防犯ブザーを鳴らすと緊急連絡先に自動的に電話を発信します（☞P.100）。相手が電話に出るとブザーの鳴動が停止し、通話を終了すると鳴動が再開しますので通話終了後は速やかに端末を耳から離してください。

防犯ブザーの停止

1 **▯（2秒以上）**

- 防犯ブザーは、周囲の注意をこちらに向けるためのもので、犯罪防止や安全を保障するものではありません。本機能を使用した際に、万が一損害が発生したとしても、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 次の場合は、防犯ブザーが動作しません。
  - ■ 電源が入っていないとき
  - ■ ソフトウェア更新中
- 次の場合は、ブザー音は鳴りますが緊急連絡先への電話の発信は行いません。
  - ■ ドコモminiUIMカードを取り付けていないとき
  - ■ おまかせロック中
  - ■ 電源を入れたときのPIN1コード入力画面表示中
  - ■ PINコードロック中
  - ■ 圏外時
  - ■ 機内モード中
- ブザー音の音量は変更できません。
- イヤホンマイクなどを挿している場合、イヤホンからもブザー音が聞こえますのでご注意ください。
- 緊急連絡先を登録している場合、緊急連絡先以外からの発着信中に防犯ブザーを鳴らしたときは、発着信を切断し、ブザー音が鳴り、緊急連絡先に自動的に電話を発信します。
- 防犯ブザー鳴動中にソフトウェア更新の予約時刻になったときは、ソフトウェア更新は開始されません。
- 防犯ブザー鳴動中は[🏠]、[▣]が表示されません。
- 他の機能を実行中に防犯ブザーを鳴らすと、編集、操作中のデータを保存せずに実行中の機能が終了する場合があります。
- 長期間にわたって使用しない場合、定期的に操作して正常に動作することを確認してください。

通話中に防犯ブザーを鳴らしたときの動作

- 緊急連絡先を登録している場合の動作は次のとおりです。

通話相手	動 作
緊急連絡先以外	通話を切断し、ブザー音が鳴り、緊急連絡先に自動的に電話を発信します。
緊急連絡先	通話を終了するとブザー音が鳴ります。緊急連絡先への電話の発信は行いません。
緊急通報番号(110番、119番、118番)	通話を終了するとブザー音が鳴り、緊急連絡先に自動的に電話を発信します。

- 緊急連絡先を登録していない場合は、通話を終了するとブザー音が鳴ります。

防犯ブザー設定

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[保護者設定]▶[防犯ブザー設定]

2 項目を選ぶ

■ 鳴動・発信:防犯ブザーを鳴動させ、緊急連絡先に発信するか設定します。

■ 位置情報検索:防犯ブザーを鳴らしたときに、現在地をお知らせするか設定します。

[位置情報検索]について

- イマドコサーチに関連したソフトウェア更新(本端末の製品アップデート)を行うと表示されます。ソフトウェア更新の詳細については、ドコモのホームページの「製品アップデート情報」にてご案内いたします。

イマドコサーチ

イマドコサーチはあらかじめ登録した人の居場所を検索して、地図で確認できるサービスです。
本端末では、「いますぐ検索」に加えて、防犯ブザーを鳴らしたときや、電源を切ったとき、「ちょこっと通知」アプリケーションを利用したときに、現在地をイマドコサーチ契約者にお知らせすることができます。

2013年1月現在、ブザー検索、電源OFF検索、ちょこっと通知検索はご利用いただけません。ご利用にはイマドコサーチに関連したソフトウェア更新(本端末の製品アップデート)が必要です。ソフトウェア更新の詳細については、ドコモのホームページの「製品アップデート情報」にてご案内いたします。

- イマドコサーチはお申し込みが必要な有料サービスです。イマドコサーチの詳細については、ドコモのホームページなどをご覧ください。
- ご利用には別途検索料(検索成功時のみ)とパケット通信料がかかります。
- あらかじめ、ドコモ位置情報の位置提供設定を[位置提供ON]に設定しておいてください(☞P.89)。
- あらかじめ、イマドコサーチ契約者からイマドコサーチの検索対象として設定されている必要があります。

ブザー検索

防犯ブザーを鳴らしたときに現在地をお知らせすることができます。

- あらかじめ、鳴動・発信と位置情報検索を［ON］に設定しておいてください（☞P.105）。

電源OFF検索

電源を切ったときに現在地をお知らせすることができます。

- あらかじめ、電源OFF検索設定を［ON］に設定しておいてください（☞P.99）。
- 電源が切れる直前に位置情報の検索を行います。位置情報の検索が終了すると、電源が切れます。

- 位置情報の検索を中断するときは、現在地の測位中画面で［中断］を選択してください。中断した場合は電源を切ることができません。
- 航空機内に本端末を持ち込むときなど、位置情報の検索を行わずに電源を切りたい場合は、電源OFF検索設定を［OFF］に設定してください。

ちょこっと通知検索

「ちょこっと通知」アプリケーションを利用して、ワンタッチで現在地をお知らせすることができます。

- 「ちょこっと通知」アプリケーションは、イマドコサーチに関連したソフトウェア更新（本端末の製品アップデート）を行うとインストールされます。ソフトウェア更新の詳細については、ドコモのホームページの「製品アップデート情報」にてご案内いたします。

1 ホーム画面で［⊞］▶［ちょこっと通知］▶［OK］

利用制限設定確認

利用制限設定に関する設定内容や利用状況を確認します。

1 ホーム画面で［⊞］▶［設定］▶［利用制限設定確認］

ファイル管理

コンテンツマネージャー

本体メモリまたはmicroSDカードに保存されたデータを管理し、種類ごとに分類して表示します。

1 ホーム画面で[⊞] ▶ [コンテンツマネージャー]

- ホーム画面で[⊞] ▶ [SHツール] ▶ [おすすめ] ▶ [コンテンツマネージャー]でも起動できます。

2 データを選ぶ

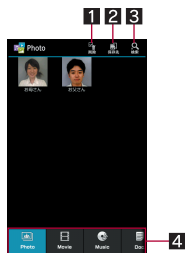
- 対応するアプリケーションがインストールされている場合、データを選択すると表示することができます。
- 対応するアプリケーションが複数インストールされている場合、アプリケーション選択画面が表示されることがあります。アプリケーションを選択すると表示します。

1 2 3

Photo 削除 保存先 検索

お母さん お父さん

Photo Movie Music Doc

4

1 データ削除
- データを選択して削除できます。

2 保存先
- 選択した保存先にあるデータを表示できます。

3 データ検索
- 検索条件を選んで、本体メモリまたはmicroSDカード内のデータを検索できます。

4 カテゴリ
- 選択したカテゴリのデータが表示されます。

カテゴリ	表示されるデータ
Photo	端末で撮影した静止画やダウンロードした画像
Movie	端末で撮影した動画やダウンロードした動画
Music	端末で録音したデータやメロディ、WMAファイル
Doc.	Office系データ(.doc、.xls、.ppt、.docx、.xlsx、.pptx、.csv)、PDFデータ、Textファイル
Others	その他のデータ

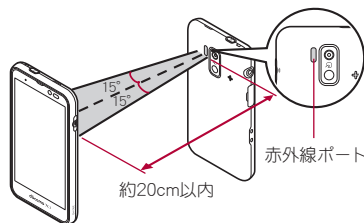
- 左右にスライドするとカテゴリの表示を切り替えることができます。

赤外線通信

赤外線通信の利用

赤外線通信機能を搭載した他の端末などと、データを送受信することができます。

- 電話帳、spモードメール、プロフィール、ブックマーク、静止画、動画、ボイスレコーダーで録音したデータなどを送受信できます。
- 赤外線通信機能は、IrMC™ 1.1規格に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC™ 1.1規格に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。
- 機内モード中は赤外線通信できません。
- 全件データの送受信には、ドコモアプリパスワードまたは暗証番号の入力と認証コードの入力が必要になります。認証コードは、赤外線通信のための専用パスワードです。送受信を始める前にお好きな４桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。

赤外線通信のご利用にあたって

- 図のように受信側と送信側の端末の赤外線ポートが約20cm以内に向き合うようにしてください。
- データの送受信が終わるまでは、お互いの赤外線ポートを向き合わせたままにして、動かさないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。
- 赤外線ポートが汚れていると通信できにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布で拭き取ってください。

赤外線送受信

- データを送信する場合は、それぞれの機能(メニュー)から操作することもできます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[赤外線送受信]

2 項目を選ぶ

- ■ 一件受信：1件受信します。
- ■ 全件受信：全件受信します。
- ■ 一件送信：データを選んで送信します。
- ■ 全件送信：アプリケーションを選んで全件送信します。
  - 受信操作と送信操作は同時に行ってください。
  - 受信操作が終わると、受信待ち状態になります。約30秒以内に送信側の端末からデータが送信されると、自動的に通信を開始します。

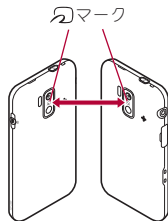
- 全件受信時に[全件削除して登録]を選択すると、登録していた該当機能のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。
- データの種類によっては、全件受信できないことがあります。
- 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

ｉＣ通信

ｉＣ通信の利用

ｉＣ通信機能を搭載した他の端末と、データを送受信することができます。

- あらかじめ、おサイフケータイの初期設定をしておいてください(☞P.119)。
- おサイフケータイ ロック設定中はｉＣ通信ができません。
- 機内モード中はｉＣ通信によるデータの送信ができません。
- 次の場合はｉＣ通信によるデータの送信ができないことがあります。
  - ■ 通話中　■ 充電中
  - ■ イヤホンマイク接続中　■ USB接続中
- spモードメールはｉＣ通信で送信できません。これ以外の送受信できるデータについては赤外線通信(☞P.108)と同様です。

ｉＣ通信のご利用にあたって

- 図のように受信側と送信側の端末のマークを重ね合わせてご利用ください。
- データの送受信が終わるまでは、端末を動かさないでください。

- 相手の端末によっては、データを送受信しにくいことや端末を近づけた際にディスプレイの表示が消えてしまうことがあります。そのときは、マークどうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。

ｉＣ通信送受信

全件データの送受信には、認証コードの入力が必要になります。認証コードは、ｉＣ通信のための専用パスワードです。送受信を始める前にお好きな４桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。また、全件データの送信には、暗証番号の入力が必要になる場合があります。

データを送信

例：静止画のとき

1. **ホーム画面で[ ]▶[コンテンツマネージャー]▶[Photo]**
2. **静止画をロングタッチ▶[共有]▶[ＩＣ送信]**
3. **[OK]**
4. **相手の端末とマークを重ね合わせる**

データを受信

1. **相手の端末とマークを重ね合わせる**
2. **[OK]**
3. **ステータスバーを下にドラッグ▶受信したデータを選ぶ**

Bluetooth機能

端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

対応バージョンと対応プロファイル

■ 対応バージョン

Bluetooth標準規格 Ver.3.0+EDR※1

■ 対応プロファイル※2（対応サービス）

HSP：Headset Profile（ヘッドセットプロファイル）※3

HFP：Hands Free Profile（ハンズフリープロファイル）※4

A2DP：Advanced Audio Distribution Profile（アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル）※5

AVRCP：Audio／Video Remote Control Profile（オーディオ／ビデオリモートコントロールプロファイル）※5

HID：Human Interface Device Profile（ヒューマンインターフェースデバイスプロファイル）※6

OPP：Object Push Profile（オブジェクトプッシュプロファイル）※7

SPP：Serial Port Profile（シリアルポートプロファイル）※8

PBAP：Phone Book Access Profile（フォンブックアクセスプロファイル）※9

HDP：Health Device Profile（ヘルスデバイスプロファイル）※10

※1 端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※2　Bluetooth機器の通信手順を製品の特性ごとに標準化したものです。
※3　端末に市販のBluetooth対応ヘッドセットをBluetooth接続すると、ワイヤレスで通話できます。
※4　端末にカーナビなど市販のBluetooth対応ハンズフリー機器をBluetooth接続すると、カーナビなどを利用してハンズフリー通話できます。
※5　端末に市販のBluetooth対応オーディオ機器をBluetooth接続すると、ワイヤレスで音楽などを再生できます。また、Bluetooth機器からリモコン操作できる場合もあります。ただし、データの種類によっては対応する機器が制限されます。
※6　端末にキーボードやマウスなど市販のBluetooth対応入力デバイスをBluetooth接続すると、Bluetooth機器から端末を操作できます。
※7　端末にBluetooth機器をファイル転送サービスで接続すると、Bluetooth機器との間でデータの送受信を行うことができます。
※8　仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続することができます。
※9　Bluetooth機器にシステムメモリの電話帳データを転送することができます。電話帳データの内容によっては、相手のBluetooth機器で正しく表示されない場合があります。
※10　体重計などの市販のBluetooth対応健康器具とデータ通信を行うことができます。

- Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。
- SCMS-T非対応のBluetooth機器では、データの種別によっては音声が出力できない場合があります。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

Bluetooth機器を利用するときは、次の事項にご注意ください。

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
  - ■端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
  - ■電気製品、AV機器、OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときは、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
  - ■放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
  - ■Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
  - ■ 電車内　■ 航空機内　■ 病院内
  - ■ 自動ドアや火災報知機から近い場所
  - ■ ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Wi-Fi対応機器との電波干渉について

- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、端末や接続相手のBluetooth機器を無線LANから約10m以上離してください。

Bluetooth

- Bluetooth機器の登録・接続には、Bluetoothパスキーの入力が必要な場合があります。登録を始める前にお好きな1～16桁の数字を決めておき、端末・相手のBluetooth機器で同じ数字を入力してください。
- あらかじめ相手のBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。

1 ホーム画面で[ ]▶[設定]▶[Bluetooth]

2 [OFF]を右にスライド

3 Bluetooth機器を選ぶ▶[ペア設定する]

- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーを入力する場合があります。また、登録完了後、続けて接続まで行う場合があります。
- 他のBluetooth機器に表示／非表示：[SH-05E]
  - ・表示のタイムアウトで設定した時間が経過すると、自動的に非表示になります。
- Bluetooth機器を検索：[デバイスの検索]
- ペア設定済みのBluetooth機器の[ ]をタッチして相手のBluetooth機器の名前や接続種別を変更できます。

- 接続に失敗する場合、Bluetooth機器を再登録すると接続できるようになる場合があります。

- Bluetooth機能を[ON]にすると、他のBluetooth機器からの登録要求/接続要求を受けられる状態になります。他のBluetooth機器から検索できるようにするには、あらかじめ他のBluetooth機器に表示されるよう設定しておいてください。
- 接続待機中、Bluetooth機器からの接続要求を受けても、電波状況などにより接続できないことがあります。
- 相手のBluetooth機器の操作方法の詳細は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をお読みください(ご覧になる取扱説明書によっては、「検索」の代わりに「探索」または「サーチ」、「ペア設定」の代わりに「ペアリング」または「機器登録」などと表記されています)。

Bluetooth機器からの登録要求や未登録のBluetooth機器からの接続要求を受けた場合

1 Bluetooth機器からの登録要求/接続要求

2 ステータスバーを下にドラッグ▶[ペア設定リクエスト]▶[ペア設定する]

- ペア設定の確認画面が表示された場合は[ペア設定する]を選択してください。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーの入力をする場合もあります。
- 接続確認画面が表示される場合があります。

Bluetooth機器の登録解除

1 Bluetooth画面で登録を解除するBluetooth機器の[]▶[ペアを解除]

Bluetooth機器の接続解除

1 Bluetooth画面で接続を解除するBluetooth機器を選ぶ▶[OK]

Bluetoothの設定

- Bluetooth機能を[ON]にしてから設定してください。

1 Bluetooth画面で[☰]

2 項目を選ぶ

■ 端末の名前を変更:本端末の名称を変更します。
■ 表示のタイムアウト:他のBluetooth機器に表示される時間を設定します。
■ aptX:aptX®を利用するかどうか設定します。
■ 常にハンズフリー通話:音声通話時に、接続中のBluetooth対応ハンズフリー機器から常に音声を出力するか設定します。
■ 受信済みファイルを表示:Bluetooth通信のデータ受信履歴を表示します。

[aptX]について

- [aptX]を有効にすると、Bluetooth機器によっては音声が出力されないことがあります。その場合は[aptX]を無効にしてください。

Bluetooth通信送受信

データを送信

例:静止画のとき

1 ホーム画面で[⊞]▶[コンテンツマネージャー]▶[Photo]

2 **静止画をロングタッチ▶［共有］▶［Bluetooth］**

- 受信側のBluetooth機器を受信待ち状態にします。

3 **接続するBluetooth機器を選ぶ**

データを受信

1 **送信側のBluetooth機器からデータ送信**

2 **ステータスバーを下にドラッグ▶着信通知を選ぶ▶［承諾］**

3 **ステータスバーを下にドラッグ▶受信したデータを選ぶ**

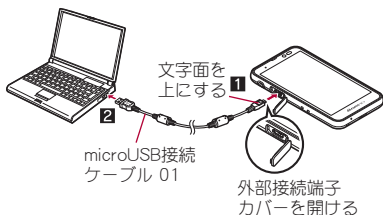
- 全件受信時に［全件削除して登録］を選択すると、登録していた該当機能のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。
- データの種類によっては、全件受信できないことがあります。
- 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

外部機器接続

端末とパソコンの接続方法

1 **microUSB接続ケーブル 01（別売）のmicroUSBプラグを端末の外部接続端子に水平に差し込む（1）**

2 **microUSB接続ケーブル 01のUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに水平に差し込む（2）**

- USB接続のモードについては☞P.95

- USBケーブルはmicroUSB接続ケーブル 01をご利用ください。パソコン用のUSBケーブルはプラグ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- パソコンとデータのやりとりをしているときは、microUSB接続ケーブル 01を取り外さないでください。データが壊れることがあります。
- 接続可能なパソコンのOSは、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8（いずれも日本語版）です。

microSDリーダーライター

microSDカードを、パソコンの外部メモリとして使用できます。

- あらかじめmicroSDカードを挿入し、USB接続のモードを[カードリーダーモード]に設定しておいてください(☞P.95)。
- microSDXCカードを使用する場合は、P.115「データ転送」を参照してください。また初期化を促すメッセージが表示された場合は、初期化しないでください。

1 端末をmicroUSB接続ケーブル 01でパソコンに接続する

- USBマスストレージ画面が表示されます。表示されない場合は、ステータスバーを下にドラッグして[USB接続]を選択してください。

2 [USBストレージをONにする]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK]を選択してください。

3 microSDリーダーライターとして利用する

4 利用が終わったら、パソコンでハードウェアの安全な取り外しを行う

5 [USBストレージをOFFにする]

6 microUSB接続ケーブル 01を端末とパソコンから取り外す

- microSDリーダーライターとして利用中は、他のアプリケーションからmicroSDカードを利用できません。また、他のアプリケーションからmicroSDカードを利用中は、microSDリーダーライターとして利用できない場合があります。

データ転送

パソコンから本体メモリまたはmicroSDカードにデータを転送することができます。

- あらかじめUSB接続のモードを[MTPモード]または[PTPモード]に設定しておいてください(☞P.95)。

1 端末をmicroUSB接続ケーブル 01でパソコンに接続する

- MediaJetインストール画面が表示された場合は[スキップ]を選択してください。

2 データを転送する

3 利用が終わったら、microUSB接続ケーブル 01を端末とパソコンから取り外す

USBホスト機能

本端末にはUSBホスト機能が搭載されています。市販の周辺機器接続用USBケーブルを外部接続端子に接続することでマウスなどのUSB機器を利用できます。

- USBホスト機能について詳しくは、周辺機器接続用USBケーブルやUSB機器の取扱説明書をご覧ください。

- すべてのUSB機器と接続を保証するものではありません。また、100mAを超える電流を必要とする機器は使用できません。

MediaJet

パソコンにMediaJetをインストールして、端末とパソコンとの間で音楽データ／動画／静止画を転送することができます。

- あらかじめUSB接続のモードを[MTPモード]に設定し、[MediaJetインストール]を有効にしておいてください（☞P.95）。また、パソコンはインターネットに接続しておいてください。

1 **端末をmicroUSB接続ケーブル 01（別売）でパソコンに接続する**

2 **[インストール]**

- パソコンでインストールが始まります。以降は画面の指示に従って操作してください。

- パソコンからMediaJetをインストールする場合は、次のサイトをご覧ください。
  http://mediaJet.nero.com

USB接続でデータ転送

- あらかじめUSB接続のモードを[MTPモード]に設定しておいてください（☞P.95）。

1 **パソコンのMediaJetを起動する**

2 **端末をmicroUSB接続ケーブル 01でパソコンに接続する**

- MediaJetインストール画面が表示された場合は[スキップ]を選択してください。

3 **MediaJetを利用する**

4 **利用が終わったら、MediaJetでデバイスの取り外しを行う**

5 **microUSB接続ケーブル 01を端末とパソコンから取り外す**

自動接続／転送

microUSB接続ケーブル 01で端末とパソコンを接続すると、自動的に音楽データ／動画／静止画を転送することができます。

自動接続の準備

1 **パソコンのMediaJetを起動する**

2 **端末をmicroUSB接続ケーブル 01でパソコンに接続する**

3 **MediaJet画面でデバイスを選択▶[デバイス接続時に自動的に同期]**

- 本体メモリのデータを自動的に取り込む：[デバイス接続時にデバイスから自動的にインポート]

4 **[同期オプション]▶同期したいプレイリスト／アルバムを選ぶ▶[OK]**

自動転送

- あらかじめ自動接続の準備をしておいてください。

1 **パソコンのMediaJetを起動する**

2 **microUSB接続ケーブル 01で充電を開始する**

- 自動的にMediaJetと接続され、転送が行われます。

3 **利用が終わったら、MediaJetでデバイスの取り外しを行う**

VPN(仮想プライベートネットワーク)

VPNの追加

VPN(Virtual Private Network)とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。

- 端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。
- ISPをspモードに設定している場合は、PPTPはご利用いただけません。
- あらかじめ画面のロックをパターン、ロックNo.、またはパスワードに設定しておいてください(☞P.90)。

1 **ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[ネットワーク設定]▶[VPN設定]▶[VPNネットワークの追加]**

2 **各項目を設定▶[保存]**

VPNの接続

1 **ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[ネットワーク設定]▶[VPN設定]**

2 **接続するVPNを選ぶ**

3 **VPNの接続情報を入力▶[接続]**

VPNの切断

1 **ステータスバーを下にドラッグ▶VPN有効化の通知をタッチ**

2 **[切断]**

アプリケーション

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリケーションに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[dメニュー]

- ブラウザが起動し、dメニューが表示されます。

- dメニューのご利用には、パケット通信(LTE/3G/GPRS)によるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリケーションのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリケーションによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリケーションには、一部有料のアプリケーションが含まれます。

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券などとして使える「おサイフケータイ対応サービス」や、家電やスマートポスターなどにかざして情報にアクセスできる「かざしてリンク対応サービス」がご利用いただける機能です。
電子マネーやポイントのバリューをＩＣカード内に保存することができます。
さらに、ネットワークを使って電子マネーの入金や残高、ポイントの確認などができます。また、紛失時の対策として、おサイフケータイの機能をロックすることができるので、安心してご利用いただけます。
おサイフケータイの詳細については、『ご利用ガイドブック(spモード編)』をご覧ください。

※おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリケーションでの設定が必要です。

- 端末の故障により、ＩＣカード内データ(電子マネーやポイントのバリューを含む)が消失・変化してしまう場合があります(修理時など、端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます)。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ＩＣカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。

- 端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

ｉＣお引っこしサービス

ｉＣお引っこしサービスは、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイをお取り替えになる際、おサイフケータイのＩＣカード内データを一括でお取り替え先のおサイフケータイに移し替えることができるサービスです。
ｉＣお引っこしサービスは、お近くのドコモショップなどでご利用いただけます。
ｉＣお引っこしサービスの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

「おサイフケータイ対応サービス」の利用

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイト、またはおサイフケータイ対応アプリケーションから設定を行ってください。

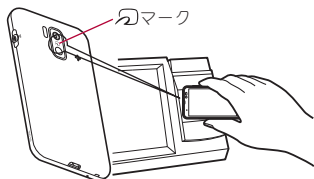
1 ホーム画面で[]▶[おサイフケータイ]

- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。

2 サービスを選ぶ

- サービスのサイト、またはサービスに対応したアプリケーションから設定してください。

3 端末のマークを読み取り機にかざす

- 読み取り機と通信できます。

- サービスによっては、本端末からの利用については、特定の利用条件が設けられている場合があります。詳細については、各サービスのサイトまたはアプリケーションでご確認ください。
- 次の場合は、おサイフケータイ対応サービスを利用できません。ただし、読み取り機に本端末をかざしてのお支払いは利用できます。
  - ■機内モード中
  - ■充電中、またはmicroUSB接続ケーブル 01（別売）接続中、またはイヤホンマイク接続中で、ドコモminiUIMカードが挿入されていない場合／一度も電波を受信していない場合
- おサイフケータイ対応アプリケーションを起動せずに、読み取り機とのデータの読み書きができます。
- 端末の電源を切っていても利用できますが、電池パックを取り付けていない場合は利用できません。電池パックを取り付けていても、長い間本端末の電源を入れなかったり、電池残量が少なかったりする場合は、利用できなくなることがあります。

「かざしてリンク対応サービス」の利用

かざしてリンク対応サービスをご利用いただくには、アプリケーションが必要な場合があります。なお「ＩＣタグ・バーコードリーダー」アプリケーションを利用して、ＩＣチップが内蔵された機器、またはスマートポスターなどにマークをかざして利用できます。

対向機にかざす際の注意事項

- 読み取り機やＩＣチップが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、次のことに注意してください。
  - ■ マークを対向機にかざす際に、強くぶつけないように注意してください。
  - ■ マークは対向機の中心に平行になるようにかざしてください。
  - ■ マークを対向機にかざす際はゆっくりと近づけてください。
  - ■ マークを対向機の中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
  - ■ マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響をおよぼす可能性がありますので注意してください。

おサイフケータイ ロック設定

他の人におサイフケータイの機能を無断で使われることを防ぐために、おサイフケータイの機能にロックを設定します。

- ロックを解除する場合も同様の操作を行います。

1 **ホーム画面で[ ]▶[おサイフケータイ]**

2 **[おサイフケータイ ロック]▶[次へ]▶暗証番号を入力▶[OK]▶[OK]**

カメラ

カメラをご利用になる前に

- レンズ部に指紋や油脂などが付くとピントが合わなくなります。また、画像がぼやけたり、強い光源からすじを引いたりすることなどがあります。撮影前に、柔らかい布で拭いてください。
- 電池残量が少ないときは撮影できません。充電中でも、電池残量が少ないと画像が暗くなったり、画像が乱れたりすることがあります。カメラを使用する場合は事前に十分な充電を行ってください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- 端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影または保存したときは、画質が劣化することがあります。

- カメラのレンズに直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとすると、画像が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOSの性能を損なうときがありますので、ご注意ください。
- 次の場合、端末が温かくなり、カメラを終了することがありますが、異常ではありません。
  - ■ 静止画を連続撮影する
  - ■ 動画を長時間撮影する
  - ■ 長時間カメラを起動する

  しばらくたってからカメラをご利用ください。
- フォーカス設定を切り替えたとき、カメラのレンズが動作する音が聞こえますが、異常ではありません。
- 撮影時に端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべく動かないようにしっかりと固定して撮影してください。静止画撮影時は手ぶれ軽減撮影機能を使ってください。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なるときがあります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- 撮影サイズを大きくすると情報量が多くなるため、端末に表示される画像の動きが遅くなることがあります。
- 室内で撮影するとき、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生したりするときがあります。室内の照明条件や明るさを変更したり、カメラの明るさやホワイトバランスを調整したりすることにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できるときがあります。
- 撮影した静止画は、DCF 1.0準拠(Exif Ver.2.3、JPEG準拠)の形式で保存されます。

著作権・肖像権について

お客様が端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。
お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラを使用中の動作について

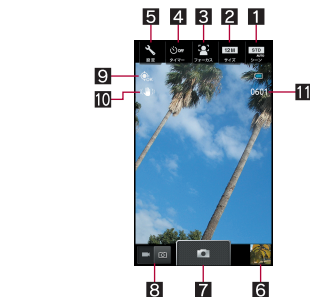
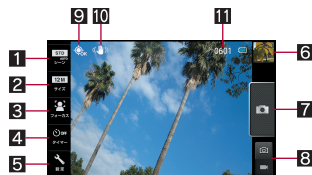
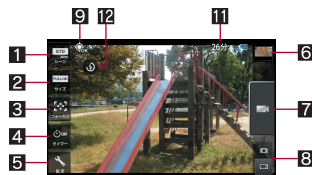
- 各カメラモード起動中はモバイルライトが赤色で点滅します。
- 各カメラモード起動中に約３分間何も操作しないと、カメラモードが自動的に終了し、読み取り結果は削除されます。
- 各カメラモード起動中にモバイルライトを計３分間点灯すると、点灯できなくなります。再度点灯する場合は、各カメラモードを終了して、もう一度起動してください。
- シャッター音の音量は変更できません。

カメラの撮影サイズ

- 設定できる撮影サイズは次のとおりです。

	撮影サイズ
静止画撮影	VGA：640×480
	QHD：960×540
	FULL HD：1920×1080
	３M：2048×1536
	QFHD：3840×2160
	12M：4000×3000
動画撮影	QVGA：320×240
	VGA：640×480
	HD：1280×720
	FULL HD：1920×1080

撮影画面の見かた

静止画撮影画面

動画撮影画面

1 シーン設定
● 撮影モードを設定します。

2 撮影サイズ
● 撮影サイズを設定します。

3 フォーカス設定
● フォーカスについて設定します。

4 セルフタイマー
● セルフタイマーについて設定します。

5 各種設定
● 撮影時の各種設定を行います。

6 サムネイル
● 撮影した静止画／動画が保存されると表示されます。タッチすると、撮影した静止画／動画を表示することができます。

7 シャッター

8 カメラ／ビデオカメラ切替
● カメラモードをカメラ／ビデオカメラに切り替えます。

9 自動位置情報付加

10 手ぶれ軽減

11 撮影可能枚数／撮影残時間
● 撮影をしても、撮影可能枚数／撮影残時間の表示が変わらない場合があります。

12 モバイルライト
● モバイルライトを点灯／消灯します。

カメラ

静止画を撮影します。

1 ホーム画面で[ ]▶[カメラ]

- 位置情報についての確認画面が表示された場合は内容を確認し、[同意しない]／[同意する]を選択してください。
- 明るさの調整：上下にスライド
- ズーム：左右にスライド／ピンチアウト
  - 最大倍率（ズームの段階）は約4.0倍（13段階）です。
- フォーカスロック：被写体をタッチ
  - フォーカス枠以外をタッチすると解除されます。
- インカメラに切替：[設定]▶[イン／アウトカメラ切替]

2 [ ]

- シャッター音が鳴り、撮影した静止画が自動的に保存されます。
- フォーカスロックをしている場合、フォーカス枠をタッチしても撮影することができます。

ビデオカメラ

動画を撮影します。

- ビデオカメラは縦表示に切り替えることができません。

1 ホーム画面で[ ]▶[カメラ]▶[設定]▶[カメラ切り替え]▶[ビデオカメラ]

- 位置情報についての確認画面が表示された場合は内容を確認し、[同意しない]／[同意する]を選択してください。
- 明るさの調整：上下にスライド
- ズーム：左右にスライド／ピンチアウト
  - 最大倍率（ズームの段階）は約4.0倍（13段階）です。
- インカメラに切替：[設定]▶[イン／アウトカメラ切替]

2 [ ]

- 撮影開始音が鳴り、撮影が開始されます。

3 [ ]

- 撮影停止音が鳴り、撮影した動画が自動的に保存されます。

- 撮影残時間の表示は目安であり、撮影対象により、撮影開始前の残時間表示よりも長く撮影できるときや、残時間があっても撮影が自動的に停止するときがあります。
- 撮影残時間の表示は、本体メモリまたはmicroSDカードの空き容量や電池残量によって変わります。

おまかせアルバム

画像や動画を人物ごと、イベントごとに振り分けて整理し、利用することができます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[おまかせアルバム]

2 カテゴリを選ぶ

- フォルダ別表示／一覧表示の切替：[すべて]▶[フォルダ]／[画像]

3 データを選ぶ

4 データを確認する

- ファイルが表示されない場合は、おまかせアルバムのデータベースファイルを削除することで正常に動作する可能性があります。端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01（別売）で接続して、本体メモリまたはmicroSDカードの¥PRIVATE¥SHARP¥PM¥DATABASEフォルダを削除してから使用してください。データベースファイルを削除した場合、作成された人物などの情報も削除されます。十分にご確認の上、操作してください。

データの振り分け

画像や動画を作成したグループごとに整理できます。

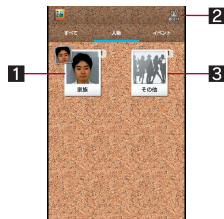
人物ごとに振り分け

1 おまかせアルバム画面で[人物]

- 自動振り分けの設定：[☰]▶[設定]▶[おまかせ振り分け設定]▶各項目を設定

2 グループを選ぶ

1 設定済みのグループ

2 振分け

- 画像を人物ごとに振り分けます。

3 その他

- グループが未設定のデータを表示します。新規のグループを作成したり、作成済みのグループに振り分けたりできます。

3 [整理]▶[人物を新規作成]

4 分類するデータを選ぶ▶[実行]

- 複数のデータを選択した場合は、最も新しいデータが表示されます。

5 切り取り部分を選ぶ▶[決定]

- オレンジ色の枠線をドラッグすると、枠を拡大／縮小できます。

6 [人物名を入力する] ▶ 人物名を入力 ▶ [OK]

- [電話帳]を選択すると、電話帳から選択して人物名を入力できます。

● おまかせ振り分け設定によって人物が写った写真を自動的に振り分けます。撮影された人物の表情や向きによっては、正しく振り分けられないことがあります。

イベントごとに振り分け

1 おまかせアルバム画面で[イベント]

2 [未設定]

3 [整理] ▶ [イベントを新規作成]

4 分類するデータを選ぶ ▶ [実行]

5 [イベント名を入力する] ▶ イベント名を入力 ▶ [OK]

- [日付]を選択すると、日付をイベント名に入力できます。

Music'n Player

本体メモリまたはmicroSDカードに保存された音楽データやプレイリストを再生します。

● 再生できる音楽データのファイル形式は次のとおりです。
AAC LC／LTP(.3gp、.mp4、.m4a、.isma)、HE-AACv1(AAC＋)、HE-AACv2(enhanced AAC＋)、AMR-NB(.3gp)、AMR-WB(.3gp)、MP3(.mp3)、MIDI(.mid、.imy、.rtttl、.rtx、.ota)、Ogg Vorbis(.ogg)、PCM／WAVE(.wav)、WMA(.wma、.pya)

1 ホーム画面で[⊞] ▶ [Music'n Player]

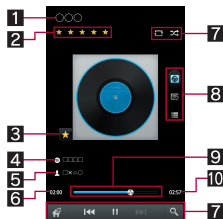
2 音楽データを選ぶ

1 カテゴリ
● 選択したカテゴリのデータが表示されます。
● 左右にスライドするとカテゴリの表示を切り替えることができます。

2 音楽データ
● 音楽データをロングタッチ ▶ [着信音に設定]で着信音に設定できます。

3 インデックス
● 選択した見出しに移動できます。

3 音楽を聴く

- 音量調節：◠／◡

1 曲名
2 レート
3 スターアイコン
- スターを付けた曲はお気に入りに登録できます。

4 アルバム名
- アルバム別に曲を表示します。

5 アーティスト名
- アーティスト別に曲を表示します。

6 再生時間
7 操作パネル
- 表示されるキーで次の操作ができます。
  - ・ミュージック一覧画面の表示：[ ]
  - ・前／次のデータを再生：[ ]／[ ]
  - ・再生／一時停止：[▷]／[ ]
  - ・microSDカード内の曲を検索：[ ]
  - ・リピート：[ ]※
  - ・シャッフル：[ ]

  ※ [①]が重なって表示されている場合は、1曲のみをリピート再生します。

8 表示切替
9 シークバー
- シークバーをドラッグすると再生位置を変更できます。

10 総再生時間

サウンド効果の設定

1 **データ一覧画面で[ ]▶[サウンド効果]**

2 **各項目を設定**

プレイリストの管理

プレイリストの作成

1 **データ一覧画面で音楽データをロングタッチ▶[プレイリストに追加する]▶[新規プレイリスト]**

2 **プレイリスト名を入力▶[保存]**

プレイリスト名の変更

1 **データ一覧画面で[プレイリスト]▶プレイリストをロングタッチ▶[名前の変更]**

2 **プレイリスト名を入力▶[保存]**

プレイリストに音楽データを追加

1 **データ一覧画面で音楽データをロングタッチ▶[プレイリストに追加する]**

2 **プレイリストを選択**

プレイリスト内の音楽データの削除

1 **データ一覧画面で[プレイリスト]▶プレイリストを選ぶ**

2 **音楽データをロングタッチ▶[プレイリストから削除]▶[OK]**

プレイリストの削除

1 **データ一覧画面で[プレイリスト]▶プレイリストをロングタッチ▶[削除]▶[OK]**

GPS／ナビ

GPS機能の利用

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信して端末の位置情報を取得する機能です。現在地を測位するためには、[GPS機能を使用]を有効にする必要があります(☞P.90)。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、端末の故障や誤動作、停電などの外部要因(電池切れを含む)によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール(精度の劣化や電波の停止など)される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では、電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
  - ■ 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
  - ■ 建物の中や直下
  - ■ 地下やトンネル、地中、水中
  - ■ 高圧線の近く
  - ■ 自動車や電車などの室内
  - ■ 大雨や雪などの悪天候
  - ■ かばんや箱の中
  - ■ 端末の周囲に障害物(人や物)がある場合
  - ■ 端末のカメラ・受話口や近接センサー周辺を手で覆い隠すように持っている場合
- 海外でGPS機能を利用するときは、各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報(緯度経度情報)に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。
- 現在地を測位する際に、自動的に衛星の運行情報などのアシストデータを取得し、パケット通信料がかかる場合があります。
- 位置情報から地図を表示した場合などは、パケット通信料がかかります。

地図アプリ

地図・お店や施設検索・ナビ・乗換などのさまざまな機能でおでかけをサポートします。

- 現在地を測位するためには、[GPS機能を使用]を有効にする必要があります(☞P.90)。

1 ホーム画面で[⠿]▶[地図アプリ]

- はじめてご利用される際には、「ドコモ地図ナビご利用規則」に同意いただく必要があります。

時計

世界時計

世界各地の都市の時刻を表示できます。

- 世界時計は10件まで表示できます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[時計]▶[世界時計]

2 [追加する]▶都市を選ぶ

- サマータイムの切替：都市をロングタッチ▶[サマータイム切り替え]
- 都市の削除：[削除]▶都市を選ぶ▶[削除]▶[はい]

- サマータイムに切り替えた都市には、[☀]が表示されます。
- 都市によってはサマータイムに切り替えられない場合もあります。

アラーム

指定した時刻・曜日に、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

- アラームは10件まで登録できます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[時計]▶[アラーム]

- アラーム音量の設定：[設定]▶[アラーム音量]▶音量を調節▶[OK]
- アラームの優先設定：[設定]▶[マナーモード時設定]▶設定を選ぶ

2 登録先を選ぶ

3 各項目を設定

1 名称
- 名称を入力します。

2 アラーム設定
- アラームを利用するか設定します。

3 時刻
- アラームが鳴動する時刻を設定します。

4 鳴動時間
- アラームが鳴動する秒数を設定します。

5 繰り返し
- 繰り返しを設定します。

6 アラーム音
- アラーム音を設定します。

7 スヌーズ設定
- スヌーズを利用するか設定します。

8 スヌーズ間隔
- スヌーズの間隔を設定します。

9 スヌーズ回数
- スヌーズの回数を設定します。

10 バイブレータ設定
- バイブレータを利用するか設定します。

- アラーム設定時刻に電源が入っていない場合は、アラームは動作しません。

- 通話中は、アラーム設定時刻になってもアラームが動作しません。通話を終了し、通話前の画面やホーム画面に戻ると、アラームが動作します。
- アラーム鳴動中に別のアラーム設定時刻となったときは、アラーム鳴動を遅延します。 1つ目のアラーム鳴動が停止、または鳴動時間を過ぎると、遅延されていたアラーム鳴動が再開されます。

アラーム鳴動画面の見かた

1 アラーム停止
- 下にドラッグするとアラームを停止できます。スヌーズは動作します。
- スヌーズ設定を[ON]にしているときのみ操作できます。

2 アラーム終了
- 下にドラッグするとアラームを終了できます。

ストップウォッチ

1 **ホーム画面で[⠿]▶[時計]▶[ストップウォッチ]**

2 **[スタート]**
- ラップタイム、スプリットタイムの記録：[ラップ]

3 **[ストップ]**
- 計測した時間、履歴のリセット：[リセット]

- ラップタイム、スプリットタイムの履歴を99件まで記憶できます。99件を超えたときは、古い履歴から順に削除されます。
- 時計を終了した場合は、計測した時間、履歴はリセットされます。

タイマー

設定した時間が経過したときに、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 **ホーム画面で[⠿]▶[時計]▶[タイマー]**

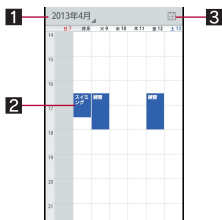
2 **設定時間をタッチ▶時間を入力▶[OK]**
- [10秒]／[1分]／[5分]／[10分]をタッチすると、設定時間に10秒／1分／5分／10分が足されます。
- 設定時間を00分00秒に戻す：[リセット]
- [設定]を選択すると、アラーム音／バイブレータ設定を設定することができます。

3 **[スタート]**
- カウントダウンの取消：[リセット]
- カウントダウンの停止：[ストップ]

カレンダー

スケジュールを管理します。

1 ホーム画面で[⊞]▶[カレンダー]

2 スケジュールを確認する

1 表示切替
- カレンダーの表示方法を切り替えます。

2 登録されているスケジュール

3 今日を表示

スケジュールの作成

1 カレンダー画面で[☰]▶[予定を作成]

2 各項目を設定

1 タイトル

2 場所

3 開始日時

4 終了日時

5 終日

6 タイムゾーン

7 説明

8 繰り返し

9 通知
- 開始日時のどのくらい前に通知するか設定します。

10 通知を追加

3 [完了]

カレンダーの設定

1 カレンダー画面で[☰]▶[設定]

2 項目を選ぶ

- 全般設定:カレンダー全般について設定します。
- カレンダーについて:カレンダーのバージョンを表示します。

スケジュールの削除

1 カレンダー画面でスケジュールを選ぶ

2 [🗑]▶[OK]

メモ帳

1 ホーム画面で[⊞]▶[メモ帳]

2 メモを選ぶ

3 メモを確認する

1 本文
2 編集
3 削除

メモの作成

1 ホーム画面で[⊞]▶[メモ帳]▶[新規作成]

2 本文を入力▶[保存]

電卓

1 ホーム画面で[⊞]▶[電卓]

- ホーム画面で[⊞]▶[SHツール]▶[おすすめ]▶[電卓]でも起動できます。

2 計算する

- 電卓を終了すると、メモリは削除されます。
- バックグラウンドで動作している場合、計算結果や履歴情報が削除されることがあります。

辞書

内蔵されている辞書で、キーワードを入力して調べることができます。

- お買い上げ時は、端末に次の電子辞書が登録されています（電子化の都合上、書籍とは一部異なる場合があります）。
  - ■ 明鏡国語辞典MX
    使用頻度の高い現代語を中心に約５万8000語句を収録。
  - ■ ジーニアス英和辞典MX
    英会話や新聞・小説を読むときに便利な英和辞典。約８万9000語句を収録。
  - ■ ジーニアス和英辞典MX
    現代語を中心に約６万9000語句を収録した、本格語数の和英辞典。

  （「明鏡国語辞典MX」 ©KITAHARA Yasuo & Taishukan, 2009、「ジーニアス英和辞典MX」「ジーニアス和英辞典MX」 ©KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2009）

1 ホーム画面で[⊞]▶[辞書]

- ホーム画面で[⊞]▶[SHツール]▶[辞書]▶[国語辞典]／[英和辞典]／[和英辞典]でも起動できます。

2 検索する

- 画面は英和辞典の画面です。

1 辞書アイコン
- 現在利用している辞書を表示します。
- タッチすると利用する辞書を切り替えることができます。

2 単語カード
- 登録した単語カードを表示します。

3 検索キーワード入力欄
- 検索するキーワードを入力します。
- 文字を入力するたびに検索結果が表示されます。

4 ひきなおす
- 新しく検索します。

5 辞書切替
- 利用する辞書を切り替えることができます。

6 履歴
- 過去に検索した単語を表示します。

7 単語テスト
- 検索結果画面で登録した単語カードをもとに単語のテストができます。

3 検索結果を選ぶ

- 検索結果を単語カードに登録：[単語カード追加]

SHツール

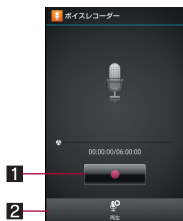
ボイスレコーダーや名刺リーダー、バーコードリーダー、辞書など、便利な機能を利用することができます。

- コンテンツマネージャーについては☞P.107
- 電卓については☞P.131
- 辞書については☞P.132

ボイスレコーダー

- 本体メモリの空き容量が300Kバイト未満のときは、録音できません。

1 **ホーム画面で[⊞]▶[SHツール]▶[おすすめ]▶[ボイスレコーダー]**

2 **録音／再生する**

1 操作キー

- 表示されるキーで次の操作ができます。
  - ・録音開始：[●]※1
  - ・録音停止：[■]※2

  ※1　録音開始音が鳴り、録音が開始されます。

  ※2　録音停止音が鳴り、録音データが保存されます。

2 再生

- 録音データを一覧で表示します。データを選択すると再生できます。
- 録音直後にタッチした場合は、録音したデータが再生されます。

- 録音開始音／停止音は、端末の設定にかかわらず鳴ります。
- 録音中に最大録音時間に達したときや、本体メモリの空き容量が不足したときは、自動的に録音が停止します。
- 録音中に電話がかかってくると、録音は停止され、それまでの録音を自動的に保存し、電話に出ることができます。通話終了後、保存完了通知画面が表示されます。
- 再生中に電話がかかってくると、再生が自動的に一時停止し、電話に出ることができます。通話終了後、停止した状態で再生画面が表示されます。

歩数計

歩数計を使って毎日のウォーキングやジョギングをサポートします。

歩数や消費カロリーなどは履歴として保存され、グラフで確認することができます。

- あらかじめユーザー情報を登録し、歩数計の[歩数計ON]を有効にしておいてください（☞P.87）。
- バイブレータの動作などによって、端末に振動や揺れが加えられた場合、歩数が正確に測定されないことがあります。
- 測定した歩数は、装着や測定のしかた、歩きかたによって正確に表示されない場合があります。
- キャリングケース 02(別売)に入れるときは、キャリングケース 02を腰のベルトなどに装着してください。

- かばんやポーチなどに入れるときは、ポケットや仕切りの中など端末を固定できる場所に入れてください。

1 ホーム画面で[⊞]▶[SHツール]▶[おすすめ]▶[歩数・消費カロリー計]

- 歩き始めの約4秒間は歩数はカウントされますが、測定値には反映されません。そのあとも歩行を続けると、それまでの歩数を合わせて測定値に反映します。

歩数測定時のご注意

次のような場合は、歩数が正確に測定されないことがあります。

- 端末が不規則に動く場合
  - 端末を入れたかばんなどが、足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
  - 端末を腰やかばんなどからぶら下げているとき
- 不規則な歩行をした場合
  - すり足のような歩きかたや、サンダル、げた、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
  - 混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき
- 上下運動や振動の多いところで使用した場合
  - 立ったり座ったりしたとき
  - 歩行やジョギング以外のスポーツを行ったとき
  - 階段や急斜面を上ったり下りたりしたとき
  - 乗り物（自転車、自動車、電車、バスなど）に乗って、上下振動や横揺れしているとき
- 極端にゆっくり歩いた場合

名刺リーダー

カメラを使って名刺（日本語、英語）から名前や電話番号などの情報を読み取り、電話帳に登録できます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[SHツール]▶[読み取り]▶[名刺を読み取る]

- 明るさの調整：上下にスライド

2 ディスプレイの中央に名刺を表示▶[読取]

- シャッター音が鳴ります。
- 名刺全体がディスプレイに表示されている枠に納まるように端末を固定してください。名刺以外のもの、特に文字を含むものがディスプレイ内に入らないようにしてください。
- 名刺からカメラまでの距離は約10cm離してください。
- 名刺をディスプレイに表示する際、縦向き横向きどちらでも読み取ることができますが、斜めにはしないでください。

3 [認識]

4 [電話帳登録]

- 読み取り結果のコピー：[☰]▶[全コピー]
- 撮影した名刺画像が自動的に保存されます。

5 [いいえ]

- 登録した連絡先の編集：[はい]▶連絡先を編集

- 名刺によっては読み取れないものや、正しく認識されないものがあります。

バーコードリーダー

カメラを使ってバーコード(JANコード、QRコード)を読み取ると、読み取った文字の内容に応じて、さまざまな操作を行うことができます。

JANコードとは

- 幅の異なる縦の線(バー)で数字を表現しているバーコードです。
- JAN 8、JAN13を読み取ることができます。

QRコードとは

- 縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。

1 ホーム画面で[⊞]▶[SHツール]▶[読み取り]▶[バーコードを読み取る]

- 明るさの調整:上下にスライド

2 バーコードを読み取る

- バーコードリーダー画面が表示されると、読み取りを開始します。ディスプレイの中央に読み取るバーコードを表示させてください。
- バーコードの真正面からカメラまでを約10cm離して、バーコードや端末をできるだけ固定すると認識されやすくなります。
- 読み取りが完了すると、完了音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。

分割されたデータについて

- QRコードには、分割されたデータ(最大16個)を読み取って1つのデータとなるものがあります。操作を繰り返し、すべての分割されたデータを読み取ると読み取り結果が表示されます。

3 読み取り結果を利用する

- 電話番号やURL、メールアドレスを読み取ったときは読み取り結果をタッチすると利用できます。
- 読み取り結果の登録:[☰]▶[読取データ登録]
  - 登録した読み取り結果は、バーコードリーダー画面で[☰]▶[読取データ確認]▶データを選ぶと確認できます。
- 読み取り結果のコピー:[☰]▶[全コピー]

- バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては読み取れないときがあります。

お店情報リーダー

カメラを使って、雑誌などから店名や電話番号などの情報を読み取り、電話帳に登録できます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[SHツール]▶[読み取り]▶[お店情報を読み取る]

- 明るさの調整:上下にスライド

2 ディスプレイの中央に情報を表示▶[読取]

- シャッター音が鳴ります。
- 読み取りたい情報がディスプレイに納まるように端末を固定してください。ただし、ディスプレイに表示される文字が小さくなる場合は、電話番号や住所などを表示して読み取れる大きさにしてください。
- 読み取りたい情報からカメラまでの距離は約10cm離してください。

3 [認識]

4 [電話帳登録]

- 読み取り結果のコピー：[☰] ▶ [全コピー]
- 撮影した画像が自動的に保存されます。

5 [いいえ]

- 登録した連絡先の編集：[はい] ▶ 連絡先を編集

● 雑誌などの記載内容によっては読み取れないものや、正しく認識されないものがあります。

テキストリーダー

カメラを使って、新聞や雑誌などの記事を読み取り、さまざまな操作を行うことができます。

1 ホーム画面で[⊞] ▶ [SHツール] ▶ [読み取り] ▶ [文字を読み取る]

- 明るさの調整：上下にスライド

2 ディスプレイに読み取る文字を表示 ▶ [撮影]

- シャッター音が鳴ります。

3 [▲]／[▼]で読み取る行にカーソルを合わせる ▶ [読取]

- 縦書きの文字を認識した場合：[◀]／[▶]
- カーソルを合わせている行に水色の枠が表示されます。

4 [決定]

- 読み取りモードの変更：[☰] ▶ モードを選ぶ

5 読み取り結果を利用する

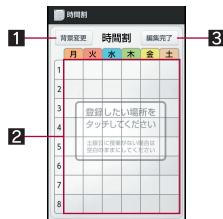
- 読み取り結果のコピー：[全コピー]
- 電話番号やURL、メールアドレスを読み取ったときは読み取り結果をタッチすると利用できます。
- 続けて文字を読み取る：[☰] ▶ [続き読取] ▶ 文字を読み取る
- 追加として文字を読み取る：[☰] ▶ [追加読取] ▶ 文字を読み取る
- 辞書で検索：[☰] ▶ [辞書検索] ▶ アプリケーションを選ぶ ▶ 辞書で検索する
- 読み取り結果の編集：[☰] ▶ [編集] ▶ 文字を編集する

● 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、文字サイズによっては、正しく読み取れないときがあります。

時間割

時間割の登録

1 ホーム画面で[⊞] ▶ [時間割]

2 時間を選ぶ

1 背景変更
- 時間割の背景を変更することができます。

2 時間
- タッチすると科目を登録することができます。

3 編集完了

3 科目を選ぶ

1 小学生
- 小学校の科目一覧を表示します。

2 科目一覧
- 科目をタッチすると時間割に登録できます。
- [科目をクリア]をタッチすると入力した科目を消去できます。

3 最近入力した科目
- 科目を直接入力した履歴を表示します。

4 科目を直接入力
- 科目一覧にない科目を入力することができます。

5 中学生
- 中学校の科目一覧を表示します。

6 科目を登録
- 直接入力した科目を登録します。

4 [編集完了] ▶ [はい]

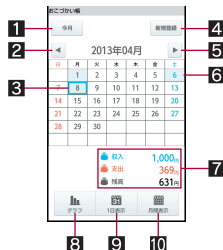
時間割の確認

1 ホーム画面で[⊞] ▶ [時間割]

2 時間割を確認する
- 時間割の編集：[☰] ▶ [編集] ▶ 時間割を編集 ▶ [編集完了] ▶ [はい]
- すべての時間割の消去：[☰] ▶ [時間割全消去] ▶ [はい]

おこづかい帳

1 ホーム画面で[⊞] ▶ [おこづかい帳]

2 おこづかい帳を確認する

1 今月
- 今月のカレンダーを表示します。

2 先月に移動

3 選択している日付

4 新規登録

5 翌月に移動

6 登録内容がある日付（水色斜線で表示）

7 登録内容

8 グラフ
- 収支をグラフで表示します。

9 1日表示
- 選択している日付の登録内容を表示します。

10 月間表示
- 今月の登録内容を表示します。

おこづかい帳の登録

1 ホーム画面で[⊞]▶[おこづかい帳]▶[新規登録]

2 各項目を設定

1 登録日

2 支出

3 科目

4 項目

5 金額

6 キャンセル

7 収入

8 履歴
- 履歴を選んで項目を設定することができます。

9 登録

10 連続登録
- 続けて登録することができます。

データや設定のバックアップ

microSDバックアップ

システムメモリに保存されたデータを一括してバックアップ／復元することができます。

- microSDバックアップでバックアップ／復元できるデータは次のとおりです。
  ■ SMS　■ ブックマーク　■ カレンダー
  ■ ユーザー辞書／学習辞書（iWnn IME - SH edition）
- microSDバックアップ中は［機内モード］が有効になります。
- システムメモリの空き容量が11Mバイト未満のときは、microSDバックアップを利用できません。
- あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。

バックアップファイルの保存

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[microSDと端末容量]▶[microSDバックアップ]

2 [保存]▶暗証番号を入力▶[OK]

3 保存するデータカテゴリを選ぶ

4 [開始]▶[はい]

5 [完了]

- 電池残量が少ないときは保存できません。

バックアップファイルの読み込み

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[microSDと端末容量]▶[microSDバックアップ]

2 [読み込み]▶暗証番号を入力▶[OK]

3 読み込むバックアップファイルを選ぶ

4 [追加登録開始]／[上書登録開始]

- 確認画面が表示されます。以降は画面の指示に従って操作してください。

- 電池残量が少ないときは読み込みできません。

バックアップファイルの設定・管理

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[microSDと端末容量]▶[microSDバックアップ]▶[設定・管理]

2 項目を選ぶ

- ■ バックアップファイルの整理：保存されているバックアップデータを削除できます。
- ■ 結果画面閲覧：最新のバックアップファイルの保存／読み込みの結果を表示します。

SDカードバックアップ

microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、spモードメール、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができます。

- SDカードバックアップでバックアップ／復元できるデータは次のとおりです。
  - ■ 電話帳　■ spモードメール　■ 画像
  - ■ 動画　■ 音楽データ　■ ブックマーク
  - ■ 通話履歴　■ ユーザー辞書
- microSDカードが未挿入の場合、画像、動画、音楽データは本体メモリに保存されます。SDカードバックアップでは、本体メモリに保存されているデータのみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

1 ホーム画面で[⊞]▶[SDカードバックアップ]

- はじめてご利用される際には、「利用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

- バックアップまたは復元中に端末の電池パックやmicroSDカードを取り外さないでください。端末内のデータが破損する場合があります。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。

データをmicroSDカードにバックアップ

- あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。

1 **SDカードバックアップ画面で[バックアップ]**

2 **保存するデータカテゴリを選ぶ**

3 **[バックアップ開始]▶[OK]**

4 **ドコモアプリパスワードを入力▶[OK]**

5 **[トップに戻る]**

- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合は、名前が登録されていない電話帳はコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。

データを端末に復元

- あらかじめSDカードバックアップで作成したバックアップファイルが保存されたmicroSDカードを挿入しておいてください。
- 電話帳を復元する場合は、電話帳コピーツールやｉモード端末のmicroSDカードへバックアップする機能で作成したファイルも復元できます。

1 **SDカードバックアップ画面で[復元]**

2 **復元するデータカテゴリの[選択]**

3 **バックアップファイルを選ぶ▶[選択]**

4 **[追加]／[上書き]**

5 **[復元開始]▶[OK]**

6 **ドコモアプリパスワードを入力▶[OK]**

7 **[トップに戻る]**

iDアプリ

「iD」とは、クレジット決済のしくみを利用した便利な電子マネーです。クレジットカード情報を設定したおサイフケータイやiD対応のカードをお店の読み取り機にかざすだけで簡単・便利にショッピングができます。おサイフケータイには、クレジットカード情報を2種類まで登録できるので特典などに応じて使い分けることもできます。ご利用のカード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDに対応したカード発行会社へのお申し込みのほか、iDアプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用(年会費など)は、カード発行会社により異なります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのサイトをご覧ください。
  http://id-credit.com/

海外利用

国際ローミング(WORLD WING)の概要

国際ローミング(WORLD WING)とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

対応ネットワークについて

本端末は、クラス４になります。3Gネットワークおよび GSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz／GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。

- 海外ではXiエリア外のため、3GまたはGSM／GPRSネットワークをご利用ください。

海外でご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。

- ■『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』
- ■ドコモの「国際サービスホームページ」

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国、地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

海外で利用できるサービス

主な通信サービス	3G	3G850	GSM (GPRS)
電話	○	○	○
SMS	○	○	○
spモードメール※	○	○	○
ブラウザ※	○	○	○

※ローミング時にデータ通信を利用するには、[データローミング]を有効にしてください(☞P.144)。

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

海外でご利用になる前の確認事項

ご出発前の確認

海外でご利用いただく際は、日本国内で次の確認をしてください。

ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

充電について

- 海外旅行で充電する際のACアダプタは、FOMA 海外兼用ACアダプタ 01(別売)、FOMA ACアダプタ02(別売)、またはACアダプタ 03／04※(別売)をご利用ください。

※卓上ホルダ SH43と接続して充電することはできません。

料金について

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。
- ご利用のアプリケーションによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリケーションの動作については、お客様ご自身でアプリケーション提供元にご確認ください。

事前設定

ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、遠隔操作設定を「開始」にする必要があります。渡航先で遠隔操作設定を行うこともできます。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

接続について

通信事業者（☞P.145）を［自動選択］に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

定額サービス適用対象国・地域の通信事業者をご利用の場合、海外でのパケット通信料が1日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。なお、ご利用には国内のパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ディスプレイの表示について

- 国際ローミング中は［R］が表示されます。
- 3G／GSM／HSPAは使用可能です。
- 接続している通信事業者名は、ステータスパネルで確認できます。

日付と時刻について

日付と時刻の［日付と時刻の自動設定］、［タイムゾーンの自動設定］を有効にしている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 日付と時刻については☞P.96

お問い合わせについて

- 本端末やドコモminiUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- ネットワークモードを[LTE／3G／GSM(自動)]に設定してください(☞P.144)。
- 通信事業者を[自動選択]に設定してください(☞P.145)。

海外で利用するための設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[ネットワーク設定]▶[モバイルネットワーク]

2 項目を選ぶ

- ■ データ通信を有効にする:データ通信を利用するか設定します。
- ■ データローミング:データローミングについては☞P.144
- ■ アクセスポイント名:アクセスポイントを設定します。
- ■ ネットワークモード:ネットワークモードについては☞P.144
- ■ 通信事業者:通信事業者については☞P.145

データローミング

ローミング時にデータ通信を利用するか設定します。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[ネットワーク設定]▶[モバイルネットワーク]▶[データローミング]

ネットワークモード

使用するネットワークを設定します。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[ネットワーク設定]▶[モバイルネットワーク]▶[ネットワークモード]

2 項目を選ぶ

- ■ LTE／3G／GSM(自動):利用できるネットワークに自動的に切り替えます。
- ■ LTE／3G:3Gネットワークを利用します。
- ■ GSM:GSM／GPRSネットワークを利用します。

通信事業者

ネットワークを検索して利用する通信事業者を設定します。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[ネットワーク設定]▶[モバイルネットワーク]▶[通信事業者]

- データ通信の確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK]を選択してください。
- ネットワークの検索が行われ、通信事業者の一覧が表示されます。
- ネットワークの検索でエラーが発生する場合は、[データ通信を有効にする]を無効にし(☞P.144)、再度操作してください。

2 通信事業者を選ぶ

- 通信事業者の再検索:[ネットワークを検索]
- 通信事業者を自動的に選択:[自動選択]

● 海外で通信事業者を手動で設定した場合は、日本に帰国後に[自動選択]に設定してください。

滞在先で電話をかける/受ける

滞在国外(日本を含む)に電話をかける

1 ホーム画面で[⊞]▶[電話]▶[ダイヤル]

2 「+」(「0」をロングタッチ)▶国番号、地域番号(市外局番)、相手先電話番号を入力▶[📞]

- 電話番号を入力▶[☰]▶[国際電話発信]▶国番号を選んでも国番号を入力できます。
  - ・地域番号(市外局番)の最初の「0」は削除されます。
- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いてダイヤルしてください(イタリアなど一部の国・地域では、「0」が必要な場合があります)。

● 発信者番号を通知しても、通信事業者によっては[通知不可能]や[非通知設定]など正しく番号表示されないことがあります。

国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける

滞在国から他の国へ電話をかける場合、国際ダイヤルアシストを利用すると、簡単な操作で国際電話をかけることができます。

- あらかじめ国際ダイヤルアシストを設定しておいてください。
- 電話番号の先頭の「0」が国番号で設定している国番号に自動的に変換されます。

1 **ホーム画面で[⊞]▶[電話]▶[ダイヤル]**

2 **電話番号を入力▶[📞]**

3 **[変換後の番号で発信]**

国際ダイヤルアシストの設定

1 **ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[通話]▶[海外設定]▶[国際ダイヤルアシスト]**

2 **項目を選ぶ**

- 自動変換機能:国際ダイヤルアシストを利用して電話をかけるか設定します。
- 国番号:国際ダイヤルアシストを利用するときに使用する国番号を設定します。
- 国際プレフィックス:国際ダイヤルアシストを利用するときに使用する国際プレフィックスを設定します。

滞在国内に電話をかける

滞在国で国内電話をかけるときは、日本国内にいるときと同様の操作で電話をかけることができます。

- 同一市内でも、必ず地域番号(市外局番)から入力してください。

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

海外でWORLD WING利用中の相手に電話をかけるときは、滞在国内外にかかわらず、日本への国際電話として電話をかけます。

1 **ホーム画面で[⊞]▶[電話]▶[ダイヤル]**

2 **「+」(「0」をロングタッチ)▶日本の国番号「81」、先頭の「0」を除いた相手先携帯電話番号を入力▶[📞]**

電話を受ける

海外でも、日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

- 国際ローミング中に電話がかかってきたときは、日本からの国際転送となります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

相手からの電話のかけかた

日本から滞在先に電話をかけてもらうときは、日本国内にいるときと同様にお客様の電話番号を入力してもらいます。
日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらうときは、滞在先にかかわらず日本への国際電話として、国際電話アクセス番号と日本の国番号「81」を先頭に付け、お客様の電話番号から先頭の「0」を除いた電話番号を入力してもらいます。
発信国の国際電話アクセス番号-81-90(または80)-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

海外設定

国際ローミング時の設定を行います。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[通話]▶[海外設定]

2 項目を選ぶ

- ローミング時着信規制:国際ローミング中は着信を受けないようにするか設定します。
- ローミング着信通知:国際ローミング中に、電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、かかってきた電話に応答できなかったときに、その着信の情報(着信日時や発信者番号)をSMSで知らせるか設定します。
- ローミングガイダンス:国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイダンスを流すか設定します。
- 国際ダイヤルアシスト:国際ダイヤルアシストについては☞P.146
- ネットワークサービス:ネットワークサービスについては☞P.147

ローミング中のネットワークサービス

海外から、留守番電話サービスや転送でんわサービスなどのネットワークサービスを利用できます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[通話]▶[海外設定]▶[ネットワークサービス]

2 項目を選ぶ

- 遠隔操作(有料):遠隔操作について設定します。
- 番号通知お願いサービス(有料):番号通知お願いサービスについて設定します。
- ローミング着信通知(有料):ローミング着信通知について設定します。
- ローミングガイダンス(有料):ローミングガイダンスについて設定します。
- 留守番電話サービス(有料):留守番電話サービスについて設定します。
- 転送でんわサービス(有料):転送でんわサービスについて設定します。

付録／索引

オプション品・関連機器のご紹介

端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。
なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA ACアダプタ01※1※2／02※1※2
- 電池パック SH36
- リアカバー SH68
- 卓上ホルダ SH43
- 車内ホルダ 01
- ドライブネット クレイドル 01
- FOMA 充電microUSB変換アダプタ SH01※3
- FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01※3
- microUSB接続ケーブル 01
- ワイヤレスイヤホンセット 03
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01※1※2
- FOMA DCアダプタ01※2／02※2
- FOMA乾電池アダプタ 01※2
- キャリングケース 02
- 骨伝導レシーバマイク 02
- FOMA 補助充電アダプタ 02※2※4
- ポケットチャージャー 01／02
- ACアダプタ 03※1／04※1※5
- DCアダプタ 03
- 海外用AC変換プラグCタイプ 01

※1　ACアダプタ（別売）での充電方法については、P.35をご覧ください。
※2　FOMA 充電microUSB変換アダプタ SH01／T01を接続してご利用ください。
※3　FOMA ACアダプタ01／02やFOMA DCアダプタ01／02を接続してご利用ください。
※4　microUSB接続ケーブル 01を接続してご利用ください。
※5　卓上ホルダ SH43と接続して充電することはできません。

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（☞P.157）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」、またはドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

電源

本端末の電源が入らない	
● 電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.31
● 電池切れになっていませんか。	P.32

充電

充電ができない 充電ランプが点灯しない、または点滅する	
● 電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.31

● アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。	P.35
● アダプタと本端末が正しくセットされていますか。	P.35
● ACアダプタ(別売)をご使用の場合、ACアダプタ、FOMA 充電microUSB変換アダプタ SH01／T01(別売)、本端末、付属の卓上ホルダがしっかりと接続されていますか。	P.34 P.35
● 卓上ホルダを使用する場合、本端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。	P.34
● 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。	P.33

端末操作

アプリケーションが正しく動作しない(起動できない、エラーが頻繁に起こるなど)	
● 無効化されているアプリケーションはありませんか。無効化されているアプリケーションを有効にしてから再度お試しください。	P.88
● 保護者設定の利用制限設定で端末の利用を制限していませんか。	P.100

操作中・充電中に熱くなる	
● 操作中や充電中、また、充電しながら電話などを長時間行った場合などには、本端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。	P.33

電池の使用時間が短い	
● 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。	－
● 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。	P.33
● 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。	P.33

電源断・再起動が起きる	
● 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。	－

タッチしたり、キーを押したりしても動作しない	
● 端末の電源が切れていませんか。	P.37

タッチしたり、キーを押したりしたときの画面の反応が遅い	
● 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	P.86

ドコモminiUIMカードが認識しない	
●ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。	P.29

時計がずれる	
●長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 自動で時刻を補正するように設定されているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。	P.96

端末動作が不安定	
●ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ・セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 ●セーフモードの起動方法 電源がOFFの状態から電源を入れ直し、起動中の画面でホーム画面が表示されるまでを押し続けてください。 ・セーフモードが起動すると画面左下に[セーフモード]／[Safe mode]と表示されます。 ・セーフモードを終了するには、電源を一度OFFにし起動し直してください。 ●必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 ●お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 ●セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。	−
●開発者向けオプションは開発専用に設計されているため、設定すると端末や端末上のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。	P.97

通話

タッチしたり、キーを押したりしても発信できない	
●アプリケーションロックの音声発信制限を設定していませんか。	P.91
●機内モードを設定していませんか。	P.89

着信音が鳴らない	
●着信音量を「0」にしていませんか。	P.83
●公共モード、機内モード、マナーモードを起動していませんか。	P.69 P.84 P.89
●着信拒否を設定していませんか。	P.69
●留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか。	−

通話ができない（場所を移動しても[]の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	
●電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモminiUIMカードを入れ直してください。	P.29 P.31 P.37
●電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は[]を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。	−
●着信拒否など着信制限を設定していませんか。	P.69

● 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やspモードメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。	－
● 保護者設定の利用制限設定で端末の利用を制限していませんか。	P.100

画面

ディスプレイが暗い	
● バックライト点灯時間を短く設定していませんか。	P.84
● 画面の明るさを変更していませんか。	P.85
● 画面の明るさの[明るさを自動調整]を有効にしていませんか。有効にしている場合は、周囲の明るさによって変わります。	P.85
● ベールビューを設定していませんか。	P.84

音声

通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	
● 通話音量を変更していませんか。	P.67

spモードメール

spモードメールを自動で受信しない	
● spモードメールのメール設定で[メール自動受信]を無効にしていませんか。	－

カメラ

カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	
● 近くの被写体を撮影するときは、フォーカス設定を[接写AF]に切り替えてください。	P.122
● カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。	P.120

おサイフケータイ

おサイフケータイが使えない	
● 電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、おサイフケータイ ロック設定にかかわらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。	－
● おサイフケータイ ロック設定を行っていませんか。	P.120
● 本端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。	P.120

海外利用

海外で本端末が使えない(電波マークが表示されている場合)	
● 「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のお申し込みをされていますか。「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のお申し込み状況をご確認ください。	P.142

海外で本端末が使えない([]が表示されている場合)	
● 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。	P.142
● ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。 ネットワークモードを[LTE/3G/GSM(自動)]に設定してください。 通信事業者を[自動選択]に設定してください。	P.144 P.145
● 本端末の電源をOFFにしたあと、再びONにすることで回復することがあります。	P.37

海外でデータ通信ができない	
● [データローミング]を有効にしてください。	P.144

海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった	
● 「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のご利用には、あらかじめご利用停止目安額が設定されています。ご利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。	—

相手の電話番号が通知されない/相手の電話番号とは違う番号が通知される/電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	
● 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。	—

データ管理

データ転送が行われない	
● USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。	P.114

microSDカードに保存したデータが表示されない	
● microSDカードを取り付け直してください。	P.30

Bluetooth機能

Bluetooth通信対応機器と接続ができない/検索しても見つからない	
● Bluetooth通信対応機器(市販品)側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器(市販品)、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。	P.112

カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない	
● 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	P.37

エラーメッセージ

端末に表示される主なエラーメッセージを「英数字」、「50音」の順に記載しております。

[SIMカードを挿入/再確認してください。]

● ドコモminiUIMカードが正しく差し込まれているかご確認ください。☞P.29

[xx通を受信しましたが全てのメールを受信できませんでした]

● 何らかの原因ですべてのspモードメールを受信できなかった場合に表示されます。

[暗証番号を入力してください]

● 端末のロック中に、制限されている機能の操作をしようとした場合に表示されます。暗証番号を入力すると、端末のロックが一時解除され、操作できます。
● 暗証番号の入力が必要な機能を利用しようとした場合に表示されます。

[応答が無いため接続が中断されました]
[サーバーエラー　送信できませんでした]
[接続エラー　送信できませんでした]
[送信先サーバーが対応しておりません]
[通信エラー　しばらくたってから送り直してください]

● spモードメールやSMSを利用するとき、回線設備が故障、または回線が非常に混み合っている場合に表示されます。しばらくたってから送信し直してください。

[このコンテンツを再生する権限がありません]

● 有効なライセンスを保持していない場合や再生期間、再生期限が終了した著作権保護コンテンツを再生しようとした場合に表示されます。

[しばらくお待ちください]

● 音声回線ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってからかけ直してください。

[しばらくお待ちください(パケット)]

● パケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってから、再度操作してください。

[送信できませんでした]

● SMSが正しく送信できなかった場合に表示されます。
● spモードメールを正常に送信できなかった場合に表示されます。電波の強いところでもう一度spモードメールを送信し直してください。

[モバイルネットワークが利用できません。]

● 有効なネットワークモードに設定されているかご確認ください。☞P.144

[ライセンスの取得に失敗しました。再生できません。]

● 再生期限が切れた著作権保護コンテンツのライセンス更新に失敗したときに表示されます。

スマートフォンあんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作・設定に関する操作サポートを受けることができます。

- 次の場合は、スマートフォンあんしん遠隔サポートを利用できません。
  - ドコモminiUIMカードが挿入されていない場合
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
- スマートフォンあんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

スマートフォン遠隔サポートセンター 0120-783-360 受付時間：午前9:00～午後8:00（年中無休）

1 ホーム画面で[ ]▶[電話]▶[ダイヤル]

2 スマートフォン遠隔サポートセンターの電話番号を入力▶[ ]

3 ホーム画面で[ ]▶[遠隔サポート]

- はじめてご利用される際には、「ソフトウェア使用許諾書」に同意いただく必要があります。

4 ドコモからご案内する接続番号を入力

5 遠隔サポートを開始

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。
  必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。
  無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

※本端末はケータイデータお預かりサービス（お申し込みが必要なサービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターにバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。
それでも調子が良くないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

以下の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・イヤホンマイク端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

保証期間が過ぎた場合は

ご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、裏表紙の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - ■火災・けが・故障の原因となります。
  - ■改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。

    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ・液晶部やキー部にシールなどを貼る
    - ・接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - ・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - ■改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

- 本端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  - ■ 銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

技術基準適合認証品

- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Bluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の下記の箇所に、磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  - ■ 使用箇所:スピーカー、受話口部
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル(電話帳機能)およびダウンロード情報などについて

- 本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

SH-05Eのソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。

- ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページにてご案内いたします。
- 更新方法は、次の３種類があります。

  自動更新：更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。

  即時更新：今すぐ更新を行います。

  予約更新：予約した時刻に自動的に更新をします。

- ソフトウェア更新は、本端末に登録した電話帳、カメラ画像、spモードメール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。更新時は充電ケーブルを接続することをおすすめします。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - 通話中
  - [⊿]が表示されているとき
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - 日付と時刻を正しく設定していないとき
  - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信は可能です。
- ソフトウェア更新は電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ソフトウェア更新が不要な場合は、[更新の必要はありません。このままお使いください]と表示されます。
- 国際ローミング中、もしくは、圏外にいるときには、[ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はダウンロードを開始できません]と表示されます。

- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のSH-05E固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合に、端末が起動しなくなることや、[ソフトウェア更新に失敗しました。]と表示され、一切の操作ができなくなることがあります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただけますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

ソフトウェアの自動更新

更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。

ソフトウェアの自動更新設定

- お買い上げ時は、自動更新の設定が[自動で更新を行う]に設定されています。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[端末情報]▶[ソフトウェア更新]▶[ソフトウェア更新設定の変更]

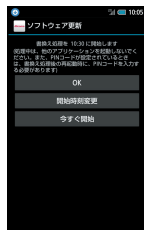
2 [自動で更新を行う]／[自動で更新を行わない]

ソフトウェア更新が必要になると

更新ファイルが自動でダウンロードされると、ステータスバーに[⊕]（ソフトウェア更新有）が通知されます。

- [⊕]（ソフトウェア更新有）が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、[⊕]（ソフトウェア更新有）は消えます。

1 ステータスバーを下にドラッグ▶通知を選ぶ

- 書き換え予告画面が表示され、書き換え時刻が確認できます。

2 書き換え方法を選ぶ

- OK：設定時刻になると更新を開始します。
- 開始時刻変更：開始時刻変更については☞P.160
- 今すぐ開始：今すぐ開始については☞P.159

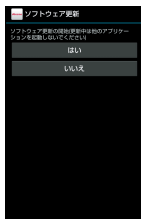
- 更新通知を受信した際に、ソフトウェア更新ができなかった場合には、ステータスバーに[⊕]（ソフトウェア更新有）が表示されます。
- 書き換え時刻にソフトウェア書き換えが実施できなかった場合、翌日の同じ時刻に再度書き換えを行います。

● 自動更新設定が、[自動で更新を行わない]の場合や、ソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

ソフトウェアの即時更新

すぐにソフトウェア更新を開始します。

- ソフトウェア更新を起動するには書き換え予告画面から起動する方法とメニューから起動する方法があります。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[端末情報]▶[ソフトウェア更新]▶[更新を開始する]▶[はい]

- 書き換え予告画面からの起動：書き換え予告画面を表示▶[今すぐ開始]

2 [書き換え処理を開始します]の表示後、約10秒後に自動的に書き換え開始

- [OK]をタッチすると、すぐに書き換えを開始します。
- 更新中は、すべてのキー操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- ソフトウェア更新が完了すると再起動がかかり、ホーム画面が表示されます。

● ソフトウェア更新の必要がないときには、[更新の必要はありません。このままお使いください]と表示されます。

ソフトウェア更新終了後の表示

ソフトウェア更新が完了すると、ステータスバーに通知されます。ステータスパネルを開いて通知をタッチすると完了画面が表示されます。

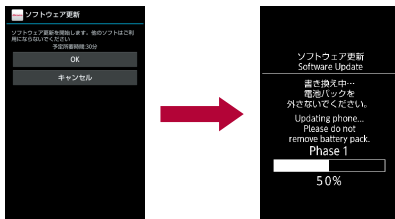
ソフトウェアの予約更新

更新ファイルのインストールを別の時刻に予約したい場合は、ソフトウェア書き換えを行う時刻をあらかじめ設定しておくことができます。

1 **書き換え予告画面を表示▶[開始時刻変更]**

2 **時刻を入力▶[OK]**

予約した時刻になると

開始時刻になると書き換え処理画面が表示され、約10秒後に自動的にソフトウェア書き換えが開始されます。

- 更新中は、すべてのキー操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 開始時刻にソフトウェア更新が開始できなかった場合には、翌日の同じ時刻にソフトウェア更新を行います。
- 開始時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合でも、ソフトウェア更新は実施されます。
- 開始時刻にSH-05Eの電源がOFFの場合、電源を入れたあと、予約時刻と同じ時刻になったときにソフトウェア更新を行います。
- ソフトウェア更新実行時にステータスパネルに[ソフトウェア更新を中断しました　端末の状態をご確認のうえ、再度更新を行ってください]と表示された場合は、下記の状態でないことをご確認の上、再度更新を行ってください。
  - ■ [ ]が表示されているとき
  - ■ 電池パック未装着のとき
  - ■ 他の機能が起動しているとき

主な仕様

本体

品名	SH-05E
サイズ	高さ約117mm×幅約63mm×厚さ約10.6mm（最厚部：約10.6mm）
質量	約120g（電池パック装着時）
メモリ	ROM：８Gバイト RAM：１Gバイト
連続通話時間※１※２※３	FOMA／3G 約370分 GSM 約480分
連続待受時間※２※３※４	FOMA／3G 静止時：約450時間（ネットワークモード：LTE／3G／GSM（自動））※５ GSM 静止時：約370時間（ネットワークモード：LTE／3G／GSM（自動））※５ LTE 静止時：約290時間（ネットワークモード：LTE／3G／GSM（自動））※５
充電時間	ACアダプタ 03：約200分 DCアダプタ 03：約210分
ディスプレイ	方式 CG Silicon液晶 16,777,216色 サイズ 約4.1inch 画素数 518,400画素（横540ドット×縦960ドット）
撮像素子	種類 アウトカメラ：裏面照射型CMOS※６ インカメラ：CMOS※６ サイズ アウトカメラ：1/3.2inch インカメラ：1/13.0inch
カメラ部	有効画素数 アウトカメラ：約1210万画素 インカメラ：約32万画素 記録画素数（最大時） アウトカメラ：約1200万画素 インカメラ：約31万画素 ズーム（デジタル） アウトカメラ：最大約4.0倍（静止画）／最大約4.0倍（動画）
記録部	静止画記録枚数 約25800枚（本体保存時）※７ 約12000枚（microSDカード（１Gバイト）保存時）※７ 静止画連続撮影 VGA：50枚／QHD：22枚／FULL HD：12枚 静止画ファイル形式 JPEG 動画録画時間 １件あたり最大約90分（本体／microSDカード（１Gバイト）保存時）※８ 動画ファイル形式 MP4
音楽再生	連続再生時間※９ WMA（バックグラウンド再生対応）：約2910分 MP3（バックグラウンド再生対応）：約2700分

動画再生	連続再生時間※10 WMV：約600分
保存容量	システムメモリ：約2.1Gバイト※11 本体メモリ：約5.1Gバイト※11

※1　連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
※2　データ通信やマルチアクセス、カメラ機能、Bluetooth機能などの各種機能のご利用頻度が高い場合、通話（通信）・待受時間は短くなります。実際のご利用時間は、通話（通信）と待受の組み合わせとなり通話時間が長くなると待受時間が短くなります。
※3　電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話（通信）・待受時間が半分程度になる場合があります。
※4　連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態で移動したときの目安です。
※5　電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
※6　CMOS（complementary metal-oxide semiconductor：相補型金属酸化膜半導体）とは、銀塩カメラのフィルムにあたる部分を構成する撮像素子です。
※7　撮影サイズ：VGA（640×480ドット）／画質：ノーマル／ファイルサイズ：65Kバイト
※8　撮影サイズ：VGA（640×480ドット）／ファイルサイズ制限：2Gバイト／画質：ノーマル／種別：画像＋音声
※9　再生アプリケーション：Music'n Player／サウンド効果：ナチュラル
※10　再生アプリケーション：ビデオプレーヤー／サウンド効果：ナチュラル
※11　メモリを共有するアプリケーションの使用状況によって、各種データの保存容量は少なくなります。

電池パック

品名	電池パック SH36
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC 3.7 V
公称容量	1660 mAh

撮影／保存できる目安

撮影枚数／撮影時間は、1Gバイトのmicro SDカードに保存したときの目安です。1Gバイトのmicro SDカードに他の画像などが保存されているとき、撮影できる枚数や時間は少なくなります。また、撮影環境や被写体などの条件により、撮影できる枚数や時間が少なくなることがあります。

静止画の撮影枚数

	ノーマル	ファイン	ハイクオリティ
VGA：640×480	約12000枚	約10000枚	約8900枚
QHD：960×540	約11600枚	約7000枚	約5500枚
FULL HD：1920×1080	約3200枚	約1900枚	約1300枚
3M：2048×1536	約2200枚	約1200枚	約860枚
QFHD：3840×2160	約640枚	約450枚	約330枚
12M：4000×3000	約500枚	約350枚	約200枚

動画の撮影時間

1 Gバイトのmicro SDカードの 1 回あたりの連続撮影時間

	ノーマル	ファイン	ハイクオリティ
QVGA：320×240	約90分	約90分	約90分
VGA：640×480	約90分	約86分	約64分
HD：1280×720	約41分	約32分	約21分
FULL HD：1920×1080	約13分	約11分	約 8 分

1 Gバイトのmicro SDカードの合計撮影時間

	ノーマル	ファイン	ハイクオリティ
QVGA：320×240	約866分	約602分	約324分
VGA：640×480	約135分	約86分	約64分
HD：1280×720	約41分	約32分	約21分
FULL HD：1920×1080	約13分	約11分	約 8 分

ボイスレコーダーの録音時間

	保存件数	録音時間
本体メモリ（約5.1Gバイト）※	最大147件	最長約882時間

※ 1 回あたりの録音時間は約 6 時間までです。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種SH-05Eの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※ 1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.921W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します(※2)。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5cm以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
シャープ株式会社のホームページ
http://www.sharp.co.jp/products/menu/phone/cellular/sar/index.html

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格(IEC62209-2)が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.886 W/kg※.
As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

※The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Declaration of Conformity

CE 0168

> **Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that this SH-05E is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.**
> **A copy of the original declaration of conformity can be found at the following Internet address:**
> **http://www.sharp.co.jp/k-tai/**

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules.
  Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.870 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 1.14 W/kg.

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID APYHRO00186.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at http://www.fcc.gov/.

Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones

This model SH-05E mobile phone complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves (*1) and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines. This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition.

The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this mobile phone when tested for use at the ear is 0.921 W/kg. There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit.
The actual SAR of this mobile phone while operating can be well below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network. Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device.
This mobile phone can be used in positions other than against your ear. This mobile phone satisfies the international guidelines when used with a carrying case or a wearable accessory approved by NTT DOCOMO, INC. (*2). In case you are not using the approved accessory, please use a product that does not contain any metals, and one that positions the mobile phone at least 1.5 cm away from your body.
The World Health Organization has stated that “a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use.”
Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_english.htm

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm
Association of Radio Industries and Businesses Website:
http://www.arib-emf.org/index02.html (in Japanese only)
NTT DOCOMO, INC. Website:
http://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/
SHARP Corporation Website:
http://www.sharp.co.jp/products/menu/phone/cellular/sar/index.html (in Japanese only)

*1 Technical regulations are defined by the Ministerial Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio Equipment Regulations).

*2 Regarding the method of measuring SAR when using mobile phones in positions other than against the ear, international standards (IEC62209-2) were set in March of 2010. On the other hand, technical regulation is currently being deliberated on by national council (As of October, 2011).

CAUTION

Use only the battery packs and adapters specified by NTT DOCOMO for use with the handset.
May cause fires, burns, bodily injury or electric shock.

Do not throw the battery pack into a fire.
The battery pack may catch fire, explode, overheat or leak.

Do not dispose of used battery packs in ordinary garbage.
May cause fires or damage to the environment. Place tape over the terminals to insulate unnecessary battery packs, and take them to a docomo Shop, retailer or institution that handles used batteries in your area.

Avoid using the handset in extremely high or low temperatures.
Use the handset within the range of a temperature between 5°C and 35°C and a humidity between 45% and 85%.

Charge battery in areas where ambient temperature is between 5°C and 35°C.

Do not point the illuminated light directly at someone’s eyes. Especially when you shoot still pictures or videos of young children, keep 1 m or more distance from them.
Do not use Mobile light near people’s faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

Bluetooth function

- The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, INC. and any use of such marks by NTT DOCOMO, INC. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

Inquiries

General inquiries <docomo Information Center>

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m.)
0120-005-250 (toll free)
※ Service available in: English, Portuguese, Chinese, Spanish, Korean.
※ Unavailable from part of IP phones.
(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m. (open all year round))
From DOCOMO mobile phones
(In Japanese only)
(No prefix) 151 (toll free)
※ Unavailable from land-line phones, etc.
From land-line phones
(In Japanese only)
0120-800-000 (toll free)
※ Unavailable from part of IP phones.
- Please confirm the phone number before you dial.

Repairs

(Business hours: 24 hours (open all year round))
From DOCOMO mobile phones
(In Japanese only)
(No prefix) 113 (toll free)
※ Unavailable from land-line phones, etc.
From land-line phones
(In Japanese only)
0120-800-000 (toll free)
※ Unavailable from part of IP phones.
- Please confirm the phone number before you dial.

- For Applications or Repairs and After-Sales Service, please contact the above-mentioned information center or the docomo Shop etc. near you on the NTT DOCOMO website.
  NTT DOCOMO website:
  http://www.nttdocomo.co.jp/english/

Loss or theft of handset or payment of cumulative cost overseas <docomo Information Center>

(available 24 hours a day)

From DOCOMO mobile phones

International call access code for the country you stay	-81-3-6832-6600* (toll free)

* You are charged a call fee to Japan when calling from a land-line phone, etc.

※ If you use SH-05E, you should dial the number +81-3-6832-6600 (to enter "+", touch "0" for a while).

From land-line phones

<Universal number>

Universal number international prefix	-8000120-0151*

* You might be charged a domestic call fee according to the call rate for the country you stay.

※ For international call access codes for major countries and universal number international prefix, refer to DOCOMO International Services website.

Failures encountered overseas <Network Support and Operation Center>

(available 24 hours a day)

From DOCOMO mobile phones

International call access code for the country you stay	-81-3-6718-1414* (toll free)

* You are charged a call fee to Japan when calling from a land-line phone, etc.

※ If you use SH-05E, you should dial the number +81-3-6718-1414 (to enter "+", touch "0" for a while).

From land-line phones

<Universal number>

Universal number international prefix	-8005931-8600*

* You might be charged a domestic call fee according to the call rate for the country you stay.

※ For international call access codes for major countries and universal number international prefix, refer to DOCOMO International Services website.

- If you lose your handset or have it stolen, immediately take the steps necessary for suspending the use of the handset.
- If the handset you purchased is damaged, bring your handset to a repair counter specified by DOCOMO after returning to Japan.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
  実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。
  また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」、「dメニュー」、「おサイフケータイ」、「mopera」、「mopera U」、「デコメール®」、「デコメ絵文字®」、「ｉアプリ」、「ｉモード」、「iD」、「WORLD WING」、「公共モード」、「WORLD CALL」、「おまかせロック」、「ケータイデータお預かりサービス」、「ｉCお引っこしサービス」、「かざしてリンク」、「ケータイお探しサービス」、「エリアメール」、「イマドコサーチ」、「イマドコかんたんサーチ」、「マチキャラ」、「spモード」、「Xi」、「Xi／クロッシィ」、「ドコモ地図ナビ」、「ドコモゼミ」、「声の宅配便」、「あんしんスキャン」、「eトリセツ」、「iD」ロゴ、「spモード」ロゴ、「Xi」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista®、Exchange®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
  文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- ドキュメントビューアはDataViz社のDocuments To Goを搭載しております。
 DataViz, Documents To Go and InTact Technology are trademarks or registered trademarks of DataViz, Inc.
- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONTおよびFONT LC®は、シャープ株式会社の登録商標です。
- OBEX™は、Infrared Data Association®の商標です。
- FeliCaマークはフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルＤ記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- PhotoScouter®、TrackSolid®は株式会社モルフォの登録商標です。
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
- This product includes cryptographic software written by Eric Young(eay@cryptsoft.com)
この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
- Portions Copyright © 2004 Intel Corporation
この製品にはIntel Corporationのソフトウェアを一部利用しております。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。

- 本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ Mを搭載しています。
*新ゴは株式会社モリサワの登録商標です。
- MyScript® Stylus Mobileは、ビジョン・オブジェクツS.A.(ビジョンオブジェクツ)の商標です。
- aptXはCSR plc.の登録商標です。
- ©真島ヒロ／講談社・フェアリーテイル製作ギルド・テレビ東京
- ©真島ヒロ・講談社／劇場版フェアリーテイル製作ギルド
- ©RucKyGAMES
- ©B3 UNITED Inc.
- ©Madoka Kitao Maiko Fujita 2013/©G-mode
- 「GALAPAGOS」、「ベールビュー」、「VeilView」、「MediaJet」、「エコ技」、「アウトドアビュー」、「Music'n Player」、「エコ技」マークはシャープ株式会社の商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ＩＣカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。

- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されております。これ以外の使用については、ライセンス許諾されておりません。
  - ■ MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ(以下「MPEG-4ビデオ」と記載します)を符号化すること。
  - ■ 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを復号すること。
  - ■ ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。

  その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。ただし、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得およびロイヤリティの支払いが必要となります。
  - ■ タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録または複製すること。
  - ■ 永久記録および/または使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザに配信すること。

  追加のライセンスについては、米国法人MPEG LA, LLCより許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.comをご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および/またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.comをご参照ください。

- コンテンツ所有者は、Microsoft PlayReady™コンテンツアクセス技術によって著作権を含む知的財産を保護しています。本製品は、PlayReady技術を使用してPlayReady保護コンテンツおよびWMDRM保護コンテンツにアクセスします。本製品がコンテンツの使用を適切に規制できない場合、PlayReady保護コンテンツを使用するために必要な本製品の機能を無効にするよう、コンテンツ所有者はMicrosoftに要求することができます。無効にすることで保護コンテンツ以外のコンテンツや他のコンテンツアクセス技術によって保護されているコンテンツが影響を受けることはありません。コンテンツ所有者はコンテンツへのアクセスに際し、PlayReadyのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを拒否した場合、アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスはできません。
- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
  - ■ Windows 8は、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8 Pro、Microsoft® Windows® 8 Enterpriseの略です。
  - ■ Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
  - ■ Windows Vistaは、Windows Vista®(Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
  - ■ Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Google、Google ロゴ、Android、Google Play、Gmail、カレンダー ロゴ、Google マップは、Google Inc. の登録商標です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面から[⊞]▶[設定]▶[端末情報]▶[法的情報]▶[オープンソースライセンス]をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License(MPL)に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
  https://sh-dev.sharp.co.jp/android/modules/oss/

SIMロック解除

- 本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。
- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式ではご利用になれません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

索引

本索引は、機能名や記載内容を要約した用語を「50音」、「英数字」の順に収録しています。

あ

か

さ

た

ま

や

ら

わ

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

spモードから　dメニュー▶お客様サポートへ▶各種お申込・お手続き（パケット通信料無料）
パソコンから　My docomo（http://www.mydocomo.com/）▶各種お申込・お手続き

※ spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。
※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※ 「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は裏表紙の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ず本端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。
■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● マナーモード（☞P.84）
本端末から鳴る音を消します。
※ ただし、カメラのシャッター音は消せません。
● 公共モード（電源OFF）（☞P.69）
電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスを流し、自動的に電話を終了します。
● バイブ（☞P.83）
電話がかかってきたことを、振動で知らせます。
● 伝言メモ（☞P.68）
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の用件を録音します。

※ その他にも、留守番電話サービス（☞P.69）、転送でんわサービス（☞P.69）などのオプションサービスが利用できます。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

総合お問い合わせ先
＜ドコモ インフォメーションセンター＞

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9:00～午後8:00　（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
　ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、精算などについて
＜ドコモ インフォメーションセンター＞
（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600**＊（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※SH-05Eからご利用の場合は、＋81-3-6832-6600でつながります。
（「＋」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合

＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151**＊

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について
＜ネットワークオペレーションセンター＞
（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414**＊（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※SH-05Eからご利用の場合は、＋81-3-6718-1414でつながります。
（「＋」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合

＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600**＊

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　シャープ株式会社

'13.1（1版）
13A SM188①